



かながわ考古学財団調査報告 345

東富岡・太窪遺跡 東富岡・中島遺跡 栗窪・林窪遺跡

新東名高速道路（伊勢原市栗窪地区）建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

第1分冊

2025.3

公益財団法人 かながわ考古学財団

かながわ考古学財団調査報告
345

東富岡・太窪遺跡
東富岡・中島遺跡
栗窪・林窪遺跡

第1分冊

二〇二五

公益財団法人

かながわ考古学財団

かながわ考古学財団調査報告 345

ひがし と み お か ふ と く ぼ
東富岡・太窪遺跡
ひがし と み お か な か じ ま
東富岡・中島遺跡
あ わ く ぼ は や し く ぼ
栗窪・林窪遺跡

新東名高速道路（伊勢原市栗窪地区）建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

第1分冊

2025.3

公益財団法人 かながわ考古学財団

序 文

今回の発掘調査は、新東名高速道路建設に伴う調査です。新東名高速道路は、中日本高速道路株式会社によって、混雑が著しい東名高速道路との適切な交通分担機能を持ち、日本の産業文化社会活動の振興に大きく関与することを目的として計画されました。

本書で報告する東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡の3遺跡は、伊勢原市北部の栗窪に所在し、富岡丘陵の東側に位置する台地から裾部にかけて立地します。

伊勢原市の西富岡、東富岡、栗窪の一帯は、伊勢原ジャンクション建設地に当たり、それぞれの地区に埋蔵文化財が存在していたため、当財団の前身である財団法人かながわ考古学財団が、平成19年度から調査を進めてきました。

東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡は、旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代、中世、近世の遺構や遺物が発見された複合遺跡です。

東富岡・太窪遺跡は台地北東から北側縁辺、東富岡・中島遺跡は富岡丘陵の南東、栗窪・林窪遺跡は台地南側に位置しています。遺跡によって様相が異なりますが、主に栗窪・林窪遺跡では、中世の竪穴状遺構、段切り、溝状遺構、井戸など遺構・遺物が発見されており、生活に密着した遺構からこの地域での当時の人々の生活を垣間見ることができました。

この成果が専門の研究者のみならず、広く市民・県民の皆様にも郷土・伊勢原の歴史について、理解と関心を深める一助として活用されることを願ってやみません。

最後に、発掘作業および出土品等整理作業、報告書の刊行にあたりまして、ご理解・ご協力を賜り、ご指導をいただきました関係諸機関・諸氏に、感謝申し上げます。

2025（令和7）年3月

公益財団法人 かながわ考古学財団
理 事 長 中 島 栄 一

例 言

1. 本書は、公益財団法人かながわ考古学財団が実施した埋蔵文化財発掘調査の報告書であり、次の遺跡について収録している。

神奈川県伊勢原市東富岡地先 東富岡・太窪遺跡（伊勢原市№71）

神奈川県伊勢原市東富岡地先 東富岡・中島遺跡（伊勢原市№71）

神奈川県伊勢原市栗窪地先 栗窪・林窪遺跡（伊勢原市№71）

2. 発掘調査は、中日本高速道路株式会社東京支社土木工事事務所の委託を受け、新東名高速道路建設事業に伴う事前の記録保存調査として実施し、調査に係る経費は中日本高速道路株式会社が負担した。
3. 発掘調査から報告書作成までの期間及び出土品等整理場所は次のとおりである。

発掘作業期間

東富岡・太窪遺跡	2010（平成22）年10月1日～2011（平成23）年2月15日
	2011（平成23）年6月16日～2011（平成23）年8月31日
	2016（平成28）年5月1日～2016（平成28）年6月15日
	2017（平成29）年12月1日～2017（平成29）年12月31日
	2018（平成30）年1月1日～2018（平成30）年3月15日
東富岡・中島遺跡	2018（平成30）年3月15日～2018（平成30）年5月15日
	2011（平成23）年2月16日～2011（平成23）年3月31日
	2011（平成23）年12月16日～2011（平成23）年12月31日
	2013（平成25）年6月1日～2013（平成26）年7月15日
	2013（平成25）年8月1日～2013（平成25）年8月31日
栗窪・林窪遺跡	2012（平成24）年6月1日～2012（平成24）年6月30日
	2012（平成24）年7月1日～2012（平成24）年9月15日
	2013（平成25）年1月1日～2013（平成25）年3月31日
	2013（平成25）年9月16日～2014（平成26）年2月28日
	2014（平成26）年3月1日～2014（平成26）年3月31日
出土品等整理期間	2014（平成26）年4月1日～2014（平成26）年6月15日
	2019（令和元）年10月1日～2019（令和元）年10月31日
報告書作成期間	2022（令和4）年2月16日～2024（令和6）年4月15日
	2024（令和6）年4月16日～2025（令和7）年3月31日

出土品等整理場所 公益財団法人かながわ考古学財団 野庭出土品整理室（横浜市港南区野庭町1660）

4. 発掘調査は、調査研究部木村吉行・天野賢一・上村和直（（財）京都市埋蔵文化財研究所）・南出俊彦（（財）京都市埋蔵文化財研究所、以下同）（平成22年度）、木村吉行・南出俊彦・尾藤徳行（（財）京都市埋蔵文化財研究所、以下同）（平成23年度）、木村吉行・尾藤徳行・馬淵和雄・瀬田哲夫・山路恭之助（平成24年度）、木村吉行・山路恭之助・馬淵和雄・大上周三・戸羽康一・長澤保崇・新山保和・能芝 勉（平成25年度）、木村吉行・後藤喜八郎・大上周三・村松 篤・野芝 勉（平成26年度）、木村吉行・川嶋実佳子（平成28年度）、新聞基史・新山保和・大上周三・能芝 勉（平成29年度～平成30年度）、新山保和・呉地英夫（令和元年度）が、また出土品等整理及び報告書刊行（作成・編集）は、調査研究部木村吉行（令和3年度～令和5年度）、三瓶裕司（令和3年度）、川嶋実佳子（令和3年度～令和6年度）、植山英史、須田英一、澁谷正信（令和4年度）、井関文明、出縄康行、渡辺 外（令和5年度）、宮坂淳一（令和5年度～令和6年度）が担当した。

5. 発掘調査から報告書作成までに係る調整は、神奈川県教育庁生涯学習部文化遺産課埋蔵文化財グループ 谷口 肇（平成22年度）、穴戸信悟（平成23年度）、丸吉繁一（平成24～26年度、平成28～30年度）、富永樹之（令和元年度）、高屋敷展鳥（令和3～4年度）、渡辺千尋（令和5年度）、三戸 芽（令和6年度）が担当した。また、発掘作業から報告書刊行にかかる監理は文化遺産課埋蔵文化財グループ谷口 肇（平成22年度）、文化遺産課中村町駐在事務所千葉 毅（平成23年度）、砂田佳弘（平成24年度）、穴戸信悟（平成25・26年度）、近野正幸（平成28年度）、富永樹之（平成29・30年度・令和元年度）、加藤勝仁（令和3年度～令和6年度）が担当した。

6. 発掘調査・出土品等整理においては、次の分析・鑑定を外部機関に委託し、結果を第V編に掲載した。

〔委託調査・分析内容〕

〔委託先〕

東富岡・太座遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡、	（有）考古石材研究所
栗窪・林遺跡、栗窪・林台遺跡、栗窪・四石田遺跡	
出土の石器・石製品の石材同定	
東富岡・太座遺跡、栗窪・林窪遺跡出土の黒曜石産地推定分析	バリノ・サーヴェイ株式会社
栗窪・林窪遺跡、東富岡・太座遺跡の木製品樹種同定	バリノ・サーヴェイ株式会社

7. 発掘調査では、遺跡の航空写真撮影を（株）スカイサーヴェイに委託した。測量基準杭は、東富岡・西之窪遺跡の発掘調査の際に打設した測量基準杭を使用した。世界測地系平面直角座標第IX系（測地成果2000）を用いている。

8. 発掘調査における遺構測量及び遺物取上げにはシステムプログラム「遺構くん」（株式会社CUBIC）と、出土品等整理作業における各種分布図等の作成にあたっては、システムプログラム「トレースくん」（株式会社CUBIC）を使用した。

9. 発掘調査及び出土品等整理にあたっては、次の機関から御指導・御協力を賜った（敬称略）。

伊勢原市教育委員会

10. 本報告書の執筆は木村吉行・川嶋実佳子・井関文明・出縄康行・宮坂淳一が担当し、全体の編集は川嶋実佳子・宮坂淳一が担当した。なお、執筆分担については次のとおりである。

木村吉行：第I編第1章～第3章第2節（1）、第II編第1章、第III編第1章、第IV編第1章、

川嶋実佳子：第I編第3章第2節（2）第II編第2章第1節1～4、第2節1～4、第III編第2章第1節1～4、第IV編第2章第1節1～4、第2節1～3、第3節3～5、第VI編第1章1（3）～（4）、2（3）、3（3）～（5）、第2章

宮坂淳一：第II編第2章第1節1・2遺物観察表、第2節1・2遺物観察表、第III編第2章第1節1・2遺物観察表、第IV編第2章第1節1・2遺物観察表、第2節1・2遺物観察表、第3節1・2、第VI編第1章1（1）・（2）、2（1）・（2）、3（1）・（2）

井関文明：第II編第2章第1節5（2）石器、第2節5（1）石器、6（1）、第III編第2章第1節5（3）石器、6（1）、第IV編第2章第1節5（1）石器、第2節4（1）石器、第3節6（1）石器、第VI編第1章1（5）・（6）、2（4）・（5）、3（6）

出縄康行：第II編第2章第1節5（1）、（2）土器、第2節5（1）土器、第III編第2章第1節5（1）～（2）、（3）土器、第IV編第2章第1節5（1）土器、第2節4（1）土器、第3節6（1）土器、第VI編第1章1（5）、2（4）、3（6）

11. 写真撮影は、遺構を木村吉行・馬淵和雄・戸羽康一・長澤保崇・新山保和・能芝 勉・村松 篤・新開基史・呉地英夫、遺物を川嶋実佳子・宮坂淳一の指示のもと杉原琴が行った。
12. 本調査に係る既発表・報告としては第1編第2章末尾に記載したものが存在するが、本報告書の内容をもって正式な調査報告とする。また、調査成果の発表・展示については以下を実施している。
- ・財団発掘調査成果発表会・展示会

平成23年10月8日・11月12日実施	『平成23年度 発掘調査成果発表会要旨』紙上
平成24年10月13日・11月10日実施	『平成24年度 発掘調査成果発表会要旨』
平成25年12月4日実施	『平成25年度 発掘調査成果発表会要旨』
平成26年10月18日実施	『平成26年度 発掘調査成果発表会要旨』
平成29年7月8日実施	『平成29年度 発掘調査成果発表会要旨』紙上
 - ・伊勢原の遺跡調査報告会

平成24年3月10日実施	『伊勢原の遺跡調査報告会』
平成25年3月16日実施	『伊勢原の遺跡調査報告会』
平成26年3月16日実施	『伊勢原の遺跡調査報告会』
 - ・伊勢原市考古資料展資料展示

平成24年2月17～19日	『第25回考古資料展「伊勢原の遺跡」』
平成25年2月22～24日	『第26回考古資料展「伊勢原の遺跡」』
平成26年2月14～16日	『第27回考古資料展「伊勢原の遺跡」』
平成27年2月20～22日	『第28回考古資料展「伊勢原の遺跡」』
 - ・神奈川県遺跡調査・研究発表会

平成26年10月26日実施	『第38回 神奈川県遺跡調査・研究発表会要旨』
---------------	-------------------------
13. 本調査に係る出土品の注記は、東富岡・太座遺跡を「HTF」、東富岡・中島遺跡を「HTNK」、栗座・林座遺跡を「AWH」と略記した。
14. 本調査に係る出土品及び図面・写真等の記録類については、神奈川県教育委員会が保管している。
15. 遺構の名称・番号・帰属時期等については、調査時や概報記載内容から変更したものがあり、本例言末尾に変更に係る新旧対照表を掲載した。また、遺構番号先頭の記号は、遺構の帰属時代を示し、「K」が近世以降、「C」が中世、「H」が古墳時代後期～奈良・平安時代、「YH」が弥生時代後期～古墳時代前期、「J」が縄文時代を示す。ただし、旧石器時代については帰属時代を示す記号は付さず、文化層に準じて記述した。
16. 本報告書の遺構・遺物挿図の指示は次のとおりである。
- ・遺構実測図の標高は海拔高度を示す。
 - ・遺構・遺物等の挿図の縮尺は、図に示してある。
 - ・特に凡例を示していない遺構・遺物挿図中のパターンによる指示は以下のとおりである。

遺構挿図

	断面図中の地山		焼土範囲		炭化物範囲
	粘土範囲		硬化面		

遺物挿図

	灰釉・自然釉・研磨・磨痕		長石釉・緑釉・青磁釉・銅緑釉
	鉄釉・錆釉・赤彩・朱墨・朱漆		天目釉・煤・炭化物・黒漆・焼雜痕
	須恵器断面		

・遺構からの遺物出土分布図中のドットによる指示は以下の通りである。

土器：● 石器・石製品：■ 金属製品：▲ 土製品：○ 銭：★ 骨・歯：□ 礎：◎
炭化物：△ 木製品・種子：×

17. 発掘作業及び出土品等整理作業の参加者は下記の通り（五十音順）。なお、出土品等整理作業においては、このほか作業内容によって一時的に従事した調査補助員・整理作業員がいる（当財団年報の職員名簿参照）。

発掘調査

青木咲子、青木正美、井下振一郎、大木啓子、柏木秀俊、加藤章子、加藤風花、菊池義弘、木村美徳、黒沢剛生、斎藤敏行、佐藤一樹、佐藤宏光、志賀優子、新聞里花、新聞悠人、鈴木伸一、曾根 諒、辻明日美、野武秀行、長谷川千江、長谷川典子、日出嶋航太、松田斉子、松本恵奈、宮川正広、村山豊史、嘉村聖子、渡辺航一郎

（以上調査補助員）

相原文一、相原三好、秋田卓也、阿久根桃子、阿部京子、新井邦夫、庵原わかな、飯田和子、飯村聖子、池 俊介、池田由美子、池村裕之、石井竜也、石井 貢、石原幹也、市村亮太、伊藤浩一、今市知之、岩上泰三、岩澤幸保、岩本次男、内田邦彦、内田満男、榎本俊昭、大金常恵、太田慎一、太田正良、大館 稔、大淵千津子、岡田秀生、奥寺宏之、男澤 進、小原浩二、片倉春夫、桂木 忠、加藤民夫、加藤 命、金子 順、金子敏夫、貞白宏樹、金田雅樹、川口松太郎、川口 守、川崎みさ、川野泰功、木村三紗子、木村良夫、木元和洋、桐谷清作、桐生照子、久能大樹、久保田篤、栗田健彦、黒髪哲弥、剣持年男、小池 澄、小泉孟彦、小泉直樹、小金しとみ、小口 博、児島正美、後藤 晶、小林 泉、小林孝明、小林二三男、佐々木玄太、佐藤敦子、佐藤勝美、佐藤 武、佐藤 猛、佐怒賀貞治、志田 庚、柴田輝夫、清水敬功、渋谷 弘、霜島正幸、下山雅生、鈴木正次、鈴木伸一、鈴木豊江、諏訪友信、関 和雄、瀬尾宏行、関山重信、関部之朗、高橋喜久雄、高橋健治、高橋雄一、高橋洋治、高部まさみ、滝澤誠一、武田康介、武田義哉、竹本範文、田中君弘、田中 忍、田中良夫、千葉 萬、露木信吾、富田信夫、内藤 厚、長沢大輔、中村松雄、梨本武男、西本政則、野口 隆、野村則幸、羽後雅民、橋本武夫、葉山光三、原 和彦、播間精一、日向道彦、東久保風、平岩一光、深沢眞澄、深水浩二、福田三和、藤井政彦、藤木立朗、伏見一毅、船見義雄、古尾谷敏男、堀川 稔、本間美行、前角憲一、増沢友紀、増田文男、松尾友二、松岡信一、松岡輝茂、松田元一、松田満義、町田早穂、眞鍋朱美、丸山 進、三上和之、溝呂木健一、三留章嗣、宮内隆順、宮崎紀代子、宮崎光江、盛山 浩、柳下裕一、安川正浩、矢野マサ子、山口達之、山本俊三、山本道男、吉田輝栄、渡辺 弘、渡澤則義

（以上発掘作業員）

出土品等整理

柏木秀俊、菊池義弘、後藤陽子、杉原琴、田端美津枝、信原亜弥、三谷由希子（以上調査補助員）

浅井英里子、木谷晶代、田原信子、長友亜希子、平田麗子、堀 詩織、山田拓郎、山野章子

（以上整理作業員）

東富岡・太達道路、東富岡・中島道路、栗窪・林窪道路遺構名新旧対照表

東富岡・太達道路		遺構名		遺構名		旧遺構名	
1区		H11号孤立柱建物ビ ット6		H11号ビット		C5号土坑	
遺構名		旧遺構名		H2号溝状遺構		C1号溝状遺構	
K1号放路	K1号谷・H1号溝統 合	H51号ビット		H9号ビット		東富岡・林窪道路	
		H52号ビット		H10号ビット		8区・8区②・9区・調整池②・9区西	
H9号土坑	H9号・H11号土坑統 合	H53号ビット		H11号ビット		遺構名	
		H54号ビット		H12号ビット		旧遺構名	
H55号ビット		H13号ビット		K1号孤立柱建物址号 ビット1			
1区南		H56号ビット		H14号ビット		K1号孤立柱建物址号 ビット2	
遺構名		旧遺構名		H15号ビット		K53号ビット	
K7号溝状遺構	K17号溝状遺構	H57号ビット		H16号ビット		K1号孤立柱建物址号 ビット3	
K8号溝状遺構	K16号溝状遺構	H58号ビット		H17号ビット		K55号ビット	
K9号溝状遺構	K15号溝状遺構	H59号ビット		H18号ビット		K1号孤立柱建物址号 ビット4	
K10号溝状遺構	K14号溝状遺構	H60号ビット		H19号ビット		K37号ビット	
K11号溝状遺構	K11号溝状遺構	H61号ビット		H20号ビット		K1号孤立柱建物址号 ビット5	
K12号溝状遺構	K10号溝状遺構	H62号ビット		H21号ビット		C691号ビット	
K13号溝状遺構	K9号溝状遺構	H63号ビット		H22号ビット		K1号孤立柱建物址号 ビット6	
K14号溝状遺構	K8号溝状遺構	H64号ビット		H23号ビット(2区南)		C649号ビット	
K15号溝状遺構	K7号溝状遺構	H65号ビット		H24号ビット(2区南)		K1号孤立柱建物址号 ビット7	
K16号溝状遺構	K6号溝状遺構	H66号ビット		H25号ビット(2区南)		K63号ビット	
K17号溝状遺構	K5号溝状遺構	H67号ビット		H26号ビット(2区南)		K1号孤立柱建物址号 ビット8	
K18号溝状遺構	K4号溝状遺構	H68号ビット		H27号ビット(2区南)		C385号ビット	
K19号溝状遺構	K3号溝状遺構	H69号ビット		H28号ビット(2区南)		K1号孤立柱建物址号 ビット9	
K20号溝状遺構	K2号溝状遺構	H70号ビット		H29号ビット(2区南)		K240号ビット	
K21号溝状遺構	K12号溝状遺構	H71号ビット		H11号溝状遺構分割		K1号孤立柱建物址号 ビット10	
K22号溝状遺構	K13号溝状遺構	H2号溝状遺構		H11号溝状遺構分割		K257号ビット	
K23号溝状遺構	K18号溝状遺構	H11号溝状遺構		H11号溝状遺構分割		K1号孤立柱建物址号 ビット11	
K24号溝状遺構	K19号溝状遺構	H2号溝状遺構		H11号溝状遺構分割		K58号ビット	
K25号溝状遺構	K20号溝状遺構	H13号溝状遺構		H11号溝状遺構分割		K1号孤立柱建物址号 ビット12	
K26号溝状遺構	K21号溝状遺構	H14号溝状遺構		H11号溝状遺構分割		K256号ビット	
2区・2区②・2区西		H5号溝状遺構		H2号溝状遺構		K5号溝状遺構	
遺構名		旧遺構名		H2号溝状遺構		K5号溝状遺構分割 (9区)	
K2号段切り	K1号不明遺構	YH1号土坑		H1号土坑		K8号溝状遺構	
K3号段切り	K5号段切り	東富岡・中島道路		4区・4区②		K26号溝状遺構	
K20号土坑	K16号土坑	遺構名		旧遺構名		K1号溝状遺構(9区)	
K21号土坑	K17号土坑	遺構名		旧遺構名		K27号溝状遺構	
H11号孤立柱建物ビ ット1	H9号ビット	K1号段切り		K1号・K4号段切り 統合		K2号(9区)・K2号 (9区西)溝状遺構統合	
H11号孤立柱建物ビ ット2	H25号ビット	K2号段切り		K2号・K5号段切り 統合		K1号溝状遺構(9区 西)	
H11号孤立柱建物ビ ット3	H20号ビット	C1号流土址		C2号焼土址分割		K3号溝状遺構(9区 西)	
H11号孤立柱建物ビ ット4	H10号ビット	C2号流土址		C2号焼土址分割		K4号溝状遺構(9区 西)	
H11号孤立柱建物ビ ット5	H17号ビット	C3号土坑		H11号土坑		K1号硬化面	
		C4号土坑		H2号土坑		K1号(8区)・K1号 (調整池②)硬化面統合	

造構名	旧造構名	造構名	旧造構名	造構名	旧造構名
K 1 号統列	K 1 ～ 3 号(8区②)統列統合	C151号土坑	K23号土坑(池2区)	C2087号ビット	K219号ビット
		C152号土坑	K24号土坑(池2区)	C2088号ビット	K220号ビット
K 2 号統列	K 5 号溝状造構分割(9区)	C153号土坑	C 1 号土坑(9区)	C2089号ビット	K221号ビット
		C154号土坑	C 2 号土坑(9区)	C2090号ビット	K222号ビット
K 3 号統列	K 1 号統列(調整池②)	C155号土坑	C 1 号土坑(9区西)	C2091号ビット	K223号ビット
K 2 号土坑	K 1 号土坑(9区)	C156号土坑	C 2 号土坑(9区西)	C2092号ビット	K229号ビット
K51号土坑	K 2 号土坑(調整池②)・C38土坑(池2区)を一部統合	C157号土坑	C 3 号土坑(9区西)	C2093号ビット	K233号ビット
		C158号土坑	C 6 号地下式流分割(池2区)	C2094号ビット	K234号ビット
				C2095号ビット	K235号ビット
K52号土坑	K 1 号土坑(9区西)		C 45号ビット・C50号ビット・C123号ビット統合	C2096号ビット	K236号ビット
K53号土坑	K 2 号土坑(9区西)	C123号ビット		C2097号ビット	K241号ビット
K54号土坑	K 3 号土坑(9区西)			C2098号ビット	K242号ビット
K292号ビット	K1号ビット(9区)	C125号ビット	C125号ビット・C154号ビット統合	C2099号ビット	K244号ビット
K293号ビット	K1号ビット(9区西)			C2100号ビット	K245号ビット
K294号ビット	K2号ビット(9区西)	C153号ビット	C 49号ビット・C153号ビット統合	C2101号ビット	K248号ビット
	C 2 号溝状造構分割・C 2 号設池(8区)・C 3 号段切り(調整池②)統合	C159号ビット	C96号ビット分割・C139号ビット統合	C2102号ビット	K259号ビット
C 1 号段切り				C2103号ビット	K260号ビット
				C2104号ビット	K261号ビット
C 8 号段切り	C 1 号段切り(調整池②)	C160号ビット	C96号ビット分割・C160号ビット統合	C2105号ビット	K262号ビット
				C2106号ビット	K263号ビット
C 1 号溝状造構	C 1 号(8区)・C19号(調整池②)溝状造構統合	C2060号ビット	K75号ビット	C2107号ビット	K264号ビット
		C2061号ビット	K54号ビット	C2108号ビット	K265号ビット
		C2062号ビット	K83号ビット	C2109号ビット	K272号ビット
C 2 号溝状造構	C 2 号溝状造構分割(8区)	C2063号ビット	K163号ビット	C2110号ビット	K275号ビット
		C2064号ビット	K168号ビット	C2111号ビット	K276号ビット
C33号溝状造構	C 1 号溝状造構(9区)	C2065号ビット	K174号ビット	C2112号ビット	C1号ビット(9区)
C34号溝状造構	C 2 号溝状造構(9区)	C2066号ビット	K176号ビット	C2113号ビット	C2号ビット(9区)
C 1 号硬化面	C 1 号硬化面分割(池2区)	C2067号ビット	K177号ビット	C2114号ビット	C3号ビット(9区)
		C2068号ビット	K178号ビット	C2115号ビット	C4号ビット(9区)
C 2 号硬化面	C 1 号硬化面分割・C 2 号・C 3 号硬化面統合(池2区)	C2069号ビット	K181号ビット	C2116号ビット	C5号ビット(9区)
		C2070号ビット	K182号ビット	C2117号ビット	C 1 号柱穴列号ビット 1(9区)
C 5 号硬化面	C 1 号溝状造構(9区)	C2072号ビット	K185号ビット	C2118号ビット	C 1 号柱穴列号ビット 2(9区)
C 8 号柱穴列造構号ビット1	C 8 号柱穴列造構号ビット2(池2区)	C2074号ビット	K187号ビット	C2119号ビット	C 1 号柱穴列号ビット 3(9区)
		C2075号ビット	K188号ビット		
C40号柱穴列造構	C 6 号地下式流分割(池2区)	C2076号ビット	K189号ビット		
		C2077号ビット	K190号ビット		
C41号柱穴列造構	111号柱穴列造構(9区西)	C2078号ビット	K192号ビット	C2120号ビット	C 1 号柱穴列号ビット 4(9区)
		C2079号ビット	K191号ビット	C2121号ビット	C 1 号ビット(9区西)
C42号柱穴列造構	C 4 号地下式流(池2区)	C2080号ビット	K195号ビット	C2122号ビット	C 2 号ビット(9区西)
		C2081号ビット	K197号ビット	C2123号ビット	C 3 号ビット(9区西)
C 7 号地下式流	K 1 号地下式流(池2区)	C2082号ビット	K198号ビット	C2124号ビット	C 4 号ビット(9区西)
		C2083号ビット	K200号ビット	C2125号ビット	C 5 号ビット(9区西)
C 2 号土坑	C 3 号溝状造構(8区)	C2084号ビット	K205号ビット	C2126号ビット	C 6 号ビット(9区西)
C42号土坑	C662号ビット(池2区)	C2085号ビット	K207号ビット	C2127号ビット	C 7 号ビット(9区西)
		C2086号ビット	K208号ビット	C2128号ビット	C 8 号ビット(9区西)

遺構名	旧遺構名	遺構名	旧遺構名	遺構名	旧遺構名
C2129号ピット	C 9号ピット(9区西)	C22号ピット	C22号ピット・C429号ピット統合	H43号ピット	C6号ピット・C436号ピット統合
C2130号ピット	C10号ピット(9区西)				
C2131号ピット	C11号ピット(9区西)	C46号ピット	C46号ピット・C451号ピット統合	H44号ピット	C10号ピット
C2132号ピット	C13号ピット(9区西)			H45号ピット	C11号ピット
C2133号ピット	C14号ピット(9区西)	C68号ピット	C68号ピット・C235号ピット統合	H48号ピット	C40号ピット
C2134号ピット	C15号ピット(9区西)			H49号ピット	C49号ピット
C2135号ピット	C16号ピット(9区西)	C88号ピット	C88号ピット・C488号ピット統合	H50号ピット	C57号ピット
C2136号ピット	C17号ピット(9区西)			H51号ピット	C60号ピット
C2137号ピット	C18号ピット(9区西)	C96号ピット	C96号ピット・C402号ピット統合	H52号ピット	C63号ピット
C2138号ピット	C19号ピット(9区西)			H53号ピット	C67号ピット
C2139号ピット	C20号ピット(9区西)	C131号ピット	C131号ピット・C495号ピット統合	H54号ピット	C74号ピット・C343号ピット統合
C2140号ピット	C21号ピット(9区西)				
C2141号ピット	C22号ピット(9区西)	C160号ピット	C160号ピット・C481号ピット統合	H55号ピット	C121号ピット
C2142号ピット	C23号ピット(9区西)			H56号ピット	C126号ピット
C2143号ピット	C24号ピット(9区西)	C175号ピット	C38号ピット・C175号ピット統合	H57号ピット	C128号ピット
C2144号ピット	C25号ピット(9区西)			H58号ピット	C132号ピット・C473号ピット統合
C2145号ピット	C26号ピット(9区西)	C248号ピット	C248号ピット・C385号ピット統合	H59号ピット	C159号ピット
C2146号ピット	C27号ピット(9区西)				
C2147号ピット	C28号ピット(9区西)	C288号ピット	C288号ピット・C337号ピット統合	H60号ピット	C203号ピット
C2148号ピット	C29号ピット(9区西)			H61号ピット	C34号ピット・C227号ピット統合
C2149号ピット	C30号ピット(9区西)	C414号ピット	C414号ピット・C478号ピット統合	H62号ピット	C246号ピット
C2151号ピット	C32号ピット(9区西)				
C2152号ピット	C33号ピット(9区西)	C458号ピット	C458号ピット・C482号ピット統合	H63号ピット	C251号ピット
C2153号ピット	C34号ピット(9区西)			H64号ピット	C262号ピット
C2154号ピット	C35号ピット(9区西)			H65号ピット	C263号ピット
C2155号ピット	C36号ピット(9区西)	C471号ピット	C443号ピット(Z17c)・C471号ピット統合	H66号ピット	C270号ピット
C2156号ピット	C37号ピット(9区西)			H67号ピット	C282号ピット
C2157号ピット	C38号ピット(9区西)	C504号ピット	H20号ピット	H68号ピット	C309号ピット
C2158号ピット	C 8号壁穴状遺構号ピット1(池2F)	C506号ピット	H21号ピット	H69号ピット	C317号ピット
		C507号ピット	H23号ピット	H70号ピット	C322号ピット
C2159号ピット	K231号ピット	C508号ピット	H24号ピット	H71号ピット	C327号ピット
C2160号ピット	K232号ピット	C509号ピット	H25号ピット	H72号ピット	C345号ピット
C2161号ピット	C242号ピット(125a北側)	C510号ピット	H1号ピット	H73号ピット	C360号ピット
		C511号ピット	H13号ピット	H74号ピット	C380号ピット
		C512号ピット	H9号ピット	H75号ピット	C393号ピット
10区					
遺構名	旧遺構名	C513号ピット	H11号ピット	H76号ピット	C444号ピット・C447号ピット(AA176c)統合
C2号井戸	C30号土坑	C514号ピット	H12号ピット		
C3号井戸	C37号土坑	C515号ピット	H5号ピット	H77号ピット	C286号ピット
C1号炭化物竈(遺構)	H1号炭化物竈(遺構)				
C29号土坑	C1号不明遺構		H38号ピット	H78号ピット	C151号ピット・C472号ピット統合
C39号土坑	H1号土坑	H40号ピット	C419号ピット	H79号ピット	C476号ピット
C40号土坑	H2号土坑	H41号ピット	C420号ピット	H80号ピット	C222号ピット
C41号土坑	時代不明土坑1				
		H42号ピット	C470号ピット・C492号ピット統合	H82号ピット	C240号ピット・C261号ピット統合
C7号ピット	C7号ピット・C434号ピット(AA176c)統合	H46号ピット	C30号ピット	H83号ピット	C406号ピット

造機名	旧造機名	造機名	旧造機名	造機名	旧造機名
H184号ビット	C394号ビット・C454号ビット統合	K210号ビット K211号ビット	C57号ビット C92号ビット	C188号ビット C189号ビット	K207号ビット K32号ビット
H185号ビット	C434号ビット (A1180c)	K212号ビット C1号溝状造機	C118号ビット C1溝状造機分割	C190号ビット C191号ビット	K32号ビット K33号ビット
H186号ビット	C441号ビット	C9号溝状造機	K4号溝状造機・K52号土坑統合	C192号ビット C193号ビット	K34号ビット K35号ビット
H187号ビット	C455号ビット			C194号ビット	K35号ビット
H188号ビット	C457号ビット	C10号溝状造機	K3号・K12号溝状造機統合	C195号ビット	K81号ビット
H189号ビット	C460号ビット			C196号ビット	K63号ビット
H190号ビット	C31号ビット	C11号溝状造機	K7号溝状造機	C197号ビット	K106号ビット
H191号ビット	C32号ビット	C12号溝状造機	K2号溝状造機	C198号ビット	K111号ビット
H192号ビット	C93号ビット		C1号溝状造機分譲・K1号・K11号溝状造機統合	C199号ビット	K112号ビット
H194号ビット	C216号ビット	C13号溝状造機		C200号ビット	K120号ビット
H195号ビット	C233号ビット			C201号ビット	K131号ビット
H196号ビット	C224号ビット	C14号溝状造機	C9号溝状造機	C202号ビット	K134号ビット
H197号ビット	C95号ビット	C15号溝状造機	C10号溝状造機		
H198号ビット	C239号ビット	C6号井戸	K3号井戸	C203号ビット	K138号ビット
H199号ビット	C452号ビット	C7号井戸	C3号土坑	C204号ビット	K139号ビット
H1100号ビット	C38号ビット	C8号井戸	K46号土坑	C205号ビット	K140号ビット
H1101号ビット	C43号ビット	C9号井戸	C9号土坑	C206号ビット	K145号ビット
H1102号ビット	C173号ビット	C13号ビット	C13号ビット・C90号ビット統合	C207号ビット	K148号ビット
H1103号ビット	C213号ビット			C208号ビット	K150号ビット
H1104号ビット	C230号ビット	C35号ビット	C24号ビット・C35号ビット統合	C209号ビット	K152号ビット
H1105号ビット	C244号ビット			C210号ビット	K172号ビット
H1106号ビット	C395号ビット	C66号ビット	C66号ビット・C128号ビット統合	C211号ビット	K177号ビット
H1107号ビット	C396号ビット			C212号ビット	K178号ビット
H1108号ビット	C416号ビット	C162号ビット	K28号ビット	C213号ビット	K187号ビット
	13区	C163号ビット	K68号ビット	C214号ビット	K188号ビット
造機名	旧造機名	C164号ビット	K66号ビット	C215号ビット	K193号ビット
K1号溝状造機	K16号溝状造機	C165号ビット	K68号ビット	C216号ビット	K195号ビット
K2号溝状造機	K1号土坑・K13号溝状造機統合	C166号ビット	K78号ビット	C217号ビット	K196号ビット
		C169号ビット	K91号ビット	C218号ビット	K197号ビット
K3号溝状造機	K11号溝状造機	C170号ビット	K95号ビット	C219号ビット	K199号ビット
K4号溝状造機	K15号溝状造機	C171号ビット	K101号ビット	C220号ビット	K203号ビット
K6号溝状造機	K6号溝状造機分割	C172号ビット	K104号ビット	C221号ビット	K204号ビット
K6号溝状造機	K6号・K17号溝状造機統合	C173号ビット	K117号ビット	C222号ビット	K208号ビット
		C175号ビット	K122号ビット	C223号ビット	K201号ビット
K7号溝状造機	K6号溝状造機分割	C177号ビット	K125号ビット		
		C178号ビット	K129号ビット		
K10号溝状造機	K6号溝状造機分割・K10号溝状造機統合	C179号ビット	K132号ビット		
		C180号ビット	K146号ビット		
K2号井戸	K18号土坑	C181号ビット	K149号ビット		
K1号土坑	K56号土坑	C182号ビット	K160号ビット		
K22号土坑	K22号・K64号土坑統合	C183号ビット	K163号ビット		
		C184号ビット	K175号ビット		
K56号土坑	K2号井戸	C186号ビット	K191号ビット		
K209号ビット	C12号ビット	C187号ビット	K192号ビット		

目 次

(第1分冊)

第Ⅰ編 遺跡の概要	1
第1章 調査経緯	1
第1節 調査に至る経緯	1
第2節 調査中の協議	2
第2章 遺跡概観	8
第1節 遺跡の地形と地理的環境	8
第2節 周辺の遺跡と歴史的環境	8
第3章 調査経過	23
第1節 調査区の設定と調査の方法	23
第2節 調査経過	24
(1) 発掘調査の経過	24
(2) 出土品等整理作業の経過	33
第Ⅱ編 東富岡・太窪遺跡	35
第1章 基本層序	35
第2章 発見された遺構と遺物	40
第1節 1区・1区南	40
1. 近 世	40
(1) 溝状遺構	40
(2) 硬化面	53
(3) 畝状遺構	55
(4) 土 坑	56
(5) ビット	57
(6) 流 路	59
(7) 遺構外出土遺物	61
2. 中 世	63
(1) 土 坑	64
(2) ビット	64
(3) 流 路	66
(4) 杭 列	66

(5) 遺構外出土遺物	75
3. 奈良・平安時代	78
(1) 畝状遺構	79
(2) 土 坑	81
(3) 焼土址	90
(4) ビット	91
(5) 遺構外出土遺物	93
4. 弥生時代後期～古墳時代前期	94
(1) 遺構外出土遺物	94
5. 縄文時代	94
(1) 土 坑	94
(2) 遺構外出土遺物	97
第2節 2区	99
1. 近 世	99
(1) 段切り	99
(2) 溝状遺構	106
(3) 硬化面	112
(4) 畝状遺構	112
(5) 土 坑	114
(6) ビット	122
(7) 遺構外出土遺物	125
2. 中 世	127
(1) 溝状遺構	128
(2) 畝状遺構	128
(3) 土 坑	131
(4) ビット	136
(5) 遺構外出土遺物	139
3. 奈良・平安時代	140
(1) 堅穴住居址	141
(2) 掘立柱建物址	146
(3) 溝状遺構	148
(4) 畝状遺構	149
(5) 硬化面	156
(6) 土 坑	157

(7) ビット	159
(8) 遺構外出土遺物	167
4. 弥生時代後期～古墳時代前期	168
(1) 土 坑	169
(2) 遺物集中	169
(3) 遺構外出土遺物	171
5. 縄文時代	172
(1) 遺構外出土遺物	172
6. 旧石器時代	174
(1) 第Ⅰ文化層	174

第Ⅲ編 東富岡・中島遺跡……………179

第1章 基本層序……………179

第2章 発見された遺構と遺物……………182

第1節 4区・5区……………182

1. 近 世……………182

(1) 段切り……………182

(2) 溝状遺構……………188

(3) 畝状遺構……………190

(4) 土 坑……………191

(5) ビット……………194

(6) 遺構外出土遺物……………196

2. 中 世……………197

(1) 土 坑……………198

(2) ビット……………201

(3) 遺構外出土遺物……………206

3. 奈良・平安時代……………208

(1) 溝状遺構……………209

(2) 土 坑……………211

(3) ビット……………214

(4) 遺構外出土遺物……………217

4. 弥生時代後期～古墳時代前期……………217

(1) 遺構外出土遺物……………217

5. 縄文時代	218
(1) 土 坑	218
(2) ビット	218
(3) 遺構外出土遺物 (4 区)	223
6. 旧石器時代	229
(1) 第 I 文化層	229

第Ⅳ編 栗窪・林窪遺跡	233
第 1 章 基本層序	233
第 2 章 発見された遺構と遺物	242
第 1 節 10 区	242
1. 近 世	242
(1) ビット	243
(2) 遺構外出土遺物	247
2. 中 世	248
(1) 竪穴状遺構	250
(2) 溝状遺構	257
(3) 井戸址	263
(4) 土 坑	266
(5) ビット	286
(6) 炭化物範囲	318
(7) 遺構外出土遺物	319
3. 奈良・平安時代	323
(1) 竪穴住居址	324
(2) 溝状遺構	329
(3) 畝状遺構	330
(4) ビット	332
(5) 遺物集中	345
(6) 遺構外出土遺物	349
4. 弥生時代後期～古墳時代前期	349
(1) 遺構外出土遺物	349
5. 縄文時代	350
(1) 遺構外出土遺物	350

第2節 13区	352
1. 近 世	352
(1) 竪穴状遺構	353
(2) 溝状遺構	354
(3) 井戸址	364
(4) 土 坑	364
(5) 焼土址	386
(6) ビット	387
(7) 遺構外出土遺物	392
2. 中 世	395
(1) 竪穴状遺構	397
(2) 溝状遺構	397
(3) 井戸址	410
(4) 土 坑	422
(5) ビット	430
(6) 遺構外出土遺物	440
3. 奈良・平安時代	443
(1) 遺構外出土遺物	443
4. 縄文時代	444
(1) 遺構外出土遺物	444

(第2分冊)

第3節 8区・9区・調整池②区	445
1. 近 世	445
(1) 掘立柱建物	445
(2) 竪穴状遺構	445
(3) 溝状遺構・杭列・段切り	451
(4) 硬化面	486
(5) 耕作址	488
(6) 井戸址	491
(7) 土 坑	492
(8) ビット	530
(9) 遺構外出土遺物	530

2. 中 世	539
(1) 段切り	539
(2) 竪穴状遺構	549
(3) 溝状遺構	599
(4) 耕作址	629
(5) 井戸址	633
(6) 硬化面	641
(7) 地下式坑	646
(8) 土 坑	652
(9) 集 石	736
(10) ビット	737
(11) 焼土址	787
(12) 遺構外出土遺物	789
3. 奈良・平安時代	803
(1) 土 坑	804
(2) ビット	806
(3) 遺構外出土遺物	807
4. 弥生時代後期～古墳時代前期	809
(1) 遺構外出土遺物	809
5. 縄文時代	810
(1) 遺構外出土遺物	810

第Ⅴ編 自然科学分析	814
第1章 東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡、栗窪・林遺跡、栗窪・林台遺跡、栗窪・四石田遺跡出土の石器・石製品の石材同定	814
第2章 東富岡・太窪遺跡、栗窪・林遺跡出土の黒曜石産地推定分析	825
第3章 栗窪・林窪遺跡、東富岡・太窪遺跡の木製品樹種同定	832

第VI編 まとめ	838
第1章 調査の成果と課題	838
1. 東富岡・太窪遺跡	838
(1) 近 世	838
(2) 中 世	839
(3) 奈良・平安時代	840
(4) 弥生時代後期～古墳時代前期	840
(5) 縄文時代	841
(6) 旧石器時代	842
2. 東富岡・中島遺跡	846
(1) 近 世	846
(2) 中 世	847
(3) 奈良・平安時代	847
(4) 縄文時代	847
(5) 旧石器時代	849
3. 栗窪・林窪遺跡	851
(1) 近 世	851
(2) 中 世	853
(3) 奈良・平安時代	857
(4) 弥生時代後期～古墳時代前期	857
(5) 縄文時代	857
第2章 結語	860

(第3分冊)

写真図版

挿 図 目 次

(第1分冊)

第1図	道路位置図 [1/25,000]	9
第2図	周辺の道路 [1/25,000]	10
第3図	道路周辺の地形と調査地点の位置図 [1/3,000]	11
第4図	栗産地区における調査道路とグリッド設定図 [1/3,000]	24
第5図	東富岡・太田道路 1区・1区南調査区設定図 [1/800]	25
第6図	東富岡・太田道路 2区・2区②・2区南調査区設定図 [1/600]	26
第7図	東富岡・中島道路 4区・4区②・5区調査区設定図 [1/300]	28
第8図	栗産・林産道路 8区・8区②・9区・9区西・調整池②区調査区設定図 [1/800]	30
第9図	栗産・林産道路 10区・13区調査区設定図 [1/400]	31
第10図	1区・1区南基本土層図 [1/800・1/40]	36
第11図	2区・2区②・2区南基本土層図 [1/500・1/40]	39
第12図	1区・1区南 近世遺構配置図 [1/500]	41
第13図	1区K1号溝状遺構 [1/60]	42
第14図	1区南K2号溝状遺構 [1/80・1/40]	43
第15図	1区南K3～5号溝状遺構 [1/80・1/40]	44
第16図	1区南K6号溝状遺構 [1/80・1/40]	45
第17図	1区南K7～12号溝状遺構 [1/80・1/40]	47
第18図	1区南K13～15号溝状遺構 [1/80・1/40]	48
第19図	1区南K16～20号溝状遺構 [1/80・1/40]	50
第20図	1区南K21～26号溝状遺構 [1/80・1/40]	52
第21図	1区K1号硬化面 [1/80・1/40]	54
第22図	1区K1号竪状遺構 [1/80・1/40]	55
第23図	1区K1号土坑 [1/60]	56
第24図	1区南K2・3号土坑 [1/60]	56
第25図	1区南 近世ビッド分布図 [1/150]	57
第26図	1区南K1～10号ビッド [1/60]	58
第27図	1区K1号流路出土遺物 [1/3]	59
第28図	1区K1号流路 [1/300・1/60]	60
第29図	1区近世遺構外出土遺物 [1/3]	61
第30図	1区・1区南 中世遺構配置図 [1/500]	63
第31図	1区南C1号土坑 [1/60]	64
第32図	1区南 中世ビッド分布図 [1/100]	65
第33図	1区南C1～7号ビッド [1/60]	65
第34図	1区C1号流路 [1/300・1/120]	67
第35図	1区C1号杭列 (1) [1/20]	68
第36図	1区C1号杭列 (2) [1/20]	69
第37図	1区C2号杭列 [1/20]	70
第38図	1区C3号杭列 [1/20]	71
第39図	1区C4号杭列 [1/20]	72
第40図	1区C5号杭列 (1) [1/20]	73
第41図	1区C6号杭列 (1) [1/20]	74
第42図	1区C5号杭列 (2) [1/20]	75
第43図	1区C6号杭列 (2) [1/20]	75
第44図	1区中世遺構外出土遺物 [1/3・2/3]	76
第45図	1区・1区南 奈良・平安時代遺構配置図 [1/500]	78
第46図	1区H1号竪状遺構 [1/60]	79
第47図	1区H2号竪状遺構 [1/60]	80

第48図	1区H3号竪状遺構 [1/60]	81
第49図	1区H1～10号土坑 [1/60]	82
第50図	1区H12～20・24号土坑 [1/60]	85
第51図	1区H21～23・25～30号土坑 [1/60]	88
第52図	1区H1号焼土 [1/10]	91
第53図	1区奈良・平安時代ビッド分布図 [1/120]	91
第54図	1区H12～24号ビッド [1/60]	92
第55図	1区奈良・平安時代遺構外出土遺物 [1/4・1/3]	93
第56図	1区・1区南 縄文時代遺構配置図 [1/500]	95
第57図	1区J1～4・6号土坑 [1/60]	96
第58図	1区縄文時代遺構外出土土器 [1/3]	97
第59図	1区・1区南縄文時代遺構外出土土器 [1/3]	98
第60図	2区 近世遺構配置図 [1/400]	100
第61図	2区K1号段切り・K7号溝状遺構・K1号硬化面 (1) [1/120]	101
第62図	2区K1号段切り・K7号溝状遺構・K1号硬化面 (2) [1/60]	102
第63図	2区K1号段切り出土遺物 [1/3]	102
第64図	2区K2号段切り・K8号溝状遺構 [1/60]	103
第65図	2区K3号段切り・K4号溝状遺構 [1/240・1/60]	104
第66図	2区K3号段切り出土遺物 [1/3]	105
第67図	2区K1・2号溝状遺構 [1/60]	106
第68図	2区K3・5号溝状遺構 [1/120・1/60]	108
第69図	2区K6号溝状遺構 [1/60]	109
第70図	2区K7号溝状遺構 [1/60]	111
第71図	2区K1号硬化面 [1/60]	112
第72図	2区K1号竪状遺構 [1/60]	113
第73図	2区K2号竪状遺構 [1/60]	114
第74図	2区K1～6号土坑 [1/60]	115
第75図	2区K7～12号土坑 [1/60]	117
第76図	2区K13～18・21号土坑 [1/60]	120
第77図	2区K19・20号土坑 [1/60]	121
第78図	2区K19号土坑出土遺物 [1/3]	122
第79図	2区近世ビッド分布図 [1/160]	123
第80図	2区K1～15号ビッド [1/60]	124
第81図	2区近世遺構外出土遺物 [1/3・2/3]	125
第82図	2区 中世遺構配置図 [1/400]	127
第83図	2区C1号溝状遺構 [1/60]	128
第84図	2区C1号竪状遺構 [1/120・1/60]	129
第85図	2区C2号竪状遺構 [1/120・1/60]	130
第86図	2区C1～9号土坑 [1/60]	132
第87図	2区C10～17号土坑 [1/60]	134
第88図	2区 中世ビッド分布図 [1/250]	137
第89図	2区C1・4・5・12～18号ビッド [1/60]	138
第90図	2区C19～26号ビッド [1/60]	139
第91図	2区 奈良・平安時代遺構配置図 [1/400]	140
第92図	2区H1号竪穴住居址 (1) [1/60]	142
第93図	2区H1号竪穴住居址 (2) [1/30]	143
第94図	2区H1号竪穴住居址 (3) [1/60]	144
第95図	2区H1号竪穴住居址出土遺物 [1/4・1/3]	145
第96図	2区H1号掘立柱建物址 [1/60]	147
第97図	2区H1号溝状遺構 [1/60]	148

第98図	2区H2号溝状遺構 [1/60]	149	第150図	4区H1号溝状遺構 [1/180・1/60]	210
第99図	2区 奈良・平安時代7世紀遺構配置図 [1/120]	150	第151図	5区H2号溝状遺構 [1/60]	210
第100図	2区H1号竪穴遺構 [1/120・1/60]	151	第152図	4区H1～8号土坑 [1/60]	212
第101図	2区H2号竪穴遺構 [1/60]	152	第153図	4区 奈良・平安時代ビッド分布図 [1/200]	214
第102図	2区H3号竪穴遺構 [1/60]	153	第154図	4区H1～6・14～16号ビッド [1/60]	215
第103図	2区H4号竪穴遺構 (1) [1/120]	154	第155図	4区H17～20号ビッド [1/60]	216
第104図	2区H4号竪穴遺構 (2) [1/60]	155	第156図	4区・5区 縄文時代遺構配置図 [1/300]	219
第105図	2区H5号竪穴遺構 [1/60]	156	第157図	4区J1～3号土坑 [1/60]	220
第106図	2区H1号硬化面 [1/40]	157	第158図	4区J1号土坑出土遺物 [1/3]	220
第107図	2区H2～8号土坑 [1/60]	158	第159図	4区 縄文時代ビッド分布図 [1/150]	221
第108図	2区 奈良・平安時代ビッド分布図 [1/250]	160	第160図	4区J1～12号ビッド [1/60]	222
第109図	2区H12～16・18・19・21・22号ビッド [1/60]	161	第161図	4区縄文時代遺構外出土土器 [1/3]	226
第110図	2区H24・26・30～39号ビッド [1/60]	162	第162図	4区縄文時代遺構外出土土器 [1/3]	228
第111図	2区H40～49号ビッド [1/60]	163	第163図	4・5区旧石器時代調査範囲図 [1/300]	230
第112図	2区H50～59号ビッド [1/60]	164	第164図	4区旧石器時代遺物集中器種・石器別分布図 [1/60]	231
第113図	2区H60～71号ビッド [1/60]	165	第165図	4区旧石器時代遺物外出土土器 [4/5]	232
第114図	2区奈良・平安時代遺構外出土遺物 [1/4]	167	第166図	8区・8区②基本土層図 [1/200・1/40]	234
第115図	2区 弥生時代後期～古墳時代前期遺構配置図 [1/400]	168	第167図	9区・9区西基本土層図 [1/400・1/40]	236
第116図	2区YH1号土坑 [1/60]	169	第168図	10区基本土層図 [1/400・1/40]	237
第117図	2区YH1号遺物集中 [1/30・1/6]	170	第169図	13区基本土層図 [1/400・1/40]	239
第118図	2区YH1号遺物集中出土遺物 [1/4]	170	第170図	調整池②区基本土層図 [1/600・1/40]	241
第119図	2区弥生時代後期～古墳時代前期遺構外出土 遺物 [1/4]	171	第171図	10区 近世遺構配置図 [1/200]	242
第120図	2区縄文時代遺構外出土土器 [1/3]	172	第172図	10区 近世ビッド分布図 [1/200]	243
第121図	2区縄文時代遺構外出土土器 [1/3]	173	第173図	10区近世ビッド(1) [1/80]	244
第122図	2区旧石器時代調査範囲図 [1/400]	175	第174図	10区近世ビッド(2) [1/80]	244
第123図	2区旧石器時代遺物集中器種・石器別分布図 [1/60]	176	第175図	10区近世ビッド(3) [1/80]	244
第124図	2区旧石器時代出土土器 [4/5]	177	第176図	10区K1・6・13・16号ビッド [1/60]	245
第125図	4区・5区基本土層図 [1/600・1/40]	181	第177図	10区近世ビッド出土遺物 [1/3・1/6・1/4]	246
第126図	4区・5区 近世遺構配置図 [1/300]	183	第178図	10区近世遺構外出土遺物 [1/3]	247
第127図	4区K1号段切り・K1号溝状遺構 [1/120・1/60]	184	第179図	10区 中世遺構配置図 (ビッド除く) [1/200]	248
第128図	4区K1号段切り出土遺物 [1/3]	185	第180図	10区 中世遺構配置図 (ビッドのみ) [1/200]	249
第129図	4区K2号段切り・K2・3号溝状遺構 [1/120]	186	第181図	10区C1号竪穴状遺構出土遺物 [1/3]	250
第130図	4区K2号段切り [1/60]	187	第182図	10区中世竪穴状遺構遺構分布図 [1/200]	251
第131図	4区K2号段切り出土遺物 [1/3]	188	第183図	10区C1～3号竪穴状遺構 [1/60]	252
第132図	4区K1号溝状遺構 [1/60]	188	第184図	10区C4～6号竪穴状遺構 [1/60]	254
第133図	4区K2・3号溝状遺構 [1/60]	189	第185図	10区C7号竪穴状遺構出土遺物 [1/3]	255
第134図	4区K1号竪穴遺構 [1/60]	190	第186図	10区C7・8号竪穴遺構 [1/60]	256
第135図	4区K2号竪穴遺構 [1/60]	191	第187図	10区 中世溝状遺構分布図 [1/200]	258
第136図	4区K1～6号土坑 [1/60]	192	第188図	10区C1・5号溝状遺構 [1/80・1/40]	259
第137図	4区 近世ビッド分布図 [1/150]	194	第189図	10区C2・6号溝状遺構 [1/80・1/40]	260
第138図	4区K4・5号ビッド [1/60]	195	第190図	10区C3号溝状遺構出土遺物 [1/3]	261
第139図	4・5区近世遺構外出土遺物 [1/3]	196	第191図	10区C3・4号溝状遺構 [1/40]	262
第140図	4区・5区 中世遺構配置図 [1/300]	197	第192図	10区 中世井戸・土坑・炭化物範囲分布図 [1/200]	264
第141図	5区 中世土坑分布図 [1/100]	199	第193図	10区C1・2号井戸 [1/40]	265
第142図	5区C1～5号土坑 [1/60]	200	第194図	10区C3号井戸 [1/40]	266
第143図	5区 中世ビッド分布図 [1/100]	201	第195図	10区C1～6号土坑 [1/60]	267
第144図	5区C1～9号ビッド [1/60]	202	第196図	10区C5号土坑出土遺物 [1/3]	269
第145図	5区C10～18号ビッド [1/60]	203	第197図	10区C7～12号土坑 [1/60]	270
第146図	5区C19～29号ビッド [1/60]	204	第198図	10区C13号土坑出土遺物 [1/3]	272
第147図	5区C30～31号ビッド [1/60]	205	第199図	10区C13～17号土坑 [1/60]	273
第148図	4・5区中世遺構外出土遺物 [1/3・2/3]	206	第200図	10区C18～22号土坑 [1/60]	275
第149図	4区・5区 奈良・平安時代遺構配置図 [1/300]	208	第201図	10区C23～27号土坑 [1/60]	277
			第202図	10区C28・29・31・32号土坑 [1/60]	279
			第203図	10区C29号土坑出土遺物 [1/3]	280

第204図	10区C31号土坑出土遺物 [2/3]	281	第242図	10区H1号竪穴遺構 [1/60]	331
第205図	10区C33~36号土坑 [1/60]	283	第243図	10区H2号竪穴遺構 [1/60]	332
第206図	10区C38~41号土坑 [1/60]	284	第244図	10区 奈良・平安時代ビット分布図 [1/120]	333
第207図	10区C40号土坑出土遺物 [1/3]	285	第245図	10区H2・4・6~8・10・13~15号ビット [1/60]	334
第208図	10区 中世ビット分布図 [1/200]	287	第246図	10区H16~19・22・26・27・29・30・33号ビット [1/60]	335
第209図	10区中世ビット (1) [1/80]	288	第247図	10区H31・32・34~37・39~42・86号ビット [1/60]	336
第210図	10区中世ビット (2) [1/80]	289	第248図	10区H43~46・48~51・56・57号ビット [1/60]	337
第211図	10区中世ビット (3) [1/80]	290	第249図	10区H52~54・58~61・63・78・92号ビット [1/60]	338
第212図	10区中世ビット (4) [1/80]	290	第250図	10区H64~72号ビット [1/60]	339
第213図	10区C1・20~22・26~29・33・35号ビット [1/60]	291	第251図	10区H73~77・80・82~84号ビット [1/60]	340
第214図	10区C36・37・42・44・46・47号ビット [1/60]	292	第252図	10区H85・87~91・94~97号ビット [1/60]	341
第215図	10区C51・52・54~56・64・80・81・105・177・181号ビット [1/60]	293	第253図	10区H98・100~108号ビット [1/60]	342
第216図	10区C82~84・88・90・97~99・101・112号ビット [1/60]	294	第254図	10区奈良・平安時代ビット出土遺物 [1/4]	343
第217図	10区C102・106・108・109・111・113・115・136号ビット [1/60]	295	第255図	10区H1号遺物集中位置図 [1/200]	346
第218図	10区C114・116~118・127・130・135・139・201号ビット [1/60]	296	第256図	10区H1号遺物集中 [1/60・1/30・1/6]	347
第219図	10区C140~142・146~148・150・276号ビット [1/60]	297	第257図	10区H1号遺物集中出土遺物 [1/4]	348
第220図	10区C153~155・158・161~164・168・218~220号ビット [1/60]	298	第258図	10区奈良・平安時代遺構出土遺物 [1/4]	349
第221図	10区C170・175・176・180・184・186~188・248・294号ビット [1/60]	299	第259図	10区縄文時代遺構外出土土器 [1/3]	350
第222図	10区C189・190・194・195・197・198・200・204号ビット [1/60]	300	第260図	10区縄文時代遺構外出土土器 [1/3]	351
第223図	10区C205~207・209~211・215・237号ビット [1/60]	301	第261図	13区 近世遺構配置図 [1/250]	352
第224図	10区C221・226・228~231・245・252号ビット [1/60]	302	第262図	13区K1号竪穴遺構 [1/60]	353
第225図	10区C253・257・259・260・271・272・281号ビット [1/60]	303	第263図	13区K1~5・8号溝状遺構 [1/60]	355
第226図	10区C274・275・283・291・292・311・326・329号ビット [1/60]	304	第264図	13区K6号溝状遺構 [1/120・1/60]	357
第227図	10区C330・334・336・340・341・352・359・370・388号ビット [1/60]	305	第265図	13区K6号溝状遺構出土遺物 [1/3]	358
第228図	10区C361・362・364・366~369号ビット [1/60]	306	第266図	13区K7号溝状遺構 [1/120・1/60]	359
第229図	10区C371・373~375・377・378・381・383・384・386号ビット [1/60]	307	第267図	13区K7号溝状遺構出土遺物 [1/3]	360
第230図	10区C405・410・422・423・431・432・442・448・453号ビット [1/60]	308	第268図	13区K9号溝状遺構 [1/120・1/60]	361
第231図	10区C458・468・469・477・479・480・486・487・493・494・496・513・514号ビット [1/60]	309	第269図	13区K9号溝状遺構出土遺物 [1/3]	362
第232図	10区中世ビット出土遺物 [1/3・2/3・1/6]	310	第270図	13区K10号溝状遺構 [1/120・1/60]	363
第233図	10区C1号炭化物範囲 [1/40]	319	第271図	13区K10号溝状遺構出土遺物 [1/3]	364
第234図	10区中世遺構外出土遺物 [1/3・2/3]	320	第272図	13区K1・2号井戸 [1/40]	365
第235図	10区 奈良・平安時代遺構配置図 [1/200]	323	第273図	13区K1~4・41・42号土坑 [1/60]	366
第236図	10区H1号竪穴住居地 (1) [1/60]	325	第274図	13区K4号土坑出土遺物 [1/3]	368
第237図	10区H1号竪穴住居地 (2) [1/60]	326	第275図	13区K5~11・23号土坑 [1/60]	369
第238図	10区H1号竪穴住居地 (3) [1/30]	327	第276図	13区K6号土坑出土遺物 [1/3]	370
第239図	10区H1号竪穴住居地 (4) [1/60]	328	第277図	13区K10号土坑出土遺物 [1/3]	371
第240図	10区H1号竪穴住居地出土遺物 [1/4]	329	第278図	13区K12~16・44号土坑 [1/60]	372
第241図	10区H1号溝状遺構 [1/60]	330	第279図	13区K19~22・24~27号土坑 [1/60]	374
			第280図	13区K28~34号土坑 [1/60]	378
			第281図	13区K35~40・43・45号土坑 [1/60]	380
			第282図	13区K47~51・53・55・56号土坑 [1/60]	384
			第283図	13区K1~3号焼土 [1/40]	386
			第284図	13区 近世ビット分布図 [1/250]	387
			第285図	13区近世ビット (1) [1/80]	388
			第286図	13区近世ビット (2) [1/80]	388
			第287図	13区近世ビット (3) [1/80]	389
			第288図	13区近世ビット (4) [1/80]	389
			第289図	13区K81号ビット出土遺物 [1/3]	390
			第290図	13区近世遺構外出土遺物 [1/3]	393

第291図	13区 中世道橋配置図 [1/250]	395
第292図	13区C 1・2号堅穴状遺構 [1/60]	396
第293図	13区C 1号堅穴状遺構出土遺物 [1/3]	397
第294図	13区C 1・2号溝状遺構 [1/60]	398
第295図	13区C 1号溝状遺構出土遺物 [1/3]	399
第296図	13区C 2号溝状遺構出土遺物 [1/3]	400
第297図	13区C 3・5・7・8号溝状遺構 [1/60]	401
第298図	13区C 6・9・10号溝状遺構 [1/60]	403
第299図	13区C 11号溝状遺構出土遺物 [1/3]	404
第300図	13区C 11・14・15号溝状遺構 (1) [1/120・1/60]	406
第301図	13区C 11・14・15号溝状遺構 (2) [1/60]	407
第302図	13区C 12・13号溝状遺構 [1/120・1/60]	408
第303図	13区C 13号溝状遺構出土遺物 [1/3]	409
第304図	13区C 1・2号井戸址 [1/40]	411
第305図	13区C 2号井戸址出土遺物 [1/6]	412
第306図	13区C 3号井戸址出土遺物 [1/6]	413
第307図	13区C 3・4号井戸址 [1/40]	414
第308図	13区C 4号井戸址出土遺物 [1/3]	415
第309図	13区C 5号井戸址 [1/40]	416
第310図	13区C 5号井戸址出土遺物 [1/3]	416
第311図	13区C 6号井戸址 [1/40]	417
第312図	13区C 7号井戸址 [1/40]	418
第313図	13区C 7号井戸址出土遺物 [1/6]	419
第314図	13区C 8・9号井戸址 [1/40]	421
第315図	13区C 1号土坑出土遺物 [2/3]	422
第316図	13区C 2号土坑出土遺物 [1/3]	423
第317図	13区C 1・2・4～6号土坑 [1/60]	424
第318図	13区C 7号土坑出土遺物 [1/3]	425
第319図	13区C 7・8・10・13・15号土坑 [1/60]	426
第320図	13区C 14・16～20号土坑 [1/60]	429
第321図	13区 中世ビッド分布図 [1/250]	431
第322図	13区 中世ビッド (1) [1/80]	432
第323図	13区 中世ビッド (2) [1/80]	432
第324図	13区 中世ビッド (3) [1/80]	433
第325図	13区 中世ビッド (4) [1/80]	433
第326図	13区 中世ビッド (5) [1/80]	434
第327図	13区 中世ビッド (6) [1/80]	434
第328図	13区C 14・17・99・142号ビッド [1/60]	435
第329図	13区中世ビッド出土遺物 [1/3・2/3]	436
第330図	13区中世遺構外出土遺物 [1/3・2/3・1/6]	441
第331図	13区奈良・平安時代遺構外出土遺物 [1/4]	443
第332図 (第2分冊)	13区縄文時代遺構外出土土器 [1/3]	444
第333図	8・9・調整池②区 近世道橋配置図 [1/500]	446
第334図	8・9・調整池②区K 1号掘立柱建物址 (1) [1/60]	447
第335図	8・9・調整池②区K 1号掘立柱建物址 (2) [1/60]	448
第336図	8・9・調整池②区K 1号掘立柱建物址 (3) [1/60]	449
第337図	8・9・調整池②区K 1号堅穴状遺構 [1/60]	450
第338図	8・9・調整池②区K 2号堅穴状遺構 [1/60]	451
第339図	8・9・調整池②区K 1号溝状遺構 [1/60]	451

第340図	8・9・調整池②区K 2号溝状遺構出土遺物 [1/3]	452
第341図	8・9・調整池②区K 2号溝状遺構・ K 1号杭列 [1/60]	453
第342図	8・9・調整池②区K 3号溝状遺構 [1/60]	454
第343図	8・9・調整池②区K 3号溝状遺構出土遺物 [1/3]	455
第344図	8・9・調整池②区K 4号溝状遺構 [1/60]	456
第345図	8・9・調整池②区K 4号溝状遺構出土遺物 [1/3]	456
第346図	8・9・調整池②区K 5号溝状遺構・ K 2号杭列 [1/60]	457
第347図	8・9・調整池②区K 5号溝状遺構出土遺物 [1/3]	458
第348図	8・9・調整池②区K 7号溝状遺構 [1/60]	459
第349図	8・9・調整池②区K 8号溝状遺構 [1/60]	460
第350図	8・9・調整池②区K 8号溝状遺構出土遺物 [1/3]	461
第351図	8・9・調整池②区K 9号溝状遺構出土遺物 [1/3]	461
第352図	8・9・調整池②区K 9号溝状遺構 [1/60]	462
第353図	8・9・調整池②区K 10号溝状遺構 [1/60]	464
第354図	8・9・調整池②区K 11号溝状遺構 [1/60]	465
第355図	8・9・調整池②区K 12号溝状遺構 [1/60]	465
第356図	8・9・調整池②区K 13号溝状遺構 [1/60]	466
第357図	8・9・調整池②区K 15号溝状遺構 [1/60]	467
第358図	8・9・調整池②区K 16号溝状遺構 [1/60]	468
第359図	8・9・調整池②区K 17号溝状遺構 [1/60]	469
第360図	8・9・調整池②区K 17号溝状遺構出土遺物 [1/3]	469
第361図	8・9・調整池②区K 18号溝状遺構 (1) [1/120・1/60]	470
第362図	8・9・調整池②区K 18号溝状遺構 (2) [1/60]	471
第363図	8・9・調整池②区K 18号溝状遺構出土遺物 [1/3・1/6]	472
第364図	8・9・調整池②区K 19号溝状遺構・ K 1号段切り [1/120・1/60]	474
第365図	8・9・調整池②区K 20号溝状遺構 [1/120・1/60]	475
第366図	8・9・調整池②区K 21号溝状遺構 [1/120・1/60]	476
第367図	8・9・調整池②区K 22号溝状遺構 [1/60]	477
第368図	8・9・調整池②区K 23号溝状遺構 [1/60]	478

第369図	8・9・調整池②区K24号溝状遺構 [1/60]	479
第370図	8・9・調整池②区K25号溝状遺構・ K2号段切り [1/60]	480
第371図	8・9・調整池②区K26号溝状遺構 [1/60]	481
第372図	8・9・調整池②区K26号溝状遺構出土遺物 [1/3]	482
第373図	8・9・調整池②区K27号溝状遺構 [1/60]	483
第374図	8・9・調整池②区K28号溝状遺構 [1/60]	484
第375図	8・9・調整池②区K28号溝状遺構出土遺物 [1/3]	484
第376図	8・9・調整池②区K29号溝状遺構 [1/60]	486
第377図	8・9・調整池②区K30号溝状遺構 [1/60]	487
第378図	8・9・調整池②区K31号溝状遺構 [1/60]	488
第379図	8・9・調整池②区K1号硬化面 [1/60]	489
第380図	8・9・調整池②区K2号硬化面 [1/60]	490
第381図	8・9・調整池②区K2号硬化面 [1/60]	491
第382図	8・9・調整池②区K2号硬化面出土遺物 [1/3]	491
第383図	8・9・調整池②区K4号硬化面 [1/60]	492
第384図	8・9・調整池②区K1号耕作址 [1/80]	493
第385図	8・9・調整池②区K2号耕作址 [1/80]	494
第386図	8・9・調整池②区K1号井戸址 [1/60]	495
第387図	8・9・調整池②区K1号井戸址出土遺物 [1/3]	495
第388図	8・9・調整池②区K1～4号土坑 [1/60]	496
第389図	8・9・調整池②区K5～8号土坑 [1/60]	498
第390図	8・9・調整池②区K9～14号土坑 [1/60]	500
第391図	8・9・調整池②区K15～19号土坑 [1/60]	502
第392図	8・9・調整池②区K20～22・25号土坑 [1/60]	504
第393図	8・9・調整池②区K26～28号土坑 [1/60]	506
第394図	8・9・調整池②区K29～32・34号土坑 [1/60]	507
第395図	8・9・調整池②区K35～38号土坑 [1/60]	509
第396図	8・9・調整池②区K39～44号土坑 [1/60]	511
第397図	8・9・調整池②区K45～50号土坑 [1/60]	514
第398図	8・9・調整池②区K51～54号土坑 [1/60]	516
第399図	8・9・調整池②区 近世ビット分布図 [1/500]	517
第400図	8・9・調整池②区近世ビット (1) [1/80]	518

第401図	8・9・調整池②区近世ビット (2) [1/80]	519
第402図	8・9・調整池②区近世ビット (3) [1/80]	520
第403図	8・9・調整池②区近世ビット (4) [1/80]	521
第404図	8・9・調整池②区近世ビット (5) [1/80]	522
第405図	8・9・調整池②区近世ビット (6) [1/80]	523
第406図	8・9・調整池②区近世ビット (7) [1/80]	524
第407図	8・9・調整池②区近世ビット (8) [1/80]	525
第408図	8・9・調整池②区近世ビット (9) [1/80]	526
第409図	8・9・調整池②区近世ビット (10) [1/80]	526
第410図	8・9・調整池②区K280号ビット出土遺物 [1/3]	530
第411図	8・9・調整池②区近世遺構外出土遺物 (1) [1/3]	532
第412図	8・9・調整池②区近世遺構外出土遺物 (2) [1/3]	533
第413図	8・9・調整池②区近世遺構外出土遺物 (3) [1/3・2/3・1/6]	534
第414図	8・9・調整池②区近世遺構外出土遺物 (4) [1/6]	535
第415図	8・9・調整池②区 中世遺構配置図 [1/500]	540
第416図	8・9・調整池②区 中世遺構 (堅穴状遺構) 配置図 [1/500]	541
第417図	8・9・調整池②区 中世遺構 (溝状遺構・ 段切り) 配置図 [1/500]	542
第418図	8・9・調整池②区 中世遺構 (土坑) 配置図 [1/500]	543
第419図	8・9・調整池②区 中世遺構 (地下式坑・ 焼土・硬化面・井戸・集石・耕作址) 配置図 [1/500]	544
第420図	8・9・調整池②区C1号段切り [1/120・1/60]	545
第421図	8・9・調整池②区C2号段切り [1/60]	546
第422図	8・9・調整池②区C5号段切り [1/60]	547
第423図	8・9・調整池②区C5号段切り出土遺物 [1/3・2/3]	548
第424図	8・9・調整池②区C1号堅穴状遺構 [1/60]	550
第425図	8・9・調整池②区C1号堅穴状遺構出土 遺物 (1) [1/3]	551
第426図	8・9・調整池②区C1号堅穴状遺構出土 遺物 (2) [1/3]	552
第427図	8・9・調整池②区C2号堅穴状遺構 [1/60]	554
第428図	8・9・調整池②区C3号堅穴状遺構 [1/60]	555
第429図	8・9・調整池②区C4号堅穴状遺構 [1/60]	556
第430図	8・9・調整池②区C4号堅穴状遺構出土 遺物 [1/3]	557

第431图	8·9·调整池②区C 5号竖穴状道槽 [1/60]	558	第461图	8·9·调整池②区C 28号竖穴状道槽 [1/60]	585
第432图	8·9·调整池②区C 6号竖穴状道槽 (1) [1/60]	559	第462图	8·9·调整池②区C 29号竖穴状道槽 [1/60]	587
第433图	8·9·调整池②区C 6号竖穴状道槽 (2) [1/60]	560	第463图	8·9·调整池②区C 31号竖穴状道槽 [1/60]	588
第434图	8·9·调整池②区C 7号竖穴状道槽 [1/60]	561	第464图	8·9·调整池②区C 32号竖穴状道槽 [1/60]	589
第435图	8·9·调整池②区C 8号竖穴状道槽 (1) [1/60]	562	第465图	8·9·调整池②区C 33号竖穴状道槽 [1/60]	590
第436图	8·9·调整池②区C 8号竖穴状道槽 (2) [1/60]	563	第466图	8·9·调整池②区C 34号竖穴状道槽 [1/60]	591
第437图	8·9·调整池②区C 8号竖穴状道槽出土 道物 [1/3·2/3]	563	第467图	8·9·调整池②区C 34号竖穴状道槽出土 道物 [1/3]	593
第438图	8·9·调整池②区C 9号竖穴状道槽 [1/60]	564	第468图	8·9·调整池②区C 35号竖穴状道槽 [1/60]	594
第439图	8·9·调整池②区C 10号竖穴状道槽 [1/60]	565	第469图	8·9·调整池②区C 36号竖穴状道槽 [1/60]	595
第440图	8·9·调整池②区C 11号竖穴状道槽 [1/60]	566	第470图	8·9·调整池②区C 37号竖穴状道槽 [1/60]	596
第441图	8·9·调整池②区C 12号竖穴状道槽 [1/60]	567	第471图	8·9·调整池②区C 38号竖穴状道槽 [1/60]	597
第442图	8·9·调整池②区C 13号竖穴状道槽 [1/60]	568	第472图	8·9·调整池②区C 39号竖穴状道槽 [1/60]	598
第443图	8·9·调整池②区C 14号竖穴状道槽 [1/60]	569	第473图	8·9·调整池②区C 40号竖穴状道槽 [1/60]	598
第444图	8·9·调整池②区C 14号竖穴状道槽出土 道物 [1/3]	570	第474图	8·9·调整池②区C 41号竖穴状道槽 [1/60]	599
第445图	8·9·调整池②区C 15号竖穴状道槽 [1/60]	571	第475图	8·9·调整池②区C 42号竖穴状道槽 [1/60]	600
第446图	8·9·调整池②区C 16号竖穴状道槽 [1/60]	572	第476图	8·9·调整池②区C 42号竖穴状道槽出土 道物 [2/3]	601
第447图	8·9·调整池②区C 17号竖穴状道槽 [1/60]	573	第477图	8·9·调整池②区C 1号横状道槽 [1/120·1/60]	602
第448图	8·9·调整池②区C 18号竖穴状道槽 [1/60]	574	第478图	8·9·调整池②区C 1号横状道槽出土 道物 [1/3]	603
第449图	8·9·调整池②区C 19号竖穴状道槽 [1/60]	575	第479图	8·9·调整池②区C 2号横状道槽 [1/60]	604
第450图	8·9·调整池②区C 20号竖穴状道槽出土 道物 [2/3·1/3]	576	第480图	8·9·调整池②区C 4号横状道槽 [1/60]	605
第451图	8·9·调整池②区C 20号竖穴状道槽 [1/60]	577	第481图	8·9·调整池②区C 5号横状道槽 [1/60]	606
第452图	8·9·调整池②区C 21号竖穴状道槽 [1/60]	579	第482图	8·9·调整池②区C 10号横状道槽 [1/60]	607
第453图	8·9·调整池②区C 21号竖穴状道槽出土 道物 [1/3]	579	第483图	8·9·调整池②区C 11号横状道槽 [1/60]	609
第454图	8·9·调整池②区C 22号竖穴状道槽 [1/60]	580	第484图	8·9·调整池②区C 12号横状道槽 [1/60]	609
第455图	8·9·调整池②区C 23号竖穴状道槽 [1/60]	580	第485图	8·9·调整池②区C 13号横状道槽 [1/60]	610
第456图	8·9·调整池②区C 24号竖穴状道槽 [1/60]	581	第486图	8·9·调整池②区C 14号横状道槽 (1) [1/240]	611
第457图	8·9·调整池②区C 24号竖穴状道槽出土 道物 [1/3]	582	第487图	8·9·调整池②区C 14号横状道槽 (2) [1/240]	612
第458图	8·9·调整池②区C 25号竖穴状道槽 [1/60]	583	第488图	8·9·调整池②区C 14号横状道槽 (3) [1/60]	613
第459图	8·9·调整池②区C 26号竖穴状道槽 [1/60]	584	第489图	8·9·调整池②区C 14号横状道槽 (4) [1/60]	614
第460图	8·9·调整池②区C 27号竖穴状道槽				

第490图	8·9·调整池②区C14号溝状遺構出土 遺物 [1/3]	615	第523图	8·9·调整池②区C7号井戸址 [1/60]	640
第491图	8·9·调整池②区C15号溝状遺構 [1/60]	616	第524图	8·9·调整池②区C7号井戸址出土遺物 [1/3]	640
第492图	8·9·调整池②区C16号溝状遺構 [1/60]	616	第525图	8·9·调整池②区C8号井戸址 [1/60]	640
第493图	8·9·调整池②区C17号溝状遺構 [1/60]	617	第526图	8·9·调整池②区C9号井戸址 [1/60]	641
第494图	8·9·调整池②区C17号溝状遺構出土遺物 [1/3]	618	第527图	8·9·调整池②区C1号硬化面 [1/120·1/60]	643
第495图	8·9·调整池②区C20号溝状遺構 [1/60]	619	第528图	8·9·调整池②区C2·3号硬化面 [1/60]	644
第496图	8·9·调整池②区C21号溝状遺構 [1/60]	620	第529图	8·9·调整池②区C4号硬化面 [1/60]	645
第497图	8·9·调整池②区C21号溝状遺構出土遺物 [1/3]	620	第530图	8·9·调整池②区C5号硬化面 [1/60]	645
第498图	8·9·调整池②区C22号溝状遺構 [1/60]	621	第531图	8·9·调整池②区C1号地下式坑 (1) [1/60]	647
第499图	8·9·调整池②区C23号溝状遺構 [1/60]	622	第532图	8·9·调整池②区C1号地下式坑 (2) [1/60]	648
第500图	8·9·调整池②区C24号溝状遺構 [1/120·1/60]	623	第533图	8·9·调整池②区C2号地下式坑 [1/60]	649
第501图	8·9·调整池②区C25号溝状遺構 [1/120·1/60]	624	第534图	8·9·调整池②区C2号地下式坑出土遺物 [1/3]	650
第502图	8·9·调整池②区C26号溝状遺構 [1/60]	625	第535图	8·9·调整池②区C3号地下式坑 [1/60]	651
第503图	8·9·调整池②区C27号溝状遺構 [1/60]	625	第536图	8·9·调整池②区C3号地下式坑出土遺物 [1/3]	652
第504图	8·9·调整池②区C28号溝状遺構 [1/60]	626	第537图	8·9·调整池②区C5号地下式坑 [1/60]	653
第505图	8·9·调整池②区C30号溝状遺構 [1/60]	627	第538图	8·9·调整池②区C5号地下式坑出土遺物 [1/3]	654
第506图	8·9·调整池②区C31号溝状遺構 [1/60]	628	第539图	8·9·调整池②区C7号地下式坑 [1/60]	655
第507图	8·9·调整池②区C32号溝状遺構 [1/60]	628	第540图	8·9·调整池②区C1~4号土坑 [1/60]	656
第508图	8·9·调整池②区C33号溝状遺構 (1) [1/60]	630	第541图	8·9·调整池②区C4号土坑出土遺物 [1/3]	657
第509图	8·9·调整池②区C33号溝状遺構 (2) [1/60]	631	第542图	8·9·调整池②区C6号土坑出土遺物 [1/3]	658
第510图	8·9·调整池②区C33号溝状遺構出土 遺物 [1/3]	631	第543图	8·9·调整池②区C5~8号土坑 [1/60]	659
第511图	8·9·调整池②区C34号溝状遺構 [1/60]	632	第544图	8·9·调整池②区C9~11号土坑 [1/60]	660
第512图	8·9·调整池②区C34号溝状遺構出土遺物 [1/3]	633	第545图	8·9·调整池②区C11号土坑出土遺物 (1) [1/3]	662
第513图	8·9·调整池②区C1号耕作址 [1/60]	634	第546图	8·9·调整池②区C11号土坑出土遺物 (2) [1/3]	663
第514图	8·9·调整池②区C1号井戸址 [1/60]	634	第547图	8·9·调整池②区C11号土坑出土遺物 (3) [1/3]	664
第515图	8·9·调整池②区C2号井戸址 [1/60]	635	第548图	8·9·调整池②区C11号土坑出土遺物 (4) [1/3]	665
第516图	8·9·调整池②区C2号井戸址出土遺物 [1/3]	635	第549图	8·9·调整池②区C11号土坑出土遺物 (5) [1/3]	666
第517图	8·9·调整池②区C3号井戸址 [1/60]	636	第550图	8·9·调整池②区C12~15号土坑 [1/60]	668
第518图	8·9·调整池②区C4号井戸址 [1/60]	637	第551图	8·9·调整池②区C15号土坑出土遺物 [1/3]	670
第519图	8·9·调整池②区C5号井戸址 [1/60]	637	第552图	8·9·调整池②区C17号土坑出土遺物 [1/3]	671
第520图	8·9·调整池②区C5号井戸址出土遺物 [1/3]	638	第553图	8·9·调整池②区C16~19号土坑 [1/60]	672
第521图	8·9·调整池②区C6号井戸址 [1/60]	638	第554图	8·9·调整池②区C20~24号土坑 [1/60]	674
第522图	8·9·调整池②区C6号井戸址出土遺物 [1/3]	639			

第555図	8・9・調整池②区C 25～28号土坑 [1/60]	第585図	8・9・調整池②区C 134～138号土坑 [1/60]
第556図	8・9・調整池②区C 29～33号土坑 [1/60]	第586図	8・9・調整池②区C 140～145号土坑 [1/60]
第557図	8・9・調整池②区C 34～36号土坑 [1/60]	第586図	8・9・調整池②区C 140号土坑出土遺物 [1/3]
第558図	8・9・調整池②区C 37～40号土坑 [1/60]	第588図	8・9・調整池②区C 146～149号土坑 [1/60]
第559図	8・9・調整池②区C 41号土坑出土遺物 [1/3]	第589図	8・9・調整池②区C 150～153号土坑 [1/60]
第560図	8・9・調整池②区C 41～44号土坑 [1/60]	第590図	8・9・調整池②区C 153号土坑出土遺物 [1/3]
第561図	8・9・調整池②区C 45～48号土坑 [1/60]	第591図	8・9・調整池②区C 154号土坑出土遺物 [1/3]
第562図	8・9・調整池②区C 48号土坑出土遺物 [2/3・1/3]	第592図	8・9・調整池②区C 154号土坑 [1/60]
第563図	8・9・調整池②区C 49～52号土坑 [1/60]	第593図	8・9・調整池②区C 155号土坑出土遺物 [2/3]
第564図	8・9・調整池②区C 54～58号土坑 [1/60]	第594図	8・9・調整池②区C 155～158号土坑 [1/60]
第565図	8・9・調整池②区C 59号土坑出土遺物 [1/3]	第595図	8・9・調整池②区C 1号集石 [1/30]
第566図	8・9・調整池②区C 60号土坑出土遺物 [1/3]	第596図	8・9・調整池②区 中世ビッド分布図 [1/500]
第567図	8・9・調整池②区C 59～62号土坑 [1/60]	第597図	8・9・調整池②区中世ビッド (1) [1/80]
第568図	8・9・調整池②区C 63・65～67号土坑 [1/60]	第598図	8・9・調整池②区中世ビッド (2) [1/80]
第569図	8・9・調整池②区C 68・69・71・72号土坑 [1/60]	第599図	8・9・調整池②区中世ビッド (3) [1/80]
第570図	8・9・調整池②区C 73～77号土坑 [1/60]	第600図	8・9・調整池②区中世ビッド (4) [1/80]
第571図	8・9・調整池②区C 78～81号土坑 [1/60]	第601図	8・9・調整池②区中世ビッド (5) [1/80]
第572図	8・9・調整池②区C 82～85号土坑 [1/60]	第602図	8・9・調整池②区中世ビッド (6) [1/80]
第573図	8・9・調整池②区C 86～90号土坑 [1/60]	第603図	8・9・調整池②区中世ビッド (7) [1/80]
第574図	8・9・調整池②区C 91～94号土坑 [1/60]	第604図	8・9・調整池②区中世ビッド (8) [1/80]
第575図	8・9・調整池②区C 95・96・99～101号土坑 [1/60]	第605図	8・9・調整池②区中世ビッド (9) [1/80]
第576図	8・9・調整池②区C 102・104～106号土坑 [1/60]	第606図	8・9・調整池②区中世ビッド (10) [1/80]
第577図	8・9・調整池②区C 105号土坑出土遺物 [2/3]	第607図	8・9・調整池②区中世ビッド (11) [1/80]
第578図	8・9・調整池②区C 107～111号土坑 [1/60]	第608図	8・9・調整池②区中世ビッド (12) [1/80]
第579図	8・9・調整池②区C 112～115号土坑 [1/60]	第609図	8・9・調整池②区中世ビッド (13) [1/80]
第580図	8・9・調整池②区C 116～120号土坑 [1/60]	第610図	8・9・調整池②区中世ビッド (14) [1/80]
第581図	8・9・調整池②区C 118号土坑出土遺物 [1/3]	第611図	8・9・調整池②区中世ビッド (15) [1/80]
第582図	8・9・調整池②区C 121～124号土坑 [1/60]	第612図	8・9・調整池②区中世ビッド (16) [1/80]
第583図	8・9・調整池②区C 125～128号土坑 [1/60]	第613図	8・9・調整池②区中世ビッド出土遺物 (1) [1/3]
第584図	8・9・調整池②区C 129～133号土坑 [1/60]	第614図	8・9・調整池②区中世ビッド出土遺物 (2) [1/3・2/3]

第615図	8・9・調整池②区中世ビット出土遺物 (3) [1/3・1/6]783
第616図	8・9・調整池②区C1～4号焼土址 [1/60]787
第617図	8・9・調整池②区C2号焼土址出土遺物 [1/3]788
第618図	8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物 (1) [1/3]790
第619図	8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物 (2) [1/3]791
第620図	8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物 (3) [1/3]792
第621図	8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物 (4) [1/3]793
第622図	8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物 (5) [1/3・2/3]794
第623図	8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物 (6) [1/3・1/6]795
第624図	8・9・調整池②区奈良・平安時代 遺構配置図 [1/500]803
第625図	8・9・調整池②区H1～5号土坑 [1/60]805
第626図	8・9・調整池②区 奈良・平安時代ビット 配置図 [1/60]806
第627図	8・9・調整池②区奈良・平安時代遺構外 出土遺物 [1/4]807
第628図	8・9・調整池②弥生時代後期～古墳時代前期 遺構外出土遺物 [1/4]809
第629図	8・9・調整池②縄文時代遺構外出土土器 [1/3]811
第630図	8・9・調整池②縄文時代遺構外出土土器 [2/3・1/3]812

第631図	主な岩種一覧820
第632図	黒曜石原産地一覧827
第633図	黒曜石原産地推定結果 (1)829
第634図	黒曜石原産地推定結果 (2)830
第635図	木材 (1)836
第636図	木材 (2)837
第637図	東富岡・太座遺跡近世遺構分布図 [1/1,600]838
第638図	東富岡・太座遺跡中世遺構分布図 [1/1,600]839
第639図	東富岡・太座遺跡奈良・平安時代遺構分布図 [1/1,600]840
第640図	東富岡・太座遺跡、栗座・林台遺跡 弥生時代後期～古墳時代前期遺構分布図 [1/1,000]841
第641図	伊勢原・栗野B2層石器群の分布 (上) [1/50,000]・器種組成 (下) [1/4]843
第642図	東富岡・中島遺跡近世遺構分布図 [1/600]847
第643図	東富岡・中島遺跡中世遺構分布図 [1/600]848
第644図	東富岡・中島遺跡奈良・平安時代遺構分布図 [1/600]849
第645図	東富岡・中島遺跡縄文時代遺構分布図 [1/600]850
第646図	中世土陶磁器種類 [1/6]854
第647図	中世出土かわけ分組 [1/3]855
第648図	8・9・調整池②区C11号土坑 (第544～549図) 木製品出土状況 [遺構1/60・ 遺物1/10]856
第649図	栗座・林台遺跡奈良・平安時代遺構分布図 [1/1,000]857

挿 表 目 次

(第1分冊)

第1表	栗座・林台遺跡、栗座・林台遺跡、栗座・四石田遺 跡、東富岡・太座遺跡、東富岡・中島遺跡発掘調 査に係る調整及び届け出等の文書2
第2表	周辺の遺跡14
第3表	東富岡・太座遺跡、東富岡・中島遺跡、栗座・林 台遺跡発掘作業工程表32
第4表	東富岡・太座遺跡、東富岡・中島遺跡、栗座・林 台遺跡出土品整理作業工程表34
第5表	1区南近世ビット計測表59
第6表	1区K1号流路出土遺物観察表59
第7表	1区近世遺構外出土遺物観察表62
第8表	1区南中世ビット計測表66
第9表	1区中世遺構外出土遺物観察表77
第10表	1区奈良・平安時代ビット計測表93
第11表	1区奈良・平安時代遺構外出土遺物観察表94
第12表	1区・1区南縄文時代遺構外出土土器属性表98
第13表	2区K1号段切り出土遺物観察表103
第14表	2区K3号段切り出土遺物観察表105
第15表	2区K19号土坑出土遺物観察表122
第16表	2区近世ビット計測表123
第17表	2区近世遺構外出土遺物観察表126

第18表	2区中世ビット計測表137
第19表	2区H1号竈穴住居址出土遺物観察表146
第20表	2区古墳時代後期～奈良・平安時代ビット 計測表166
第21表	2区奈良・平安時代遺構外出土遺物観察表167
第22表	2区YH1号遺物集中出土遺物観察表171
第23表	2区弥生時代後期～古墳時代前期遺構外出土 遺物観察表171
第24表	2区縄文時代遺構外出土土器属性表173
第25表	2区旧石器時代出土土器一覧表178
第26表	4区K1号段切り出土遺物観察表185
第27表	4区K2号段切り出土遺物観察表188
第28表	4区近世ビット計測表195
第29表	4・5区近世遺構外出土遺物観察表196
第30表	5区中世ビット計測表205
第31表	4・5区中世遺構外出土遺物観察表207
第32表	4区奈良・平安時代ビット計測表216
第33表	4区縄文時代ビット計測表223
第34表	4区縄文時代遺構外出土土器属性表228
第35表	4区旧石器時代遺構外出土土器一覧表232
第36表	10区近世ビット計測表245
第37表	10区近世ビット出土遺物観察表246

第38表	10区近世遺構外出土遺物観察表	247
第39表	10区C 1号堅穴状遺構出土遺物観察表	250
第40表	10区C 7号堅穴状遺構出土遺物観察表	255
第41表	10区C 3号溝状遺構出土遺物観察表	261
第42表	10区C 5号土坑出土遺物観察表	269
第43表	10区C 13号土坑出土遺物観察表	272
第44表	10区C 29号土坑出土遺物観察表	280
第45表	10区C 31号土坑出土遺物観察表	281
第46表	10区C 40号土坑出土遺物観察表	286
第47表	10区中世ビッド出土遺物観察表	311
第48表	10区中世ビッド計測表	312
第49表	10区中世遺構外出土遺物観察表	321
第50表	10区H 1号堅穴住居址出土遺物観察表	328
第51表	10区奈良・平安時代ビッド出土遺物観察表	343
第52表	10区奈良・平安時代ビッド計測表	344
第53表	10区H 1号遺物集中出土遺物観察表	348
第54表	10区奈良・平安時代遺構外出土遺物観察表	349
第55表	10区縄文時代遺構外出土土器属性表	351
第56表	13区K 6号溝状遺構出土遺物観察表	358
第57表	13区K 7号溝状遺構出土遺物観察表	360
第58表	13区K 9号溝状遺構出土遺物観察表	362
第59表	13区K 10号溝状遺構出土遺物観察表	364
第60表	13区K 4号土坑出土遺物観察表	368
第61表	13区K 6号土坑出土遺物観察表	370
第62表	13区K 10号土坑出土遺物観察表	371
第63表	13区K 8号ビッド出土遺物観察表	390
第64表	13区近世ビッド計測表	390
第65表	13区近世遺構外出土遺物観察表	394
第66表	13区C 1号堅穴状遺構出土遺物観察表	397
第67表	13区C 1号溝状遺構出土遺物観察表	399
第68表	13区C 2号溝状遺構出土遺物観察表	400
第69表	13区C 11号溝状遺構出土遺物観察表	405
第70表	13区C 13号溝状遺構出土遺物観察表	410
第71表	13区C 2号井戸址出土遺物観察表	413
第72表	13区C 3号井戸址出土遺物観察表	413
第73表	13区C 4号井戸址出土遺物観察表	415
第74表	13区C 5号井戸址出土遺物観察表	416
第75表	13区C 7号井戸址出土遺物観察表	420
第76表	13区C 1号土坑出土遺物観察表	422
第77表	13区C 2号土坑出土遺物観察表	423
第78表	13区C 7号土坑出土遺物観察表	425
第79表	13区中世ビッド出土遺物観察表	436
第80表	13区中世ビッド計測表	437
第81表	13区中世遺構外出土遺物観察表	442
第82表	13区奈良・平安時代遺構外出土遺物観察表	443
第83表	13区縄文時代遺構外出土土器属性表	444
(第2分冊)		
第84表	8・9・調整池②区K 2号溝状遺構出土遺物 観察表	452
第85表	8・9・調整池②区K 3号溝状遺構出土遺物 観察表	455
第86表	8・9・調整池②区K 4号溝状遺構出土遺物 観察表	456
第87表	8・9・調整池②区K 5号溝状遺構出土遺物 観察表	458

第88表	8・9・調整池②区K 8号溝状遺構出土遺物 観察表	461
第89表	8・9・調整池②区K 9号溝状遺構出土遺物 観察表	461
第90表	8・9・調整池②区K 17号溝状遺構出土遺物 観察表	469
第91表	8・9・調整池②区K 18号溝状遺構出土遺物 観察表	473
第92表	8・9・調整池②区K 26号溝状遺構出土遺物 観察表	482
第93表	8・9・調整池②区K 28号溝状遺構出土遺物 観察表	484
第94表	8・9・調整池②区K 2号硬化面出土遺物 観察表	491
第95表	8・9・調整池②区K 1号井戸址出土遺物 観察表	495
第96表	8・9・調整池②区近世ビッド計測表	527
第97表	8・9・調整池②区K 280号ビッド出土遺物 観察表	530
第98表	8・9・調整池②区近世遺構外出土遺物観察表	535
第99表	8・9・調整池②区C 5号段切り出土遺物 観察表	548
第100表	8・9・調整池②区C 1号堅穴状遺構出土 遺物観察表	552
第101表	8・9・調整池②区C 4号堅穴状遺構出土 遺物観察表	557
第102表	8・9・調整池②区C 8号堅穴状遺構出土 遺物観察表	563
第103表	8・9・調整池②区C 14号堅穴状遺構出土 遺物観察表	570
第104表	8・9・調整池②区C 20号堅穴状遺構出土 遺物観察表	576
第105表	8・9・調整池②区C 21号堅穴状遺構出土 遺物観察表	579
第106表	8・9・調整池②区C 24号堅穴状遺構出土 遺物観察表	582
第107表	8・9・調整池②区C 34号堅穴状遺構出土 遺物観察表	593
第108表	8・9・調整池②区C 42号堅穴状遺構出土 遺物観察表	601
第109表	8・9・調整池②区C 1号溝状遺構出土 遺物観察表	603
第110表	8・9・調整池②区C 14号溝状遺構出土 遺物観察表	615
第111表	8・9・調整池②区C 17号溝状遺構出土 遺物観察表	618
第112表	8・9・調整池②区C 21号溝状遺構出土 遺物観察表	621
第113表	8・9・調整池②区C 33号溝状遺構出土 遺物観察表	631
第114表	8・9・調整池②区C 34号溝状遺構出土 遺物観察表	633
第115表	8・9・調整池②区C 2号井戸址出土遺物 観察表	635

第116表	8・9・調整池②区C 5号井戸址出土遺物	
観察表		638
第117表	8・9・調整池②区C 6号井戸址出土遺物	
観察表		639
第118表	8・9・調整池②区C 7号井戸址出土遺物	
観察表		640
第119表	8・9・調整池②区C 2号地下式坑出土遺物	
観察表		650
第120表	8・9・調整池②区C 3号地下式坑出土遺物	
観察表		652
第121表	8・9・調整池②区C 5号地下式坑出土遺物	
観察表		654
第122表	8・9・調整池②区C 4号土坑出土遺物	
観察表		657
第123表	8・9・調整池②区C 6号土坑出土遺物	
観察表		658
第124表	8・9・調整池②区C 11号土坑出土遺物	
観察表		666
第125表	8・9・調整池②区C 15号土坑出土遺物	
観察表		671
第126表	8・9・調整池②区C 17号土坑出土遺物	
観察表		671
第127表	8・9・調整池②区C 41号土坑出土遺物	
観察表		683
第128表	8・9・調整池②区C 48号土坑出土遺物	
観察表		687
第129表	8・9・調整池②区C 59号土坑出土遺物	
観察表		692
第130表	8・9・調整池②区C 60号土坑出土遺物	
観察表		692
第131表	8・9・調整池②区C 105号土坑出土遺物	
観察表		711
第132表	8・9・調整池②区C 118号土坑出土遺物	
観察表		718
第133表	8・9・調整池②区C 140号土坑出土遺物	
観察表		728
第134表	8・9・調整池②区C 153号土坑出土遺物	
観察表		733

第135表	8・9・調整池②区C 154号土坑出土遺物	
観察表		734
第136表	8・9・調整池②区C 155号土坑出土遺物	
観察表		735
第137表	8・9・調整池②区中世ビット計測表	753
第138表	8・9・調整池②区中世ビット出土遺物	
観察表		784
第139表	8・9・調整池②区C 2号焼土址出土遺物	
観察表		788
第140表	8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物	
観察表		796
第141表	8・9・調整池②区奈良・平安時代ビット	
計測表		807
第142表	8・9・調整池②区奈良・平安時代遺構外出土遺物観察表	808
第143表	8・9・調整池②弥生時代後期～古墳時代前期遺構外出土遺物観察表	809
第144表	8・9・調整池②縄文時代遺構外出土石器属性表	813
第145表	東富岡・太座遺跡器種・製品毎構成岩石種表	821
第146表	東富岡・中島遺跡器種・製品毎構成岩石種表	821
第147表	栗窪・林座遺跡器種・製品毎構成岩石種表	822
第148表	栗窪・林座遺跡器種・製品毎構成岩石種表	823
第149表	栗窪・林台遺跡器種・製品毎構成岩石種表	824
第150表	栗窪・四石田遺跡器種・製品毎構成岩石種表	824
第151表	黒曜石原産地試料一覧	826
第152表	スペクトル強度と判定指標値	831
第153表	黒曜石判定結果	831
第154表	樹種同定結果	833
第155表	伊勢原・栗野B 2層石器群遺物集中の内容	844

写真目次

(第3分冊)

- 図版1 -1 東富岡・太塚遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡遠景(西上空から)
-2 栗窪・林窪遺跡近景(西上空から)
- 図版2 -1 東富岡・太塚遺跡、東富岡・中島遺跡遠景(西から)
-2 栗窪・林窪遺跡遠景(東から)
- 図版3 -1 東富岡・太塚遺跡 1区調査開始前(東から)
-2 東富岡・太塚遺跡 1区L1グリッド西壁土層堆積状況(東から)
- 図版4 -1 東富岡・太塚遺跡 1区南19グリッド北壁土層堆積状況(南東から)
-2 東富岡・太塚遺跡 1区K1号溝状遺構(南から)
- 図版5 -1 東富岡・太塚遺跡 1区南K6号溝状遺構(東から)
-2 東富岡・太塚遺跡 1区K1号硬化面(東から)
- 図版6 -1 東富岡・太塚遺跡 1区K1号畝状遺構(西から)
-2 東富岡・太塚遺跡 1区K1号土坑(北西から)
- 図版7 -1 東富岡・太塚遺跡 1区南K3号土坑(西から)
-2 東富岡・太塚遺跡 1区K1号流路南西部(北東から)
- 図版8 -1 東富岡・太塚遺跡 1区C1号流路(東から)
-2 東富岡・太塚遺跡 1区C1号杭列(南から)
- 図版9 -1 東富岡・太塚遺跡 1区C3号杭列(南から)
-2 東富岡・太塚遺跡 1区C4号杭列(北から)
- 図版10 -1 東富岡・太塚遺跡 1区C5・6号杭列(南から)
-2 東富岡・太塚遺跡 1区H1～3号畝状遺構(北から)
- 図版11 -1 東富岡・太塚遺跡 1区H1号土坑(南から)
-2 東富岡・太塚遺跡 1区H2号土坑(北西から)
-3 東富岡・太塚遺跡 1区H5号土坑(南東から)
-4 東富岡・太塚遺跡 1区H6号土坑(北から)
-5 東富岡・太塚遺跡 1区H7号土坑(北西から)
-6 東富岡・太塚遺跡 1区H8号土坑(東から)
-7 東富岡・太塚遺跡 1区H9号土坑(東から)
-8 東富岡・太塚遺跡 1区H10号土坑(南から)
- 図版12 -1 東富岡・太塚遺跡 1区H12号土坑(北東から)
-2 東富岡・太塚遺跡 1区H13号土坑(南東から)
-3 東富岡・太塚遺跡 1区H14号土坑(南西から)
-4 東富岡・太塚遺跡 1区H15号土坑(南東から)
-5 東富岡・太塚遺跡 1区H16号土坑(南西から)
-6 東富岡・太塚遺跡 1区H17号土坑(南東から)
-7 東富岡・太塚遺跡 1区H18号土坑(南東から)
-8 東富岡・太塚遺跡 1区H23・24号土坑(南西から)
- 図版13 -1 東富岡・太塚遺跡 1区H25号土坑(北西から)
-2 東富岡・太塚遺跡 1区H26号土坑(北西から)
-3 東富岡・太塚遺跡 1区H27号土坑(南から)
-4 東富岡・太塚遺跡 1区H30号土坑(南東から)
-5 東富岡・太塚遺跡 1区調査終了面全景(東から)

- 図版14 -1 東富岡・太塚遺跡 2区調査開始前(西から)
-2 東富岡・太塚遺跡 2区B・C 22～24グリッド近世面全景(東から)
- 図版15 -1 東富岡・太塚遺跡 2区C20グリッド北壁土層堆積状況(南から)
-2 東富岡・太塚遺跡 2区K1号段切り(南から)
- 図版16 -1 東富岡・太塚遺跡 2区K16・17号土坑、K1号畝状遺構(東から)
-2 東富岡・太塚遺跡 2区K2号畝状遺構(南から)
- 図版17 -1 東富岡・太塚遺跡 2区E17・19グリッド近世土坑群(北東から)
-2 東富岡・太塚遺跡 2区D・E19～20グリッド中世面全景(東から)
- 図版18 -1 東富岡・太塚遺跡 2区C1号溝状遺構(西から)
-2 東富岡・太塚遺跡 2区C1・2号畝状遺構(東から)
- 図版19 -1 東富岡・太塚遺跡 2区C1号土坑(南から)
-2 東富岡・太塚遺跡 2区C2号土坑(南から)
-3 東富岡・太塚遺跡 2区C3号土坑(南から)
-4 東富岡・太塚遺跡 2区C4号土坑(南から)
-5 東富岡・太塚遺跡 2区C5号土坑(南から)
-6 東富岡・太塚遺跡 2区C6・7号土坑(南から)
-7 東富岡・太塚遺跡 2区C8号土坑(東から)
-8 東富岡・太塚遺跡 2区C9号土坑(北から)
- 図版20 -1 東富岡・太塚遺跡 2区C11号土坑(西から)
-2 東富岡・太塚遺跡 2区C12号土坑(西から)
-3 東富岡・太塚遺跡 2区C13号土坑(西から)
-4 東富岡・太塚遺跡 2区C15号土坑(北から)
-5 東富岡・太塚遺跡 2区H1号堅穴住居址(南から)
- 図版21 -1 東富岡・太塚遺跡 2区H1号堅穴住居址カマド(西から)
-2 東富岡・太塚遺跡 2区H1号堅穴住居址掘り方(南から)
- 図版22 -1 東富岡・太塚遺跡 2区H1号掘立柱建物址(南から)
-2 東富岡・太塚遺跡 2区H1号畝状遺構(東から)
- 図版23 -1 東富岡・太塚遺跡 2区H2号畝状遺構(西から)
-2 東富岡・太塚遺跡 2区H2号土坑(南から)
-3 東富岡・太塚遺跡 2区H4号土坑(北から)
-4 東富岡・太塚遺跡 2区H5号土坑(東から)
-5 東富岡・太塚遺跡 2区H6号土坑(北から)
- 図版24 -1 東富岡・太塚遺跡 2区古墳時代面全景(東から)
-2 東富岡・太塚遺跡 2区YH1号遺物集中(南から)
- 図版25 -1 東富岡・太塚遺跡 2区C20グリッド弥生時代後期～古墳時代前期遺構外遺物出土状況①(南から)

- (南から)
- 図版26 -1 東富岡・太窪遺跡 2区調査終了面全景
(東から)
- 2 東富岡・太窪遺跡 2区旧石器時代土層堆積状況(東から)
- 図版27 -1 東富岡・太窪遺跡 2区旧石器時代土層堆積状況(北から)
- 2 東富岡・太窪遺跡 2区旧石器時代遺物出土状況(南から)
- 図版28 -1 東富岡・中島遺跡 5区調査開始前(南から)
- 2 東富岡・中島遺跡 4区近世面全景(南から)
- 図版29 -1 東富岡・中島遺跡 4区U3グリッド東壁土層堆積状況(西から)
- 2 東富岡・中島遺跡 4区K1・2号段切り(南から)
- 図版30 -1 東富岡・中島遺跡 4区K1号溝状遺構(西から)
- 2 東富岡・中島遺跡 4区K3号溝状遺構(北東から)
- 図版31 -1 東富岡・中島遺跡 4区K2号畝状遺構(北から)
- 2 東富岡・中島遺跡 4区K1号土坑(北から)
- 図版32 -1 東富岡・中島遺跡 4区K2号土坑(北から)
- 2 東富岡・中島遺跡 4区K5号土坑(北から)
- 図版33 -1 東富岡・中島遺跡 4区K6号土坑(南から)
- 2 東富岡・中島遺跡 5区奈良・平安時代～中世面全景(東から)
- 図版34 -1 東富岡・中島遺跡 5区C1号土坑(東から)
- 2 東富岡・中島遺跡 5区C2号土坑(西から)
- 3 東富岡・中島遺跡 5区C3号土坑(南東から)
- 4 東富岡・中島遺跡 5区C5号土坑(東から)
- 5 東富岡・中島遺跡 4区奈良・平安時代面全景(1)(南から)
- 図版35 -1 東富岡・中島遺跡 4区W3グリッド奈良・平安時代面全景(2)(南から)
- 2 東富岡・中島遺跡 4区H1号溝状遺構(南から)
- 図版36 -1 東富岡・中島遺跡 5区H2号溝状遺構(北西から)
- 2 東富岡・中島遺跡 4区H1号土坑(南東から)
- 3 東富岡・中島遺跡 4区H2号土坑(東から)
- 4 東富岡・中島遺跡 4区H4号土坑(北西から)
- 5 東富岡・中島遺跡 4区H5号土坑(南から)
- 図版37 -1 東富岡・中島遺跡 4区縄文時代面全景(南から)
- 2 東富岡・中島遺跡 4区J1号土坑遺物検出状況(南から)
- 図版38 -1 東富岡・中島遺跡 4区J1号土坑(東から)
- 2 東富岡・中島遺跡 4区J2号土坑(東から)
- 図版39 -1 東富岡・中島遺跡 4区J3号土坑(東から)
- 2 東富岡・中島遺跡 4区旧石器時代土層堆積状況(南西から)
- 図版40 -1 東富岡・中島遺跡 4区旧石器時代遺物出土状況(東から)
- 2 栗産・林窪遺跡 10区調査開始前(北東から)
- 図版41 -1 栗産・林窪遺跡 10区Z18グリッド北壁土層堆

- 積状況(南から)
- 図版42 -1 栗産・林窪遺跡 10区C1号堅穴状遺構(東から)
- 2 栗産・林窪遺跡 10区C2号堅穴状遺構(南東から)
- 図版43 -1 栗産・林窪遺跡 10区C3号堅穴状遺構(南から)
- 2 栗産・林窪遺跡 10区C5号堅穴状遺構(南から)
- 図版44 -1 栗産・林窪遺跡 10区C6号堅穴状遺構(西から)
- 2 栗産・林窪遺跡 10区C7号堅穴状遺構(南から)
- 図版45 -1 栗産・林窪遺跡 10区C1・2号溝状遺構(東から)
- 2 栗産・林窪遺跡 10区C3号溝状遺構(北から)
- 図版46 -1 栗産・林窪遺跡 10区C1号井戸址(南から)
- 2 栗産・林窪遺跡 10区C2号井戸址(南から)
- 図版47 -1 栗産・林窪遺跡 10区C3号井戸址(南西から)
- 2 栗産・林窪遺跡 10区C1号土坑(南から)
- 3 栗産・林窪遺跡 10区C2号土坑(西から)
- 4 栗産・林窪遺跡 10区C3号土坑(東から)
- 5 栗産・林窪遺跡 10区C4号土坑(南東から)
- 図版48 -1 栗産・林窪遺跡 10区C5号土坑(東から)
- 2 栗産・林窪遺跡 10区C12号土坑・C142ビット(西から)
- 3 栗産・林窪遺跡 10区C13号土坑(西から)
- 4 栗産・林窪遺跡 10区C15・16号土坑(南から)
- 5 栗産・林窪遺跡 10区C6～11号土坑(北から)
- 図版49 -1 栗産・林窪遺跡 10区C17号土坑(北から)
- 2 栗産・林窪遺跡 10区C18号土坑(北から)
- 3 栗産・林窪遺跡 10区C19号土坑(東から)
- 4 栗産・林窪遺跡 10区C20号土坑(南から)
- 5 栗産・林窪遺跡 10区C21号土坑(東から)
- 6 栗産・林窪遺跡 10区C22号土坑(北から)
- 7 栗産・林窪遺跡 10区C23号土坑(南西から)
- 8 栗産・林窪遺跡 10区C24号土坑(東から)
- 図版50 -1 栗産・林窪遺跡 10区C25号土坑(東から)
- 2 栗産・林窪遺跡 10区C26号土坑(東から)
- 3 栗産・林窪遺跡 10区C27号土坑(西から)
- 4 栗産・林窪遺跡 10区C28号土坑(南から)
- 5 栗産・林窪遺跡 10区C31号土坑(南から)
- 6 栗産・林窪遺跡 10区C32号土坑(北から)
- 7 栗産・林窪遺跡 10区C33号土坑(西から)
- 8 栗産・林窪遺跡 10区C34号土坑(東から)
- 図版51 -1 栗産・林窪遺跡 10区C38号土坑(東から)
- 2 栗産・林窪遺跡 10区C40号土坑(東から)
- 3 栗産・林窪遺跡 10区C1号ビット出土遺物(南から)
- 4 栗産・林窪遺跡 10区C1号炭化物範囲集中(南から)
- 5 栗産・林窪遺跡 10区奈良・平安時代面全景(南から)
- 図版52 -1 栗産・林窪遺跡 10区H1号堅穴住居址(南から)
- 2 栗産・林窪遺跡 10区H1号堅穴住居址カマド(南から)

図版53	-1	栗産・林産道跡 10区H1 1号堅穴住居址掘り方・床下土坑(南東から)	(北から)	-2	栗産・林産道跡 13区東側調査中世面全景(西から)
	-2	栗産・林産道跡 10区H1 1号溝状遺構(西から)			
図版54	-1	栗産・林産道跡 10区H1 1号竪穴遺構(南東から)	図版66	-1	栗産・林産道跡 13区C1 1号堅穴状遺構(西から)
	-2	栗産・林産道跡 10区H1 1号遺物集中(東から)		-2	栗産・林産道跡 13区C2 2号堅穴状遺構・C4号土坑(南から)
図版55	-1	栗産・林産道跡 13区調査開始前(北東から)			
	-2	栗産・林産道跡 13区近世面全景(東から)	図版67	-1	栗産・林産道跡 13区C1・2号溝状遺構(南から)
図版56	-1	栗産・林産道跡 13区北壁土層堆積状況(南から)		-2	栗産・林産道跡 13区C3～8号溝状遺構(南から)
	-2	栗産・林産道跡 13区H1トレンチ北壁土層堆積状況(南から)	図版68	-1	栗産・林産道跡 13区C9・10号溝状遺構(南から)
図版57	-1	栗産・林産道跡 13区K1 1号堅穴状遺構(東から)		-2	栗産・林産道跡 13区C11号溝状遺構(北から)
	-2	栗産・林産道跡 13区K1 1号溝状遺構(北から)	図版69	-1	栗産・林産道跡 13区C11・14・15号溝状遺構(西から)
図版58	-1	栗産・林産道跡 13区K2～4号溝状遺構・K1・33号土坑(東から)		-2	栗産・林産道跡 13区C12号溝状遺構(南から)
	-2	栗産・林産道跡 13区K6・9・10号溝状遺構(西から)	図版70	-1	栗産・林産道跡 13区C11号井戸址(北から)
				-2	栗産・林産道跡 13区C2号井戸址(西から)
図版59	-1	栗産・林産道跡 13区K11号井戸址(北西から)	図版71	-1	栗産・林産道跡 13区C3号井戸址(西から)
	-2	栗産・林産道跡 13区K2号井戸址(西から)		-2	栗産・林産道跡 13区C5号井戸址(北から)
図版60	-1	栗産・林産道跡 13区K2号土坑(北から)	図版72	-1	栗産・林産道跡 13区C8号井戸址(東から)
	-2	栗産・林産道跡 13区K3号土坑(北から)		-2	栗産・林産道跡 13区C9号井戸址(西から)
	-3	栗産・林産道跡 13区K4号土坑(西から)	図版73	-1	栗産・林産道跡 13区C1・6号土坑(南から)
	-4	栗産・林産道跡 13区K5号土坑(東から)		-2	栗産・林産道跡 13区C5号土坑(西から)
	-5	栗産・林産道跡 13区K6号土坑(西から)		-3	栗産・林産道跡 13区C7号土坑(南から)
	-6	栗産・林産道跡 13区K7号土坑(西から)		-4	栗産・林産道跡 13区C7号土坑遺物出土状況(北西から)
	-7	栗産・林産道跡 13区K8号土坑(西から)			
	-8	栗産・林産道跡 13区K9・11号土坑(東から)		-5	栗産・林産道跡 13区C8号土坑(東から)
図版61	-1	栗産・林産道跡 13区K10号土坑(東から)		-6	栗産・林産道跡 13区C10・11号土坑(北西から)
	-2	栗産・林産道跡 13区K12号土坑(西から)			
	-3	栗産・林産道跡 13区K13号土坑(西から)		-7	栗産・林産道跡 13区C12・15号土坑(南から)
	-4	栗産・林産道跡 13区K14号土坑(西から)		-8	栗産・林産道跡 13区C13号土坑(南から)
	-5	栗産・林産道跡 13区K15号土坑(北西から)	図版74	-1	栗産・林産道跡 13区C14号土坑(北東から)
	-6	栗産・林産道跡 13区K16号土坑(西から)		-2	栗産・林産道跡 13区C16号土坑(西から)
	-7	栗産・林産道跡 13区K22号土坑(南から)		-3	栗産・林産道跡 13区C17号土坑(南西から)
	-8	栗産・林産道跡 13区K23号土坑(北から)		-4	栗産・林産道跡 13区C20号土坑(南から)
図版62	-1	栗産・林産道跡 13区K19～21号土坑(東から)		-5	栗産・林産道跡 13区調査終了面全景(東から)
	-2	栗産・林産道跡 13区K24号土坑(西から)	図版75	-1	栗産・林産道跡 調整池②区調査開始前(南西から)
	-3	栗産・林産道跡 13区K25号土坑(南東から)		-2	栗産・林産道跡 8区調査
	-4	栗産・林産道跡 13区K27号土坑(北から)	図版76	-1	栗産・林産道跡 8区調査開始前(南から)
	-5	栗産・林産道跡 13区K28号土坑(南から)		-2	栗産・林産道跡 9区調査開始前(南から)
図版63	-1	栗産・林産道跡 13区K29号土坑(南西から)	図版77	-1	栗産・林産道跡 9区近世面全景(南から)
	-2	栗産・林産道跡 13区K30号土坑(北から)		-2	栗産・林産道跡 調整池②区東壁土層堆積状況(西から)
	-3	栗産・林産道跡 13区K31号土坑(東から)	図版78	-1	栗産・林産道跡 調整池②区K1 1号段切り・K12・19号溝状遺構・Kビット群(南東から)
	-4	栗産・林産道跡 13区K34号土坑焼土(南から)		-2	栗産・林産道跡 調整池②区K1 号堅穴状遺構(東から)
	-5	栗産・林産道跡 13区K35号土坑(南東から)	図版79	-1	栗産・林産道跡 調整池②区K2 号堅穴状遺構(東から)
	-6	栗産・林産道跡 13区K39号土坑(西から)		-2	栗産・林産道跡 8区K2号溝状遺構・K1号杭列北側(南西から)
	-7	栗産・林産道跡 13区K41号土坑(西から)	図版80	-1	栗産・林産道跡 9区K3・27号溝状遺構(西から)
	-8	栗産・林産道跡 13区K43号土坑(東から)		-2	栗産・林産道跡 9区K5号溝状遺構・K2号
図版64	-1	栗産・林産道跡 13区K36～38・45号土坑(南から)			
	-2	栗産・林産道跡 13区K44号土坑(北から)			
	-3	栗産・林産道跡 13区K50号土坑(北から)			
	-4	栗産・林産道跡 13区K51号土坑(西から)			
	-5	栗産・林産道跡 13区K56号土坑(西から)			
図版65	-1	栗産・林産道跡 13区南東拡張部中世面全景			

		杭列(西から)			-3	栗産・林産道跡 調整池②区 K26号土坑(南から)	
図版81	-1	栗産・林産道跡 9区 K8号溝状遺構(南から)			-4	栗産・林産道跡 調整池②区 K27号土坑(北東から)	
	-2	栗産・林産道跡 調整池②区 K9~11・25号溝状遺構(南から)			-5	栗産・林産道跡 調整池②区 K35号土坑(南東から)	
図版82	-1	栗産・林産道跡 調整池②区 K13号溝状遺構(南から)			図版90	-1	栗産・林産道跡 調整池②区 K38号土坑(北から)
	-2	栗産・林産道跡 調整池②区 K15号溝状遺構(北西から)			-2	栗産・林産道跡 調整池②区 K40~42号土坑(南から)	
図版83	-1	栗産・林産道跡 調整池②区 K18号溝状遺構(東から)			-3	栗産・林産道跡 調整池②区 K44号土坑(南西から)	
	-2	栗産・林産道跡 調整池②区 K19・24号溝状遺構、K11号段切り、K34~36号土坑(南東から)			-4	栗産・林産道跡 調整池②区 K45号土坑(南東から)	
図版84	-1	栗産・林産道跡 9区 K26・31号溝状遺構(西から)			-5	栗産・林産道跡 調整池②区 K47号土坑(北西から)	
	-2	栗産・林産道跡 9区 K30号溝状遺構(東から)			-6	栗産・林産道跡 調整池②区 K51号土坑(北西から)	
図版85	-1	栗産・林産道跡 調整池②区 K2号硬化面(北東から)			-7	栗産・林産道跡 9区 K53号土坑、K294号ビット(北東から)	
	-2	栗産・林産道跡 調整池②区 K4号硬化面(南西から)			-8	栗産・林産道跡 9区 K54号土坑(南西から)	
図版86	-1	栗産・林産道跡 9区 K11号畚状遺構(北から)			図版91	-1	栗産・林産道跡 調整池②区南西垣部中世面全景(南東から)
	-2	栗産・林産道跡 調整池②区 K1号井戸址(南東から)			-2	栗産・林産道跡 調整池②区 C5号段切り南西側(南東から)	
図版87	-1	栗産・林産道跡 9区 K2号土坑(南西から)			図版92	-1	栗産・林産道跡 9区 C1号堅穴状遺構(南から)
	-2	栗産・林産道跡 調整池②区 K3号土坑(北西から)			-2	栗産・林産道跡 9区 C2号堅穴状遺構、C4・6・7・153・154号土坑(西から)	
	-3	栗産・林産道跡 調整池②区 K4号土坑(東から)			図版93	-1	栗産・林産道跡 調整池②区 C3号堅穴状遺構(南西から)
	-4	栗産・林産道跡 調整池②区 K5号土坑(南西から)			-2	栗産・林産道跡 調整池②区 C5号堅穴状遺構(南東から)	
	-5	栗産・林産道跡 調整池②区 K6号土坑(南東から)			図版94	-1	栗産・林産道跡 調整池②区 C6号堅穴状遺構(南西から)
	-6	栗産・林産道跡 調整池②区 K7号土坑(南東から)			-2	栗産・林産道跡 調整池②区 C7号堅穴状遺構(南東から)	
	-7	栗産・林産道跡 調整池②区 K8号土坑(南東から)			図版95	-1	栗産・林産道跡 調整池②区 C8号堅穴状遺構(南東から)
	-8	栗産・林産道跡 調整池②区 K9号土坑(南西から)			-2	栗産・林産道跡 調整池②区 C9号堅穴状遺構(南東から)	
図版88	-1	栗産・林産道跡 調整池②区 K10号土坑(北東から)			図版96	-1	栗産・林産道跡 調整池②区 C10号堅穴状遺構(北東から)
	-2	栗産・林産道跡 調整池②区 K11号土坑(東から)			-2	栗産・林産道跡 調整池②区 C11号堅穴状遺構(南東から)	
	-3	栗産・林産道跡 調整池②区 K13号土坑(南西から)			図版97	-1	栗産・林産道跡 調整池②区 C12号堅穴状遺構(南東から)
	-4	栗産・林産道跡 調整池②区 K15号土坑(南東から)			-2	栗産・林産道跡 調整池②区 C13号堅穴状遺構(南西から)	
	-5	栗産・林産道跡 調整池②区 K17号土坑(南東から)			図版98	-1	栗産・林産道跡 調整池②区 C14号堅穴状遺構(南東から)
	-6	栗産・林産道跡 調整池②区 K18号土坑(北東から)			-2	栗産・林産道跡 調整池②区 C14・15号堅穴状遺構(南東から)	
	-7	栗産・林産道跡 調整池②区 K19号土坑(南東から)			図版99	-1	栗産・林産道跡 調整池②区 C16号堅穴状遺構(南東から)
	-8	栗産・林産道跡 調整池②区 K21号土坑(北から)			-2	栗産・林産道跡 調整池②区 C17号堅穴状遺構(南西から)	
図版89	-1	栗産・林産道跡 調整池②区 K19・43・49号土坑(南から)					
	-2	栗産・林産道跡 調整池②区 K25号土坑(北東から)					

図版100-1	栗産・林産道跡 調整池②区C18号堅穴状遺構 (南東から)	図版115-1	栗産・林産道跡 調整池②区C23号溝状遺構 (西から)
-2	栗産・林産道跡 調整池②区C19号堅穴状遺構 (南東から)	-2	栗産・林産道跡 9区C33号溝状遺構(東から)
図版101-1	栗産・林産道跡 調整池②区C19号堅穴状遺構 掘り方(南西から)	図版116-1	栗産・林産道跡 9区C34号溝状遺構(南から)
-2	栗産・林産道跡 調整池②区C20号堅穴状遺構 (南東から)	-2	栗産・林産道跡 調整池②区C1号畚状遺構 (北東から)
図版102-1	栗産・林産道跡 調整池②区C23号堅穴状遺構 (南西から)	図版117-1	栗産・林産道跡 9区C1号井戸址(南から)
-2	栗産・林産道跡 調整池②区C24号堅穴状遺構 (西から)	-2	栗産・林産道跡 9区C2号井戸址(南から)
図版103-1	栗産・林産道跡 調整池②区C25号堅穴状遺構 (南東から)	図版118-1	栗産・林産道跡 9区C3号井戸址(南から)
-2	栗産・林産道跡 調整池②区C26号堅穴状遺構 (北西から)	-2	栗産・林産道跡 調整池②区C4号井戸址 (東から)
図版104-1	栗産・林産道跡 調整池②区C27号堅穴状遺構 (北東から)	図版119-1	栗産・林産道跡 調整池②区C5号井戸址 (南東から)
-2	栗産・林産道跡 調整池②区C28号堅穴状遺構 (北東から)	-2	栗産・林産道跡 調整池②区C6号井戸址 (東から)
図版105-1	栗産・林産道跡 調整池②区C29号堅穴状遺構 (北西から)	図版120-1	栗産・林産道跡 調整池②区C7号井戸址 (北西から)
-2	栗産・林産道跡 調整池②区C31号堅穴状遺構 (南東から)	-2	栗産・林産道跡 調整池②区C8号井戸址 (東から)
図版106-1	栗産・林産道跡 調整池②区C32号堅穴状遺構 (南東から)	図版121-1	栗産・林産道跡 調整池②区C9号井戸址 (東から)
-2	栗産・林産道跡 調整池②区C33号堅穴状遺構 (南から)	-2	栗産・林産道跡 調整池②区C1号硬化面 (南西から)
図版107-1	栗産・林産道跡 調整池②区C34号堅穴状遺構 (南東から)	図版122-1	栗産・林産道跡 調整池②区C1号地下式坑 (南から)
-2	栗産・林産道跡 調整池②区C35号堅穴状遺構 (南東から)	-2	栗産・林産道跡 調整池②区C2号地下式坑 (西から)
図版108-1	栗産・林産道跡 調整池②区C37・38号堅穴状 遺構(南から)	図版123-1	栗産・林産道跡 調整池②区C3号地下式坑 (南東から)
-2	栗産・林産道跡 調整池②区C40号堅穴状遺構 (北から)	-2	栗産・林産道跡 調整池②区C5号地下式坑 (南東から)
図版109-1	栗産・林産道跡 9区C41号堅穴状遺構 (北西から)	図版124-1	栗産・林産道跡 調整池②区C7号地下式坑 (南東から)
-2	栗産・林産道跡 調整池②区C42号堅穴状遺構 (南東から)	-2	栗産・林産道跡 8区C1号土坑(東から)
図版110-1	栗産・林産道跡 8区C1号溝状遺構(南西から)	-3	栗産・林産道跡 9区C7号土坑(東から)
-2	栗産・林産道跡 8区C2号溝状遺構(南西から)	-4	栗産・林産道跡 9区C10号土坑(西から)
図版111-1	栗産・林産道跡 調整池②区C11号溝状遺構 (南東から)	-5	栗産・林産道跡 9区C11号土坑(北から)
-2	栗産・林産道跡 調整池②区C12号溝状遺構 (北東から)	図版125-1	栗産・林産道跡 9区C11・15号土坑遺物出土 状況(南から)
図版112-1	栗産・林産道跡 調整池②区C14・24~26号溝 状遺構(南東から)	-2	栗産・林産道跡 9区C15号土坑遺物出土状況 (北西から)
-2	栗産・林産道跡 調整池②区C16号溝状遺構 (南東から)	-3	栗産・林産道跡 9区C15号土坑(北から)
図版113-1	栗産・林産道跡 調整池②区C17号溝状遺構 (北東から)	-4	栗産・林産道跡 調整池②区C17~19号土坑 (南から)
-2	栗産・林産道跡 調整池②区C20号溝状遺構、 C2号硬化面(南西から)	-5	栗産・林産道跡 調整池②区C20号土坑 (南西から)
図版114-1	栗産・林産道跡 調整池②区C1・20・21号溝 状遺構(南西から)	-6	栗産・林産道跡 調整池②区C21号土坑 (南東から)
-2	栗産・林産道跡 調整池②区C22号溝状遺構	-7	栗産・林産道跡 調整池②区C22号土坑 (南東から)
		-8	栗産・林産道跡 調整池②区C23号土坑 (南西から)
		図版126-1	栗産・林産道跡 調整池②区C24号土坑 (南西から)
		-2	栗産・林産道跡 調整池②区C25号土坑 (南西から)

- 3 栗産・林産道跡 調整池②区C27号土坑
(南西から)
- 4 栗産・林産道跡 調整池②区C28号土坑
(東から)
- 5 栗産・林産道跡 調整池②区C29号土坑
(北から)
- 6 栗産・林産道跡 調整池②区C30号土坑
(南西から)
- 7 栗産・林産道跡 調整池②区C31号土坑
(東から)
- 8 栗産・林産道跡 調整池②区C32号土坑
(東から)
- 図版127-1 栗産・林産道跡 調整池②区C33号土坑
(南東から)
- 2 栗産・林産道跡 調整池②区C34号土坑
(北西から)
- 3 栗産・林産道跡 調整池②区C35号土坑
(南東から)
- 4 栗産・林産道跡 調整池②区C36号土坑
(南から)
- 5 栗産・林産道跡 調整池②区C37号土坑
(南東から)
- 6 栗産・林産道跡 調整池②区C39号土坑
(南から)
- 7 栗産・林産道跡 調整池②区C44号土坑
(南東から)
- 8 栗産・林産道跡 調整池②区C45号土坑
(南東から)
- 図版128-1 栗産・林産道跡 調整池②区C46号土坑
(南東から)
- 2 栗産・林産道跡 調整池②区C47号土坑
(南から)
- 3 栗産・林産道跡 調整池②区C48号土坑
(北東から)
- 4 栗産・林産道跡 調整池②区C49号土坑
(北から)
- 5 栗産・林産道跡 調整池②区C50号土坑
(北西から)
- 6 栗産・林産道跡 調整池②区C51号土坑
(南東から)
- 7 栗産・林産道跡 調整池②区C52号土坑
(南東から)
- 8 栗産・林産道跡 調整池②区C54号土坑
(北西から)
- 図版129-1 栗産・林産道跡 調整池②区C57号土坑
(南東から)
- 2 栗産・林産道跡 調整池②区C58号土坑
(南東から)
- 3 栗産・林産道跡 調整池②区C59号土坑
(北東から)
- 4 栗産・林産道跡 調整池②区C60号土坑
(南西から)
- 5 栗産・林産道跡 調整池②区C63号土坑
(南西から)
- 6 栗産・林産道跡 調整池②区C65・66号土坑
(南西から)
- 7 栗産・林産道跡 調整池②区C67号土坑

- (南東から)
- 8 栗産・林産道跡 調整池②区C71号土坑
(北西から)
- 図版130-1 栗産・林産道跡 調整池②区C72号土坑
(南西から)
- 2 栗産・林産道跡 調整池②区C73号土坑
(北東から)
- 3 栗産・林産道跡 調整池②区C74号土坑
(南東から)
- 4 栗産・林産道跡 調整池②区C76号土坑
(北東から)
- 5 栗産・林産道跡 調整池②区C78号土坑
(北東から)
- 6 栗産・林産道跡 調整池②区C79号土坑
(南東から)
- 7 栗産・林産道跡 調整池②区C80号土坑
(南から)
- 8 栗産・林産道跡 調整池②区C81号土坑
(北西から)
- 図版131-1 栗産・林産道跡 調整池②区C83号土坑
(北から)
- 2 栗産・林産道跡 調整池②区C84号土坑
(南から)
- 3 栗産・林産道跡 調整池②区C85号土坑
(南東から)
- 4 栗産・林産道跡 調整池②区C86号土坑
(北西から)
- 5 栗産・林産道跡 調整池②区C87号土坑
(南東から)
- 6 栗産・林産道跡 調整池②区C87～89・94・95
号土坑(南西から)
- 7 栗産・林産道跡 調整池②区C90号土坑
(北西から)
- 8 栗産・林産道跡 調整池②区C91・92号土坑
(北東から)
- 図版132-1 栗産・林産道跡 調整池②区C93号土坑
(南西から)
- 2 栗産・林産道跡 調整池②区C96号土坑
(北西から)
- 3 栗産・林産道跡 調整池②区C100号土坑
(西から)
- 4 栗産・林産道跡 調整池②区C101号土坑
(南東から)
- 5 栗産・林産道跡 調整池②区C105号土坑
(南から)
- 6 栗産・林産道跡 調整池②区C107号土坑
(南から)
- 7 栗産・林産道跡 調整池②区C108号土坑
(南西から)
- 8 栗産・林産道跡 調整池②区C109号土坑
(南東から)
- 図版133-1 栗産・林産道跡 調整池②区C110号土坑
(南西から)
- 2 栗産・林産道跡 調整池②区C111号土坑
(南西から)
- 3 栗産・林産道跡 調整池②区C112号土坑
(南東から)

- 4 栗産・林産道跡 調整池②区C113号土坑
(西から)
- 5 栗産・林産道跡 調整池②区C114号土坑
(北から)
- 6 栗産・林産道跡 調整池②区C115号土坑
(北西から)
- 7 栗産・林産道跡 調整池②区C118号土坑
(東から)
- 8 栗産・林産道跡 調整池②区C119号土坑
(南西から)
- 図版134-1 栗産・林産道跡 調整池②区C120号土坑
(北から)
- 2 栗産・林産道跡 調整池②区C121号土坑
(北から)
- 3 栗産・林産道跡 調整池②区C122号土坑
(東から)
- 4 栗産・林産道跡 調整池②区C123号土坑
(北西から)
- 5 栗産・林産道跡 調整池②区C124号土坑
(北西から)
- 6 栗産・林産道跡 調整池②区C125号土坑
(北西から)
- 7 栗産・林産道跡 調整池②区C126号土坑
(北西から)
- 8 栗産・林産道跡 調整池②区C128号土坑
(南から)
- 図版135-1 栗産・林産道跡 調整池②区C130号土坑
(東から)
- 2 栗産・林産道跡 調整池②区C132・133号土坑
(北から)
- 3 栗産・林産道跡 調整池②区C134号土坑
(南から)
- 4 栗産・林産道跡 調整池②区C135号土坑
(東から)
- 5 栗産・林産道跡 調整池②区C136号土坑
(南から)
- 6 栗産・林産道跡 調整池②区C137号土坑
(南西から)
- 7 栗産・林産道跡 調整池②区C138号土坑
(北から)
- 8 栗産・林産道跡 調整池②区C140号土坑
(東から)
- 図版136-1 栗産・林産道跡 調整池②区C141号土坑
(北西から)
- 2 栗産・林産道跡 調整池②区C142号土坑
(北から)
- 3 栗産・林産道跡 調整池②区C143号土坑
(南から)
- 4 栗産・林産道跡 調整池②区C144号土坑
(北から)
- 5 栗産・林産道跡 調整池②区C148号土坑
(北西から)
- 6 栗産・林産道跡 調整池②区C149号土坑
(北西から)
- 7 栗産・林産道跡 調整池②区C150号土坑
(南東から)
- 8 栗産・林産道跡 調整池②区C151号土坑

- (北東から)
- 図版137-1 栗産・林産道跡 調整池②区C152号土坑
(南から)
- 2 栗産・林産道跡 9区C155・156号土坑
(南から)
- 3 栗産・林産道跡 9区C157号土坑(南西から)
- 4 栗産・林産道跡 調整池②区C158号土坑
(東から)
- 5 栗産・林産道跡 8区C1号集石(南東から)
- 図版138-1 栗産・林産道跡 調整池②区中世ビッド群(1)
(南東から)
- 2 栗産・林産道跡 調整池②区中世ビッド群(2)
(南東から)
- 図版139-1 栗産・林産道跡 8区中世面全景(南から)
- 2 栗産・林産道跡 調整池②区U～Y 7～11グリッド中世面全景(北東から)
- 図版140-1 栗産・林産道跡 8区奈良・平安時代面全景
(南東から)
- 2 栗産・林産道跡 8区H1号土坑(南東から)
- 3 栗産・林産道跡 8区H2号土坑(西から)
- 4 栗産・林産道跡 8区H3・4号土坑
(南東から)
- 5 栗産・林産道跡 8区H5号土坑(南東から)
- 図版141-1 栗産・林産道跡 8区調査終了面全景(南から)
- 2 栗産・林産道跡 8区調査終了面全景(東から)
- 図版142-1 栗産・林産道跡 9区U～X 15・16グリッド
調査終了面全景(北から)
- 2 栗産・林産道跡 9区T～U 13～16グリッド
調査終了面全景(北東から)
- 図版143-1 栗産・林産道跡 9区調査終了面全景
(南東から)
- 2 栗産・林産道跡 調整池②区T～W 8～14グリッド
調査終了面全景(南東から)
- 図版144-1 栗産・林産道跡 調整池②区V・W 9～11グリッド
調査終了面全景(北東から)
- 2 栗産・林産道跡 調整池②区X・Y 11・12グリッド
調査終了面全景(南西から)
- 図版145-1 東富岡・太塚道跡 1区近世遺構内・外出土
遺物
- 2 東富岡・太塚道跡 1区中世遺構外出土
遺物(1)
- 図版146-1 東富岡・太塚道跡 1区中世遺構外出土
遺物(2)
- 2 東富岡・太塚道跡 1区奈良・平安時代遺構外
出土遺物
- 3 東富岡・太塚道跡 1区縄文時代遺構外出土
遺物
- 図版147-1 東富岡・太塚道跡 2区近世遺構内出土遺物
- 2 東富岡・太塚道跡 2区近世遺構外出土
遺物(1)
- 図版148-1 東富岡・太塚道跡 2区近世遺構外出土
遺物(2)
- 2 東富岡・太塚道跡 2区奈良・平安時代遺構内
出土遺物(1)
- 図版149-1 東富岡・太塚道跡 2区奈良・平安時代遺構内
出土遺物(2)
- 2 東富岡・太塚道跡 2区奈良・平安時代遺構外

- 出土遺物
圖版150-1 東富岡・太座遺跡 2区YH1号遺物集中
出土遺物
-2 東富岡・太座遺跡 2区弥生時代後期～古墳時
代前期遺構外出土遺物
圖版151-1 東富岡・太座遺跡 2区縄文時代遺構外出土
遺物
-2 東富岡・太座遺跡 2区旧石器時代出土遺物
-3 東富岡・中島遺跡 4・5区近世遺構内・外
出土遺物
圖版152 東富岡・中島遺跡 4区中世遺構外出土遺物
圖版153-1 東富岡・中島遺跡 4区縄文時代遺構内・外出
土遺物
-2 東富岡・中島遺跡 4区縄文時代遺構外出土
遺物(1)
圖版154-1 東富岡・中島遺跡 4区縄文時代遺構外出土
遺物(2)
-2 東富岡・中島遺跡 4区旧石器時代遺構出土
遺物
-3 栗座・林座遺跡 10区近世遺構内・外出土遺物
圖版155 栗座・林座遺跡 10区中世遺構内出土遺物(1)
圖版156 栗座・林座遺跡 10区中世遺構内出土遺物(2)
圖版157-1 栗座・林座遺跡 10区中世遺構内出土遺物(3)
-2 栗座・林座遺跡 10区中世遺構内出土遺物(1)
圖版158-1 栗座・林座遺跡 10区中世遺構内出土遺物(2)
-2 栗座・林座遺跡 10区奈良・平安時代遺構内
出土遺物
圖版159-1 栗座・林座遺跡 10区奈良・平安時代遺構内・
外出土遺物
-2 栗座・林座遺跡 10区縄文時代遺構外出土遺物
圖版160 栗座・林座遺跡 13区近世遺構内出土遺物(1)
圖版161-1 栗座・林座遺跡 13区近世遺構内出土遺物(2)
-2 栗座・林座遺跡 13区近世遺構外出土遺物
圖版162 栗座・林座遺跡 13区中世遺構内出土遺物(1)
圖版163 栗座・林座遺跡 13区中世遺構内出土遺物(2)
圖版164 栗座・林座遺跡 13区中世遺構内出土遺物(3)
圖版165-1 栗座・林座遺跡 13区中世遺構外出土遺物
-2 栗座・林座遺跡 13区奈良・平安時代遺構外
出土遺物
-3 栗座・林座遺跡 13区縄文時代遺構外出土遺物
圖版166 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区近世遺構
内出土遺物(1)
圖版167 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区近世遺構
内出土遺物(2)
圖版168-1 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区近世遺構
内出土遺物(3)
-2 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区近世遺構
外出土遺物(1)
圖版169 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区近世遺構
外出土遺物(2)
圖版170 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区近世遺構
外出土遺物(3)
圖版171-1 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区近世遺構
外出土遺物(4)
-2 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区中世遺構
内出土遺物(1)
圖版172 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区中世遺構
内出土遺物(2)
圖版173-1 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区中世遺構
内出土遺物(3)
-2 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区中世遺構
内出土遺物(4)
圖版174-1 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区中世遺構
内出土遺物(5)
-2 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区中世遺構
内出土遺物(6)
圖版175 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区中世遺構
内出土遺物(7)
圖版176-1 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区中世遺構
内出土遺物(8)
-2 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区中世遺構
内出土遺物(9)
圖版177 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区中世遺構
内出土遺物(10)
圖版178-1 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区中世遺構
内出土遺物(11)
-2 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区中世遺構
内出土遺物(12)
圖版179-1 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区中世遺構
内出土遺物(13)
-2 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区中世遺構
内出土遺物(14)
圖版180 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区中世遺構
内出土遺物(15)
圖版181 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区中世遺構
内出土遺物(16)
圖版182 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区中世遺構
外出土遺物(1)
圖版183 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区中世遺構
外出土遺物(2)
圖版184 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区中世遺構
外出土遺物(3)
圖版185 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区中世遺構
外出土遺物(4)
圖版186-1 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区中世遺構
外出土遺物(5)
-2 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区中世遺構
外出土遺物(6)
圖版187-1 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区中世遺構
外出土遺物(7)
-2 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区奈良・平
安時代遺構外出土遺物
圖版188-1 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区弥生時代
後期～古墳時代前期遺構外出土遺物
-2 栗座・林座遺跡 8・9・調整池②区縄文時代
遺構外出土遺物

第I編 遺跡の概要

第1章 調査経緯

第1節 調査に至る経緯

本報告書の調査経緯は、中日本高速道路株式会社が進めている、新東名高速道路（法定路線名：第二東海自動車道横浜名古屋線、以下、新東名と表記）建設事業である。

日本道路公団横浜支社厚木工事事務所（平成17年度から中日本高速道路株式会社横浜支社厚木工事事務所、平成20年度から中日本高速道路株式会社東京支社厚木工事事務所、以下、中日本厚木工事事務所と表記）は、伊勢原市内の新東名建設に関わる事業の実施に向けて、事業予定地域内の埋蔵文化財の有無を平成11年5月25日付けで神奈川県教育委員会（以下、県教委と表記）に照会した。これを受けて神奈川県教育委員会教育生涯学習文化財課（以下、県生涯学習文化財課と表記。平成22年度から教育局生涯学習部文化遺産課、県文化遺産課と表記）は現地調査を実施し、平成11年7月15日付けで事業予定地内には周知の埋蔵文化財包蔵地以外にも埋蔵文化財が存在する可能性があるため協議が必要と回答した。その後、平成17年度から、中日本厚木工事事務所と県教委の間で、事業予定地内の試掘調査の実施に係る協議が進められ、平成18年1月に中日本厚木工事事務所より事業予定地内の試掘依頼を受けた県生涯学習文化財課は試掘調査を実施した。その結果、西富岡地区において埋蔵文化財が確認され、埋蔵文化財の発掘調査が必要である旨を回答した。この試掘結果の回答を受け、中日本厚木工事事務所は、平成19年1月10日付けで県教委に「発掘調査の依頼」をした。県生涯学習文化財課は、財団法人かながわ考古学財団（平成23年4月1日公益財団法人かながわ考古学財団に改称、以下、考古学財団と表記）に平成19年1月15日付けで見積りを依頼し、考古学財団から平成19年1月26日付けで見積りが提出され、内容を精査した後、県教委は平成19年1月30日付けで厚木工事事務所に回答を行った。以上の経緯をへて、平成19年2月20日付けで中日本厚木工事事務所、県教育委員会、考古学財団三者により「第二東名高速道路建設事業に伴う伊勢原市域埋蔵文化財調査に関する協定」が締結された。この協定を受け、中日本厚木工事事務所と財団との間に委託契約が締結され、平成19年4月1日より西富岡地区の調査が行われることとなった。

栗産地区については、平成21年1月30日付けで中日本厚木工事事務所から県教委に試掘調査が依頼された。県生涯学習文化財課は、平成22年2月1日・2日・22～25日に現東名高速道路の南側に位置する台地北側縁辺部の試掘調査を行い、後の1・2区（東富岡・太産遺跡）、4・5区（東富岡・中島遺跡）を含む当該事業予定地5箇所で埋蔵文化財の存在を確認した。県生涯学習文化財課は、平成22年3月30日付けで中日本厚木工事事務所に埋蔵文化財の発掘調査が必要である旨を回答し、この試掘結果の回答を受け、中日本厚木工事事務所は、平成22年7月20日付けで県教委に対して、栗産地区の発掘調査の実施を依頼した。平成22年7月22日付けで県教委は考古学財団に見積り依頼をし、考古学財団は平成22年7月22日付けで見積りの提出を行い、平成22年7月26日付けで県教育長は厚木工事事務所長へ回答を提出した。以上の経緯をへて、平成22年7月30日付けで中日本厚木工事事務所、県教委、考古学財団の三者間で協定が締結（第6回協定変更）され、平成22年10月1日から伊勢原市Na71遺跡における当該事業予定地の発掘調査が開始されることになった。

発掘調査の着手後は、進捗に応じて中日本厚木工事事務所・県文化遺産課・考古学財団の三者で、調査の

行われている他の地区（西富岡地区・東富岡地区・上粕屋地区）と合同で工程会議を実施し、協議を行った。

県文化遺産課による栗窪地区の試掘調査はその後実施され、平成22年10月・11月には8・10・13・調整池②区、栗窪・林窪遺跡を含む台地南側の谷戸の西半分及び台地北東側縁辺部、平成24年9月には調整池②区、栗窪・林窪遺跡を含む台地南東側縁辺部、平成25年11月には13区、栗窪・林窪遺跡を含む台地西側の裾部において、本格調査が必要な埋蔵文化財が確認された。また、平成24年には設計変更による側道の位置、橋脚の位置等の変更に伴って調査範囲が拡大した。調査区試掘結果や設計変更等による調査箇所追加は、平成23年3月25日付け第7回協定変更（6～12区）、平成24年10月19日付け中高東支厚工第1472号協議書（2区②・3区②・4区②・8区②・10区・11区・12区②・③）、同年12月28日付け中高東支厚工第1850号協議書（11区）、平成25年3月29日付け第8回協定変更（調整池①・調整池②）、平成26年5月23日付け第9回協定変更（6区南東拡張・13区・調整池②の南西側）、同年7月23日付け中高東支厚工第1050号協議書（6区南東農道）により行われた。

平成22年度から開始された栗窪地区の発掘調査は平成28年6月30日をもって終了したが、その後、追加で造成工事が及ぶ可能性がある範囲について、平成28年9月に中日本厚木工事事務所より県文化遺産課に対して試掘調査の依頼がなされた。試掘調査結果の回答を受け、中日本厚木工事事務所では、造成範囲の精査を行った。その結果、1区の南側・2区の南側・3区の北側の3箇所について本格調査が必要と判断された。これらの地区は、平成29年11月13日付け中高東支厚工第1495号協議書により1区南、同年11月28日付け中高東支厚工第1559号協議書により2区南、同年12月27日付け中高東支厚工第1751号協議書により3区北として追加された。さらに、栗窪地区側道工事範囲について着工前の埋文調査範囲の精査を実施したところ、9区の西側に一部未調査範囲が残っていることが判明したことから、栗窪地区追加範囲の調査を実施する方向で調整を開始し、栗窪9区西の調査が追加されることとなった。これらの調査区の追加は令和元年6月21日付け第12回協定変更により行われた。

第2節 調査中の協議

東富岡・太窪遺跡

1区は図上で決めた当初面積は1,192㎡であったが、調査区設定の際調査区南側の斜面に調査区の一部がかかっていることが判明し、斜面崩落の可能性が考えられたため、調査は斜面の法尻までとなり面積が減少した。また、調査区の20mほど東側で実施された試掘調査の結果、遺構が存在していないと予想されていた東端で遺構が発見され、調査区外に続いていることが判明し、100㎡ほど拡張することになるなど面積の変更が生じ最終的に941㎡となった。

1区南は1区の1区の5mほど南東側に位置する。栗窪地区の調査終了後の平成29年11月に造成工事が及ぶ可能性がある範囲について実施された試掘調査により、調査が必要と判断された箇所である。西側に東京電力（以下東電）の秦浜線28鉄塔が隣接していることから事前に東電に確認したところ、露出している基礎から17m離隔を取れば調査可能、17m以内については掘削方法・深度の確認が必要であり、判断までに長期間を要すると回答があった。このため、県文化遺産課・中日本高速道路株式会社と協議し、当面鉄塔基礎から17m外の調査を実施し、調査結果を踏まえて文化遺産課が17m内の調査範囲の要不要を再度確認することとなった。鉄塔から17m以内の範囲については、1月25日に文化遺産課の現地確認を受け調査不要となった。

2区は、当初東側に緩やかに傾斜していると考えていた地形は調査を進めていくうちに中央部分に小谷が存在し、奈良・平安時代以前の土層が厚く堆積していることが明らかとなったため、南北方向に4本のトレンチを設定して包含層掘削を実施することにした。その結果、遺構は認められず、遺物もほとんど出土しなかったことから、掘削方法を人力から機械へ変更し、弥生時代～古墳時代相当面まで掘り下げた。

2区②は、奈良・平安時代の堅穴住居址が調査区の西端にあり、さらに調査区外に延びていた。調査区の20mほど西側は県文化遺産課の試掘調査で2m以上盛土されていることが明らかとなっていたが、遺構が西側へ続いていたことから調査範囲を拡張することとなった。拡張は、一旦住居址の全体が調査できるところまでとし、その後包含層が続いているようなら包含層が途切れるところまで行うことになったが、調査区南西端にある近世以降の段切りによって遺構が切られていることが明らかとなり、拡張はわずかな部分で済んだ。

東富岡・中島遺跡

4区②は最終的に調査面積は376㎡に増加し、調査期間は1ヶ月の延長となった。調査は調査担当者の入れ替わりの関係で2週間の中断期間を挟んで8月末日まで実施した。

栗窪・林窪遺跡

9区は調査面積が当初予定では498㎡であったが、参道側及び民地側をセットバックしたことにより462㎡となった。

9区西は平成24年度に調査を実施した9区の西側に接する部分で、調査面積は当初予定では70㎡であったが、奈良・平安時代の遺構の一部が調査区外まで続いていることが判明し、部分的に拡張したため91㎡となった。

10区は当初の調査面積は229㎡であったが、工事の設計変更と余掘り部分の追加により415㎡となった。また、当初想定していなかった奈良・平安時代の遺構が確認され、1.5ヶ月の調査期間中にすべての調査が行えない状況となったため、期間を延長することとなった。

13区の調査面積は当初計画では380㎡で、調査期間は1.5ヶ月であったが、調査区の西側で近世と中世の遺構が多数発見されたことにより、0.5ヶ月間の期間延長となった。また、試掘調査により埋蔵文化財が確認されなかったため調査不要となっていた調査区南東側に遺構が延びていることが判明し、110mほど拡張することになり調査期間はさらに0.5ヶ月延長された。

池②区は当初の調査面積は1,877㎡であったが、調査を進めていくうちに遺構が調査区外へ展開していることが明らかとなり、北西隅を70㎡、南西隅を350㎡拡張することとなった。また、中世の遺構面が2面存在し、多数の遺構が検出されたこともあり調査期間は1.5ヶ月の延長となった。調査期間が延長となったことで中日本厚木工事事務所より本線工事に伴う杭打ち工事の作業エリアとして調査区北西側の先行引渡しが可能か打診された。協議の結果、約800㎡について2月末までに調査を終了させて引渡し、そのほかの部分については3月末まで調査を行うこととなった。

発掘調査に関わる調整及び届出等の文書は、第1表に示した。

第1編 道跡の概要

第1表 栗座・林道跡、栗座・林台道跡、栗座・西石田道跡、栗座・林窪道跡、東富岡・太窪道跡、東富岡・中島道跡発掘調査に係る調査及び届出等の文書

文書種類・内容	文書番号	日付	発信者	受信者	備考
1 埋蔵文化財所在の有無の照会					
照会	東建厚工第401号	平成11年3月26日	事業者の長	県教育長	
回答	生文第119号	平成11年7月16日	県教育長	事業者の長	
照会	中高横支厚工第1359号	平成29年10月12日	事業者の長	県教育長	
回答	生文第889号	平成30年2月19日	県教育長	事業者の長	
2 調査調査					
依頼	中高横支厚工第111号	平成21年1月30日	事業者の長	県教育長	
調査結果の回答	生文第918号	平成22年3月30日	県教育長	事業者の長	H22. 2. 1・2・22～25実施
調査結果の回答	文遺第688号	平成23年2月24日	県教育長	事業者の長	H22. 10. 19・20、11. 2・12・17実施
調査結果の回答	文遺第472号	平成24年10月18日	県教育長	事業者の長	H24. 9. 18・24・25実施
調査結果の回答	文遺第517号	平成25年11月28日	県教育長	事業者の長	H25. 11. 19実施
調査結果の回答	文遺第207号	平成29年7月5日	県教育長	事業者の長	H29. 6. 2実施
調査結果の回答	文遺第411号	平成29年11月8日	県教育長	事業者の長	H29. 10. 24・25実施
3 発掘調査等の協定					
発掘調査の依頼	中高横支厚工第9号	平成19年1月10日	事業者の長	県教育長	
見積作成の依頼	生文第851号	平成19年1月15日	生文課長	財団理事長	
見積の回答	財考第78号	平成19年1月26日	財団理事長	生文課長	
調査者の指定、見積の提出	生文第909号	平成19年1月30日	県教育長	事業者の長	
協定の締結(当初)		平成19年2月20日	事業者の長	県教育長 財団理事長	三者協定 (西富岡地区対象)
発掘調査内容変更の依頼	中高横支厚工第1023号	平成22年7月20日	事業者の長	県教育長	
変更見積作成の依頼	文遺第218号	平成22年7月22日	文遺課長	財団理事長	
変更見積の回答	財考第77号	平成22年7月22日	財団理事長	文遺課長	
調査者の指定、見積の提出	文遺第233号	平成22年7月26日	県教育長	事業者の長	
協定変更(第6回)の締結		平成22年7月30日	事業者の長	県教育長 財団理事長	三者協定
発掘調査内容変更の依頼	中高横支厚工第438号	平成23年3月10日	事業者の長	県教育長	
変更見積作成の依頼	文遺第740号	平成23年3月11日	文遺課長	財団理事長	
変更見積の回答	財考第279号	平成23年3月23日	財団理事長	生文課長	
調査者の指定、見積の提出	文遺第785号	平成23年3月26日	県教育長	事業者の長	
協定変更(第7回)の締結		平成23年3月29日	事業者の長	県教育長 財団理事長	三者協定
発掘調査内容変更の依頼	中高横支厚工第576号2	平成25年3月28日	事業者の長	県教育長	
変更見積作成の依頼	文遺第908号	平成25年3月29日	文遺課長	財団理事長	
変更見積の回答	公財考第227号	平成25年3月29日	財団理事長	文遺課長	
調査者の指定、見積の提出	文遺第43号	平成25年4月1日	県教育長	事業者の長	
変更協定(第8回)の締結		平成25年4月1日	事業者の長	県教育長 財団理事長	三者協定
発掘調査内容変更の依頼	中高横支厚工第2001号	平成25年12月17日	事業者の長	県教育長	
変更見積作成の依頼	文遺第589号	平成26年1月14日	文遺課長	財団理事長	
変更見積の回答	公財考第235号	平成26年3月19日	財団理事長	文遺課長	
調査者の指定、見積の提出	文遺第124号	平成26年5月8日	県教育長	事業者の長	
変更協定(第9回)の締結		平成26年5月23日	事業者の長	県教育長 財団理事長	三者協定

発願調査内容変更の依頼	中高東支厚工第51号	平成27年1月16日	事業者の長	県教育長	
変更見解作成の依頼	文道第639号	平成27年1月22日	文道課長	財団理事長	
変更見解の回答	公財考第232号	平成27年3月23日	財団理事長	文道課長	
調査者の指定、見解の提出	文道第819号	平成27年3月24日	県教育長	事業者の長	
変更協定(第10回)の締結		平成27年4月27日	事業者の長	県教育長 財団理事長	三者協定
発願調査内容変更の依頼	中高東支厚工第206号	平成28年2月16日	事業者の長	県教育長	
変更見解作成の依頼	文道第744号	平成28年2月24日	文道課長	財団理事長	
発願見解の回答	公財考第210号	平成28年3月8日	財団理事長	文道課長	
調査者の指定、見解の提出	文道第793号	平成28年3月25日	県教育長	事業者の長	
発願調査内容変更の依頼 (再協議)	中高東支厚工第1256号	平成28年8月22日	事業者の長	県教育長	
変更見解作成の依頼	文道第366号	平成28年9月13日	文道課長	財団理事長	
発願見解の回答	公財考第136号	平成28年10月3日	財団理事長	文道課長	
調査者の指定、見解の提出	文道第444号	平成28年10月18日	県教育長	事業者の長	
変更協定(第11回)の締結		平成28年12月9日	事業者の長	県教育長 財団理事長	三者協定
発願調査内容変更の依頼	中高東支厚工第1263号	平成30年12月3日	事業者の長	県教育長	
変更見解作成の依頼	文道第2326号	平成30年12月10日	文道課長	財団理事長	
発願見解の回答	公財考第242号	平成31年3月22日	財団理事長	文道課長	
調査者の指定、見解の提出	文道第3273号	令和元年6月7日	県教育長	事業者の長	
変更協定(第12回)の締結		令和元年6月21日	事業者の長	県教育長 財団理事長	三者協定
発願調査の依頼(第13回)	中高東支厚工第370号	令和5年8月16日	事業者の長	県教育長	
発願見解の依頼	文道第1871号	令和5年8月21日	文道課長	財団理事長	
発願見解の回答	公財考第102号	令和5年10月31日	財団理事長	財団理事長	
調査者の指定、見解の提出	文道第2463号	令和5年11月27日	県教育長	財団理事長	
変更協定(第13回)の締結		令和6年2月7日	事業者の長	財団理事長	三者協定
4 発願調査の委託契約					
第1回変更契約締結(平成22年度)		平成22年7月30日	事業者の長	財団理事長	
第2回変更契約締結(平成22年度)		平成23年3月29日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(平成23年度)		平成23年4月1日	事業者の長	財団理事長	
第1回変更契約締結(平成23年度)		平成24年3月27日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(平成24年度)		平成24年3月27日	事業者の長	財団理事長	
第1回変更契約締結(平成24年度)		平成25年3月27日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(平成25年度)		平成25年4月1日	事業者の長	財団理事長	
第1回変更契約締結(平成25年度)		平成25年10月1日	事業者の長	財団理事長	
第2回変更契約締結(平成25年度)		平成26年3月28日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(平成26年度)		平成26年4月1日	事業者の長	財団理事長	
第1回変更契約締結(平成26年度)		平成26年7月16日	事業者の長	財団理事長	
第2回変更契約締結(平成26年度)		平成27年3月30日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(平成29年度)		平成29年4月1日	事業者の長	財団理事長	
第1回変更契約締結(平成29年度)		平成30年3月29日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(平成30年度)		平成30年4月1日	事業者の長	財団理事長	
第1回変更契約締結(平成30年度)		平成30年12月11日	事業者の長	財団理事長	
第2回変更契約締結(平成30年度)		平成31年3月29日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(令和2年度)		令和2年3月30日	事業者の長	財団理事長	

第3章 調査経過

第1回変更契約締結(令和2年度)		令和3年3月29日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(令和3年度)		令和3年3月29日	事業者の長	財団理事長	
第1回変更契約締結(令和3年度)		令和4年3月31日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(令和4年度当初)		令和4年3月31日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(第1回変更)		令和5年3月31日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(第2回変更)		令和5年4月24日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(令和5年度当初)		令和5年3月31日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(第1回変更)		令和6年3月29日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(令和6年度当初)		令和6年3月29日	事業者の長	財団理事長	
5 文化財保護法第94条に基づく土木工事等の通知					
通知	中京東支店工事 1038号	平成23年6月25日	事業者の長	県教育長	伊勢原市経由
通知に対する指示	文通第10147号	平成25年7月3日	県教育長	事業者の長	伊勢原市経由
6 文化財保護法第92条に基づく乗組調査の届出					
届出(平成22年度)	財考第97号	平成22年8月30日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
届出に対する指示	文通第30083号	平成22年9月17日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
届出内容変更の報告	財考第400号	平成23年3月31日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由 (前項の変更)
届出(平成23年度)	財考第281号	平成23年3月23日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
届出に対する指示	文通第30006号	平成24年6月7日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
届出内容変更の報告	公財考第226号	平成24年3月21日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由 (山崎の変更)
届出(平成24年度)	公財考第227号	平成24年3月21日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
届出に対する指示	文通第50125号	平成24年3月30日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
届出内容変更の報告	公財考第217号	平成25年3月29日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由 (前項の変更)
届出内容変更の報告	公財考第32号	平成25年8月8日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由 (担当の変更)
届出(平成25年度)	公財考第186号	平成25年2月28日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
届出に対する指示	文通第50116号	平成25年3月14日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
届出内容変更の報告	公財考第271号	平成26年3月31日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由 (前項・担当の変更)
届出(平成26年度)	公財考第212号	平成26年2月28日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
届出に対する指示	文通第50114号	平成26年3月12日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
届出内容変更の報告	公財考第128号	平成26年9月19日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由 (前項・担当・期間の変更)
届出(平成28年度)	公財考第199号	平成28年2月29日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
届出に対する指示	文通第50107号	平成28年3月10日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
届出内容変更の報告	公財考第35号	平成28年7月15日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由 (前項・期間の変更)
届出内容変更の報告	公財考第74号	平成28年7月15日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由 (前項・名称・期間の変更)
届出(平成29年度)	公財考第171号	平成29年11月16日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
届出に対する指示	文通第30061号	平成29年12月1日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
届出内容変更の報告	公財考第300号	平成30年1月15日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由 (前項・名称・担当・期間の変更)
届出内容変更の報告	公財考第307号	平成30年3月29日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由 (前項・期間の変更)
届出(平成30年度)	公財考第236号	平成30年2月28日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
届出に対する指示	文通第50106号	平成30年3月16日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
届出内容変更の報告	公財考第31号	平成30年5月16日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由 (前項・担当・期間の変更)
届出(令和元年度)	公財考第90号	令和元年8月30日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由

届出に対する指示	文遺第50048号	令和元年9月17日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
届出内容変更の報告	公財考第149号	令和元年11月29日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由 (面積の変更)
7 出土品の手続き					
埋蔵物発見届(平成22年度)		平成23年4月4日	財団理事長	伊勢原警察署長	
出土文化財保管証の提出	公財考第3号	平成23年4月4日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
文化財認定と県帰属の通知		平成23年4月21日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
埋蔵物発見届(平成23年度)		平成24年4月2日	財団理事長	伊勢原警察署長	
出土文化財保管証の提出	公財考第2号	平成24年4月2日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
文化財認定と県帰属の通知		平成24年4月18日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
埋蔵物発見届(平成24年度)		平成25年4月1日	財団理事長	伊勢原警察署長	
出土文化財保管証の提出	公財考第219号	平成25年4月1日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
文化財認定と県帰属の通知		平成25年5月27日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
埋蔵物発見届(平成25年度)		平成26年4月1日	財団理事長	伊勢原警察署長	
出土文化財保管証の提出	公財考第5号	平成26年4月1日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
文化財認定と県帰属の通知		平成26年4月21日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
埋蔵物発見届(平成26年度)		平成26年9月19日	財団理事長	伊勢原警察署長	
出土文化財保管証の提出	公財考第129号	平成26年9月19日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
文化財認定と県帰属の通知		平成26年10月27日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
埋蔵物発見届(平成28年度)		平成28年6月21日	財団理事長	伊勢原警察署長	
出土文化財保管証の提出	公財考第63号	平成28年6月21日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
文化財認定と県帰属の通知		平成28年7月26日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
埋蔵物発見届(平成29年度)		平成30年4月4日	財団理事長	伊勢原警察署長	
出土文化財保管証の提出	公財考第14号	平成30年4月4日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
文化財認定と県帰属の通知		平成30年5月17日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
埋蔵物発見届(平成30年度)		平成30年5月18日	財団理事長	伊勢原警察署長	
出土文化財保管証の提出	公財考第32号	平成30年5月16日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
文化財認定と県帰属の通知		平成30年6月21日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
埋蔵物発見届(令和元年度)		令和元年11月5日	財団理事長	伊勢原警察署長	
出土文化財保管証の提出	公財考第137号	令和元年11月5日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
文化財認定と県帰属の通知		令和元年11月21日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由

※名称・職名の略記

- ・事業者の長:日本道路公団東京建設局厚木工事事務所長(～H17年9月30日)
日本高速道路横浜支社厚木工事事務所長(H17年10月1日～H20年7月27日)
日本高速道路東京支社厚木工事事務所長(H20年7月28日～)
- ・財団理事長:財団法人かながわ考古学財団理事長(～H23年3月)
公益財団法人かながわ考古学財団理事長(H23年4月～)
- ・県教育長:神奈川県教育委員会教育長
- ・文遺課長:神奈川県教育委員会教育局生涯学習部文化遺産課長(～H21年3月)
- ・文遺課長:神奈川県教育委員会教育局生涯学習部文化遺産課長(H22年4月～)

第2章 遺跡概観

第1節 遺跡周辺の地形と地理的環境

本報告に掲載する東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡は、伊勢原市東富岡地先及び栗窪地先に所在する。遺跡の所在する伊勢原市は、神奈川県ほぼ中央部に位置する人口約101,000人、面積は約55.56km²の地方都市で、北側から東側を厚木市、西側を秦野市、南側を平塚市と接している。

伊勢原市を地形的に概観すると、極めて変化に富んだ様相を窺い知ることができる。市北西端には、丹沢山地の東端に位置する大山（海拔高度1,251.7m）とその南東麓に展開する山地・丘陵が広がっており、急峻な地形を形成している。山地・丘陵部の東側から南東側は地域の中央部にあたる一帯で、大山に源を発する金目川水系鈴川、渋田川、歌川、玉川（河川改修により現在は相模川水系）が南または東へ向かって流れており、これら金目川水系の各河川に浸食された標高25～90mの丘陵・台地（愛甲台地・高森丘陵・富岡丘陵・伊勢原台地・鶴巻台地）が連なっている。この地域は、河川の埋積作用による扇状地形が発達している地域でもあり、日向川や鈴川・渋田川流域では扇状地性の台地（日向台地・上粕屋台地）と谷底平野が絡み合う複雑な様相をみせている。市南東域は「相模川低地」と呼ばれる沖積低地の一角を占めており、いわゆる相模平野の北西域にあつている。県央部を北から南に流れ相模湾に注ぐ相模川に沿うように帯状の自然堤防が発達しており、市中央域に座す丘陵・台地との間には相模川の右岸に展開する海拔高度約8mの沖積低地が広がっている。

東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡の所在する伊勢原市栗窪地区は、地形区分的には伊勢原台地の北縁の東から富岡丘陵・高森丘陵の南縁付近に位置している。丘陵部の標高は36m前後で、東に細長く延びる三角形の独立丘状を呈している。

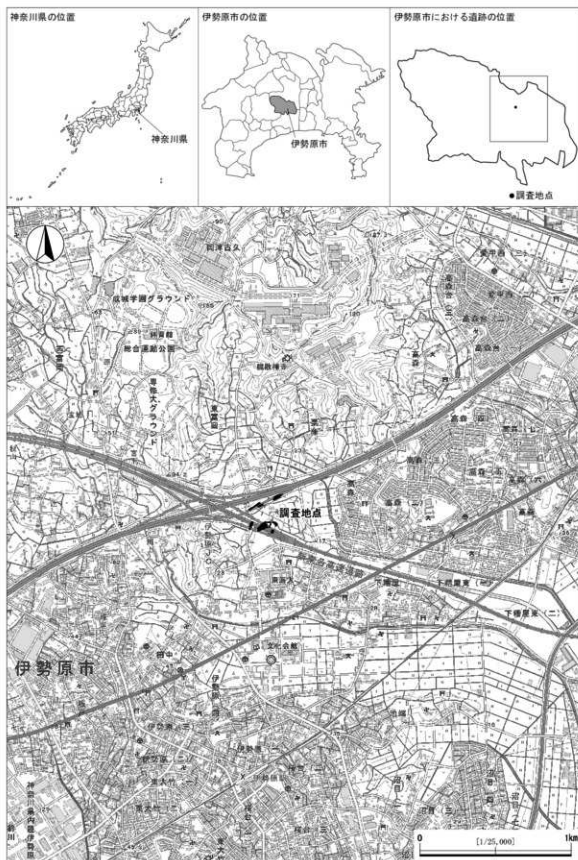
第2節 周辺の遺跡と歴史的環境

地形の変化に富む伊勢原市域には、旧石器時代から近世にいたるまでの多数の遺跡が存在するが、特に、大江山麓から派生した丘陵上とその南東域に展開する扇状地性の台地上に多くの遺跡が分布している。今回報告する東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡はともに、伊勢原市№71遺跡として神奈川県埋蔵文化財包蔵地台帳に登録された範囲内に位置している。

本節では、東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡及び新東名高速道路建設事業に先立って実施されたその他遺跡の調査成果を中心に、周辺の遺跡について時代ごとに概観していきたい。なお、第3図に掲載した遺跡には神奈川県埋蔵文化財包蔵地台帳に登録された遺跡番号を付しているため、一覧表や挿入図に示す番号が連番とはならないことをお断りしておく（第2図・第3表）。

旧石器時代

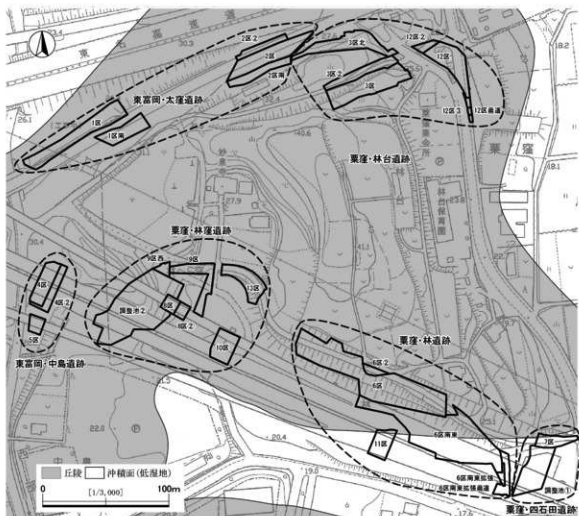
旧石器時代の遺跡は、西富岡・長竹遺跡(14)、上粕屋・石倉中遺跡第2地点(40)、上粕屋・秋山上遺跡第2次調査(74)、畠止橋遺跡(128)、上粕屋・三本松遺跡(128)、上粕屋・川上遺跡(160)、西富岡・向畑遺跡(160)など、渋田川流域に展開する上粕屋扇状地とその周辺に立地する遺跡が知られているが、近年実



第1図 道跡位置図[1/25,000] (国土地理院電子版 令和6年「伊勢原」「厚木」令和6年5月28日現在を一部改変)



第2図 周辺の道跡[1/25,000] (国土地理院電子版 令和6年「伊勢原」「厚本」令和6年5月27日現在)



第3図 遺跡周辺の地形と調査地点の位置図[1/3,000] (国他1974・松島1995を一部改変(注1))

施された新東名高速道路建設事業に伴う子易地区の調査において、市域北西部の鈴川右岸丘陵上に立地する子易・中川原遺跡(123)で当該期の礫群や遺物集中が発見されており、遺跡分布におけるあらたな知見が得られている。

東名高速道路拡幅工事に伴って実施された三ノ宮・下谷戸遺跡の調査では、L1S～B0層相当層にかけて多量の細石刃や細石核が出土している。西富岡・長竹遺跡の調査では、縄文時代草創期を含め、漸移層からB4層相当層にかけて6時期の文化層が検出される、特筆すべき成果があがっている。特に、B4層相当層からの石器出土は、市内で最古段階のものと思われる。上粕屋・秋山上遺跡第2次調査では、B1層相当層中から石器群とともに配石炉が発見されている。新東名高速道路建設事業に伴う上粕屋・子易遺跡の調査では、L1H層相当層下部から槍先形尖頭器群が、B1層相当層上部から終末期のナイフ形石器群が出土している。同じく、新東名高速道路建設事業に伴う子易・中川原遺跡の調査では、L2層相当層上部で礫群が検出され、L1H層相当層下部～B1層相当層上部から終末期のナイフ形石器群が出土している。前述のように、こちらは鈴川右岸側に立地する遺跡における希少な発見事例となっている。上粕屋・石倉中遺跡第2地点、上粕屋・三本松遺跡、上粕屋・川上遺跡では細石刃が出土している。新東名高速道路建設事業に伴う西富岡・向畑遺跡の調査では、L1H層相当層～B2層相当層にかけての複数の層位から石器群や炭化材・炭化物集中等が確認されている。

縄文時代

伊勢原市域における縄文時代に帰属する遺跡の数は、早期前葉から末葉にかけて漸増するものの、前期初頭から中葉になると激減する。前期後葉から中期初頭にかけて増減を繰り返しながら、中期中葉勝坂式期に至り飛躍的な増加が認められ、以後、後期前葉まで極めて高い水準で推移する。後期中葉加曾利B式期以降、急激な遺跡数の減少に転じ、後期末から晩期においては明確な集落がほとんど確認できなくなるという傾向が看取される。

該期の主だった遺跡として、八幡台遺跡(1)〔後期〕、東大竹・山王塚遺跡(1)〔中・後期〕、神成松遺跡(74)〔中期〕岡崎・天神下遺跡(77)〔中・後期〕、岡崎・御岳遺跡(77)〔中・後期〕、上粕屋・川上遺跡(160)〔草・早・中・後期〕、西富岡・向畑遺跡(160)〔中・後期〕、池端・椿山遺跡(170)〔中・後期〕、沼目・坂戸遺跡(170)〔草創・中・後期〕、高森・白山山遺跡(233)〔早期〕などがある。

早期の遺跡は、高森・白山山遺跡で燃系文期終末頃の住居址が確認されている。前期の遺跡は、後葉に帰属する住居址群が発見された坪ノ内・宮ノ前遺跡が代表的な事例である。中期の遺跡は、丹沢山地を除く市域全域に分布しており、大規模な集落遺跡も確認されるようになる。五領ヶ台式期終末～勝坂式期初頭に帰属する住居址が確認された田中・万代遺跡をはじめ、神成松遺跡、岡崎・御岳遺跡、御伊勢森遺跡、子易・中川原遺跡、西富岡・向畑遺跡、池端・椿山遺跡などが代表的な中期の集落遺跡として捉えられる。後期の遺跡は調査事例が多く、これまでも豊富な遺構・遺物の発見が報告されている。三ノ宮・下谷戸遺跡、三ノ宮・宮ノ前遺跡、三ノ宮・前畑遺跡の所在する三ノ宮地区では、東名高速道路拡幅事業に伴う調査において、多数の敷石住居址や配石遺構で構成される集落が発見されている。近年、新東名高速道路建設事業に伴い、上粕屋・秋山遺跡(74)、上粕屋・秋山遺跡(74)、西富岡・向畑遺跡などにおいて大規模な調査が実施され、敷石住居址や配石墓、立石・列石・環濠方形配石遺構など、濠を用いた施設を伴う多様多様な該期遺構の発見事例が相次いでいる。西富岡・向畑遺跡では、埋没谷の谷底から中期～後期の水場遺構が発見され、埋没谷を取り巻くように展開する中期～後期の集落の様相が明らかになった。晩期頃に発生した地滑りによって埋没した当時の森林の痕跡も発見され、大きな話題となった。

弥生時代

前期から中期初頭の主な遺跡として神成松遺跡第2地点(74)、神成松遺跡第5地点(74)、子易・大坪遺跡、子易・中川原遺跡、上粕屋・香々久保遺跡(138)がある。神成松遺跡第2地点では弥生時代前期中屋敷式段階に比定される土器が出土し、近隣の第5地点からは前期後半から中期初頭頃の条痕文土器が出土している。子易・中川原遺跡では条痕文土器を伴出する円形土坑が複数確認されている。上粕屋・香々久保遺跡では中期初頭の条痕文土器と土坑群が確認されている。

中期の遺跡としては、串橋・宮ノ根遺跡(23)、田中・万代遺跡、石田・源太夫遺跡(235)、石田・細谷遺跡(235)などが挙げられる。田中・万代遺跡では須和田式土器や宮ノ台式土器が出土しており、串橋・宮ノ根遺跡では環濠が確認されている。愛甲台地に立地する高森・宮ノ腰遺跡(234)では、中期後葉の環濠と住居址が確認されている。

後期になると、環濠を含め、集落・墓域などが確認され遺構数が増加する。高森・宮ノ腰遺跡(234)、石田・細谷遺跡等、愛甲台地を中心に展開する環濠集落の存在が明らかになっており、成瀬第二地区遺跡群においては、弥生時代後期～古墳時代前期の住居址や掘立柱建物跡、方形周溝墓が確認され、墓域と居住

域がセットで確認されている。

古墳時代

古墳時代の集落は、弥生時代後期から続くものが多い。神成松遺跡第2地点、田中・聖原遺跡(128)、田中・万代遺跡、田中・酒林遺跡(128)、咳止橋遺跡(128)、上粕屋・三本松遺跡(128)、東富岡・北三間遺跡(160)などが代表的な遺跡としてあげられる。神成松遺跡第2地点では古墳時代初頭から前期の住居址が確認されており、Y6号竪穴住居址から木質が残存している鉄鑿が出土している。田中・万代遺跡では旧河道が確認され、そこから大量に投棄された中期の土器が出土した。田中・聖原遺跡では後期の住居址が多数確認されており、住居址と掘立柱建物とで構成された集落が形成されていたようである。

伊勢原市内は県下でも多くの古墳や横穴墓が築造された地域である。三ノ宮・下谷戸遺跡では昭和39年の東名高速道路建設に伴い三ノ宮3号墳が調査され、横穴式石室より金銅製資金具、雲珠、轡、鉄銚、刀子、鉄鏝、玉類、須恵器が出土している。また、平成4～7年の東名高速道路拡幅工事に伴う調査では、6世紀前半の古墳7基と7世紀後半の小石室7基が発見されている。近年、上粕屋扇状地の最奥部にあたる子易地区において、新東名高速道路建設事業に伴い鈴川左岸側に立地する上粕屋・子易遺跡(39)の調査が実施され、終末期の群集墳や小石室などが発見された。一方、対岸にあたる右岸側の子易・中川原遺跡では、首長墓と目される二重の墳丘内列石を伴う方墳が発見されるなど、注目を集めている。

奈良・平安時代

該期の相模国は8郡に分けられ、伊勢原市域は大住郡に含まれる。大住郡は16郷に分けられ、伊勢原市域には日田・大服・櫛崎・駅家・渭辺・石田の6郷が該当する。古代の集落は、伊勢原台地を中心に展開しており、主だった遺跡は、沼目・天王原遺跡(16)、沼目・清水谷遺跡(16)、沼目・吹上遺跡(16)、沼目・諏訪面遺跡(16)、池端地区遺跡群(16)などがあげられる。これらは古代「渭辺郷」に比定される地域に位置していると考えられ、7世紀後半から10世紀に営まれた集落として捉えられる。沼目・諏訪面遺跡からは豊富な鉄製品、分銅や錠、「銜」や丸軻、墨書土器、刻書土器などが確認されている。分銅の発見は大住郡内でも2例目となり、県内をみても出土事例は稀少である。沼目・天王原遺跡等では錠と推定される鉄製品が、池端遺跡群からは鉋尾などの石製品が出土している。台地を中心に展開する該期集落は、8世紀代になると低地でも確認されるようになる。田中・酒林遺跡は古墳時代後期から古代にかけての竪穴住居址が多く発見され、2基の鍛冶炉も確認されている。同様の事例は、板戸・宮ノ前遺跡(124)でも確認されており、大住郡北部にも生産地が存在することが明確となった。

近年、新東名高速道路建設事業に伴い、西富岡から上粕屋地区にかけて大規模な調査が実施され、大きな成果があがっている。西富岡・向畑遺跡(160)では、7世紀後半～8世紀初頭、8世紀代、9世紀代に帰属する数多くの住居址が調査され、7世紀後半～9世紀にかけて継続的に集落が営まれていたことが明らかになった。これらの住居址の1軒から銅製帯金具10点がまとまった状態で出土している。上粕屋・一ノ郷上遺跡では、古墳時代後期から奈良・平安時代の住居址が21軒発見され、このうち1軒の住居址から銅製帯金具の鉋尾1点が出土している。また別の住居址の掘り方から皇朝十二銭の長年大寶が出土している。

中世

当該期の遺跡は、上粕屋・子易遺跡、上粕屋・ノ引北遺跡(40)、糟屋館跡(74)、東富岡・北三間遺跡(160)などがある。

東富岡・北三間遺跡では、竪穴状遺構、掘立柱建物、地下式坑、井戸跡等が検出され、青磁・白磁などの舶載磁器や瀬戸窯・渥美窯・常滑窯等の輸入陶器が出土している。上粕屋・ノ引北遺跡、上粕屋・ノ引西遺跡(40)、上粕屋・ノ引東遺跡(40)、上粕屋・ノ引南遺跡(40)、大句・石倉線内遺跡(40)等でも同様の遺構や遺物が確認されており、東富岡からノ引までの広い地域で中世から近世にかけての集落が存在していたことが判明している。上粕屋・ノ引北遺跡からは、14世紀中頃の堀、門跡が確認され、一辺50m以上の規模をもつ館の一部であると報告されている。上粕屋・小山遺跡からはクランク状の溝状遺構が検出され、扇谷上杉氏から後北条氏に関わる防御施設として報告されている。

近年、新東名高速道路建設事業や厚木東野道路建設事業に伴い、上粕屋地区から子易地区にわたる広い区域の調査が実施され、中世、特に、鎌倉時代に帰属する多種多様な遺構が発見され、大いに注目を集めている。城館跡としては糟屋館跡(74)があげられる。糟屋館跡は、上粕屋御伊勢ノ森にあり、扇谷上杉定正の本拠である「上杉館」とされていたが、昭和51年の調査では伝承を裏付ける遺構は確認されなかった。近接した神成松遺跡で調査が行われているが、居館に関する遺構は確認できていない。

近世

近世の伊勢原は、信仰の地としての性格を持つ。徳川幕府は、大山寺に対し、改革や再興の資金を投じている。また、春日局が参詣するなど重要な寺として扱われている。江戸中期になると庶民の間で大山詣りが流行し、関東各地に大山道が走り、伊勢原は門前町として発展した。

この時代の周辺の主な遺跡として、上粕屋・ノ引東遺跡、上粕屋・ノ引南遺跡、上粕屋・ノ引北遺跡、上粕屋・石倉中遺跡(40)などがある。上粕屋・ノ引東、上粕屋・ノ引南遺跡、上粕屋・ノ引北遺跡は、田村道・大山道沿いに広がる集落跡と想定されている。地下式坑や竪穴状遺構、井戸などが検出され、18～19世紀代の遺物が集中している。大山道の遺構も随所で確認されている。上粕屋・石倉中遺跡では、道状遺構が発見され、近世の大山道に関連するものと考えられている。

(注1) 第3図は「岡重文他1979『藤沢地域の地質』通省産業省工業技術院 地質調査所」を参考に、現況で残存する登載台地残存部等を勘案して作成。

第2表 周辺の遺跡

遺跡番号	遺跡名	立地	所在	種類	時期	文献
伊勢原1	八幡宮・宮ノ前遺跡	台地	伊勢原西八幡宮	築石跡	縄文	
	伊勢原市No.1遺跡		伊勢原西八幡宮、東大竹	築石跡、散布遺	縄文～近世	
	東大竹・指原久保遺跡		伊勢原西東大竹・宇野久保	散布遺	縄文、古墳、奈良～近世	1～3・11・13・15・17・36・41～43・45・48・50・52・60・61・71・72・78・99・103・105～108・119・116・118・120・121
	東大竹・山王殿遺跡		伊勢原西東大竹・山王殿	築石跡、散布遺	縄文、古墳～近世	
	東大竹・下谷ノ遺跡		伊勢原西東大竹・下谷ノ	築石跡、散布遺	縄文、古墳～近世	
	八幡宮遺跡		伊勢原西東大竹・山王殿外	築石跡、散布遺	縄文、古墳、奈良、古墳、奈良、中世、近世	
伊勢原2	東大竹・八幡宮戸遺跡	台地	伊勢原西東大竹・八幡宮戸	築石跡、散布遺	縄文、古墳	
	西岡・池田久保遺跡		伊勢原西岡・池田久保	築石跡、散布遺	縄文、奈良	
	三ノ宮・宮ノ前遺跡		伊勢原西三ノ宮・宮ノ前	築石跡、築石跡跡、散布遺	縄文、弥生、古墳、奈良、平安、中世、近世	32・35・36・41・43・61・62・91・92・120・145・161
伊勢原3	三ノ宮・岡田遺跡	台地	伊勢原西三ノ宮・岡田	築石跡、築石跡跡、散布遺	縄文、弥生、古墳、奈良、平安	
	三ノ宮・宮上遺跡		伊勢原西三ノ宮・宮上	築石跡、築石跡跡、散布遺	縄文、弥生、古墳、奈良、平安	
伊勢原4	登尾山古墳	山頂	伊勢原西登尾山	古墳	古墳	1・6・13・26
伊勢原5	地蔵山古墳群	山頂	伊勢原西ノ宮・地蔵山、下谷ノ山	古墳、築石跡	縄文、弥生、古墳、近世	7・13

道路番号	道路名	立地	所在地	構造	時期	文献
伊勢第9	伊勢原市No. 3道路	市街	伊勢原市板戸	新築跡、敷地面	縄文、奈良、平安	
伊勢第10	式江道路	—	伊勢原市三ノ宮宮山	敷地面	縄文	
伊勢第11	水津東道路	市街	伊勢原市三ノ宮中津津	敷地面、古墳	縄文、古墳	89
伊勢第12	北高古道路	市街	伊勢原市高森下高森	古墳	古墳	199-200
伊勢第13	新内戸道路	—	伊勢原市三ノ宮	敷地面、墓跡遺跡	縄文	
伊勢第14	西宮間・長谷道路	市街	伊勢原市西宮間	乱葬跡・敷地面	新石器、縄文、弥生、奈良、平安、近世	43～55・47～49・155・162・171・172・178・179・185・186・189・190
		丘陵	伊勢原市西宮間	敷地面	縄文、古墳、奈良、平安、近世	
伊勢第15	日高・清田道路	市街	伊勢原市日高字清田	古墳・大塚墓	古墳、中世	
		市街・森田田圃跡	伊勢原市日高字森田田圃	古墳・新築跡	縄文、古墳跡、近世	113・122・35・46・52・88・113・170・171
伊勢第16	日高・東水道路	市街	伊勢原市日高字東水	古墳	古墳	
	池崎・寺久保道路	—	伊勢原市伊勢原一丁目	敷地面	縄文、奈良、中世	
	池崎・久保道路	—	伊勢原市池崎字久保	新築跡、墓跡	縄文、古墳、奈良～近世	
	池崎・堀形東道路	—	伊勢原市池崎字堀形	新築跡	奈良	
	池主・清水谷道路	市街	伊勢原市池主二丁目	新築跡、敷地面	縄文、古墳、奈良、中世	30・41～43・45・48・49・61・62・63・72・99・118・123・171
	池主・大土原道路	市街	伊勢原市池主二丁目外	新築跡、敷地面	縄文、古墳、奈良、中世、近世	
	池主・吹上道路	市街	伊勢原市池主一丁目	敷地面	縄文、古墳、中世	
	池主・諏訪西道路	—	伊勢原市池主二丁目	乱葬跡	奈良、中世	
	池崎地区道路	—	伊勢原市池崎	乱葬跡・敷地面	縄文、奈良～近世	
	伊勢原市No. 18道路	—	伊勢原市池崎、沼田	乱葬跡、古墳	縄文、古墳、奈良、中世、近世	
伊勢第17	ササキ宮内道路	—	伊勢原市三ノ宮	敷地面	縄文	
伊勢第19	伊勢原市No. 19道路	丘陵	伊勢原市東原八郎、東宮岡下刀塚	敷地面	古墳、奈良、近世	
伊勢第23	津々多第2地区道路	丘陵	伊勢原市津ノ内、串段	新築跡、敷地面	縄文、弥生、古墳、奈良、平安、中世、近世	
	津ノ内・横戸道路	丘陵	伊勢原市津ノ内字宮ノ前	乱葬跡、敷地面	新石器、縄文、弥生、古墳、奈良、平安	
	津ノ内・宮ノ前道路	丘陵	伊勢原市津ノ内字宮ノ前	乱葬跡、敷地面	縄文、奈良、平安、近世	63・75・78・79・41・43・44・45・48・52・55・56・61・63・72・77・85・97・99・137・170
	岩崎・宮ノ根道路	丘陵	伊勢原市津崎字宮ノ根・外根	新築跡、傾斜、その跡の泉、新築跡	縄文、弥生、古墳、奈良、平安、中世、近世	
	宮内神社境内道路	丘陵	伊勢原市津崎字宮ノ根	新築跡、敷地面	縄文、弥生、奈良、平安	
	伊勢原市No. 23道路	市街	伊勢原市串段、津ノ内	新築跡、敷地面	新石器、縄文、弥生、古墳、奈良～近世	
伊勢第24	神ノ上道路	丘陵	伊勢原市神ノ上字河毛	乱葬跡、敷地面	新石器、縄文、弥生、古墳、平安、中世、近世	
伊勢第25	大塚古墳	市街	伊勢原市大塚	古墳	古墳	
伊勢第26	大塚池遺跡	市街	伊勢原市三ノ宮字本津津	古墳	古墳	
伊勢第27	四ノ坪古墳	丘陵	伊勢原市四ノ坪字本津津	古墳	古墳	
伊勢第28	大土原古墳	市街	伊勢原市池崎字堀形	古墳	古墳	
伊勢第29	池崎窪古墳	市街	伊勢原市伊勢原一丁目	古墳	古墳	
伊勢第30	伊勢原大新宮境内道路	市街	伊勢原市伊勢原一丁目	古墳、新築跡	弥生、古墳～近世	48
伊勢第31	神明社古墳跡	市街	伊勢原市伊勢原神社境内	古墳	古墳	
伊勢第32	大塚池古墳	市街	伊勢原市本津津	古墳	古墳	
伊勢第33	伊勢原市No. 33道路	丘陵	伊勢原市白根字秋田戸	新築跡	—	
伊勢第34	伊勢原市No. 34道路	市街	伊勢原市大宮八郎谷戸	古墳	古墳	
伊勢第35	伊勢原市No. 35道路	市街	伊勢原市大宮八郎谷戸	古墳	古墳	
伊勢第36	神明社古墳	市街	伊勢原市白根	古墳	古墳	
伊勢第37	遊園古墳	市街	伊勢原市白根字遊園	古墳	古墳	
伊勢第38	神明社内古墳	—	伊勢原市白根	古墳	古墳	
伊勢第39	子島古墳群遺跡	斜面下	伊勢原市上尾屋字子島	古墳群 敷地面	古墳、平安	127・142・151・155・171・176・177・178・185・188・189・192・194
	上尾屋・子島道路	市街	伊勢原市上尾屋	乱葬跡、古墳、新築跡	古墳、平安	
伊勢第40	三ノ宮・下新田間道路	市街	伊勢原市三ノ宮字中田川	新築跡、墓跡	縄文、古墳、奈良、平安、中世、近世	
	三ノ宮・下新田間道路	市街	伊勢原市三ノ宮字下新田	敷地面	平安、中世、近世	
	上尾屋・三ノ宮間道路	市街	伊勢原市上尾屋字三ノ宮	乱葬跡、敷地面	平安、近世	
	上尾屋・三ノ宮間道路	市街	伊勢原市上尾屋字三ノ宮	乱葬跡、敷地面	縄文、奈良～近世	19・22・24・29・32・33・41・43・45・48・54・59・63・74・76・111・130・137・141・142・144・151・152・154・158・159・163・165・171・172・174・175・179・181・185・188・189・192・193
	上尾屋・三ノ宮間道路	市街	伊勢原市上尾屋字三ノ宮	乱葬跡、敷地面	縄文、奈良、平安、中世、近世	
	上尾屋・三ノ宮間道路	市街	伊勢原市上尾屋字三ノ宮	乱葬跡、敷地面	縄文、奈良、平安、中世、近世	
	上尾屋・三ノ宮間道路	市街	伊勢原市上尾屋字三ノ宮	乱葬跡、敷地面	縄文、奈良、平安、中世、近世	
	上尾屋・三ノ宮間道路	市街	伊勢原市上尾屋字三ノ宮	乱葬跡、敷地面	縄文、奈良、平安、中世、近世	
	上尾屋・三ノ宮間道路	市街	伊勢原市上尾屋字三ノ宮	乱葬跡、敷地面	縄文、奈良、平安、中世、近世	
	上尾屋・三ノ宮間道路	市街	伊勢原市上尾屋字三ノ宮	乱葬跡、敷地面	縄文、奈良、平安、中世、近世	
伊勢第41	上尾屋・三ノ宮間道路	市街	伊勢原市上尾屋字三ノ宮	乱葬跡、敷地面	縄文、奈良、平安、中世、近世	
	上尾屋・三ノ宮間道路	市街	伊勢原市上尾屋字三ノ宮	乱葬跡、敷地面	縄文、奈良、平安、中世、近世	
伊勢第42	上尾屋・三ノ宮間道路	市街	伊勢原市上尾屋字三ノ宮	乱葬跡、敷地面	縄文、奈良、平安、中世、近世	
伊勢第43	上尾屋・三ノ宮間道路	市街	伊勢原市上尾屋字三ノ宮	乱葬跡、敷地面	縄文、奈良、平安、中世、近世	
伊勢第44	上尾屋・三ノ宮間道路	市街	伊勢原市上尾屋字三ノ宮	乱葬跡、敷地面	縄文、奈良、平安、中世、近世	
伊勢第45	上尾屋・三ノ宮間道路	市街	伊勢原市上尾屋字三ノ宮	乱葬跡、敷地面	縄文、奈良、平安、中世、近世	
伊勢第46	上尾屋・三ノ宮間道路	市街	伊勢原市上尾屋字三ノ宮	乱葬跡、敷地面	縄文、奈良、平安、中世、近世	
伊勢第47	上尾屋・三ノ宮間道路	市街	伊勢原市上尾屋字三ノ宮	乱葬跡、敷地面	縄文、奈良、平安、中世、近世	

冊序号	遺 跡 名	地址	所在地	構 造	時 期	文 献
伊勢第81	小倉東遺跡	伊勢郡高島市小倉東	土牆、敷布地	縄文早、中、後、古家、古家	201・202・203	
伊勢第82	岩崎、中宮遺跡	伊勢郡高島市	土牆	古墳		
伊勢第83	飯沼古墳	伊勢郡高島市飯沼	土牆	古墳	30-39	
伊勢第84	玉立宮前遺跡	伊勢郡高島市玉立	土牆	古墳		
伊勢第85	大寺東遺跡	一	伊勢郡高島市東	土牆	古墳	8・13
伊勢第86	大寺東遺跡	一	伊勢郡高島市東	土牆	古墳	
伊勢第87	伊勢第No. 67遺跡	伊勢郡高島市	土牆、敷布地	古墳		
伊勢第88	住金宮遺跡	伊勢郡高島市住金	土牆	古墳	204	
伊勢第89	高倉古墳	伊勢郡高島市	土牆	縄文、古墳、奈良、平安、中世、近世		
伊勢第90	上田文龜跡	伊勢郡高島市上田	板瓦敷、敷布地	古墳	13	
伊勢第91	新飯沼・上ノ宮遺跡	伊勢郡高島市新飯沼	瓦葺、敷布地	古墳、奈良、奈良、中世、近世		
伊勢第92	上ノ宮遺跡	伊勢郡高島市上ノ宮	瓦葺、板瓦	古石室、平安、中世、近世	14・28・29・37・41・48・60・61・62・72・80・113・117・118・120・125・127・128・131・137・142・144・145・159・151・154・159・165・167・179・185・188・189・192・194・204・207	
伊勢第93	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第94	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第95	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第96	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第97	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第98	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第99	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第100	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第101	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第102	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第103	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第104	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第105	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第106	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第107	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第108	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第109	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第110	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第111	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第112	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第113	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第114	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第115	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第116	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第117	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第118	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第119	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第120	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第121	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第122	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第123	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第124	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第125	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第126	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第127	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第128	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第129	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第130	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第131	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第132	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第133	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第134	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第135	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第136	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第137	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第138	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第139	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第140	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第141	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第142	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第143	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第144	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第145	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第146	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第147	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第148	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第149	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第150	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第151	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第152	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第153	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第154	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第155	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第156	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第157	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第158	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第159	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第160	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第161	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第162	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第163	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第164	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第165	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第166	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第167	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第168	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第169	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第170	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第171	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第172	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第173	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第174	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第175	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第176	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第177	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第178	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第179	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第180	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第181	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第182	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第183	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第184	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第185	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第186	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第187	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第188	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第189	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第190	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第191	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第192	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第193	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第194	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第195	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第196	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第197	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第198	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第199	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		
伊勢第200	下野遺跡	伊勢郡高島市下野	瓦葺、敷布地	古墳		

道路番号	道路名	立地	所存地	種別	時期	文献
伊勢部103	伊勢部市No.103道路	丘陵	伊勢部市上里部平ノ郷土	横穴墓群	古墳	
伊勢部104	下平岡・大物遺跡	丘陵	伊勢部市下平岡字長久保	古土器	古墳	21・110・113
伊勢部111	飯戸・柳屋遺跡	丘陵	伊勢部市飯戸・柳屋遺跡	瓦葺跡、散在跡	縄文、奈良、平安、中世、近世	
	飯戸・中谷遺跡	丘陵	伊勢部市飯戸・中谷	瓦葺跡	古墳、奈良、平安、中世、近世	
	飯戸・大塚遺跡	丘陵	伊勢部市飯戸・大塚	散在跡	古墳、平安、中世、近世	17・30・32・34・45・52・72・129・134
	伊勢部市No.113道路	丘陵	伊勢部市飯戸	瓦葺跡、散在跡	縄文、古墳、奈良、近世	
伊勢部112	伊勢部市No.112	丘陵	伊勢部市伊勢部	瓦葺跡、散在跡	奈良、平安、中世、近世	86・88・92・96・98・99・102・107・109
伊勢部113	伊勢部市No.113道路	丘陵	伊勢部市高森字赤坂	横穴墓	古墳	97
伊勢部114	伊勢部市No.114道路	丘陵	伊勢部市高森字一丁379号	横穴墓群	古墳群	
伊勢部115	伊勢部市No.115道路	丘陵	伊勢部市市部平字正	散在跡	古代	
伊勢部116	伊勢部市No.116道路	丘陵	伊勢部市市部平字元	散在跡	古代	
伊勢部117	飯戸・木下遺跡	丘陵	伊勢部市飯戸・木下	瓦葺跡、散在跡	奈良、平安、中世、近世	63
伊勢部119	伊勢部市一丁遺跡	丘陵	伊勢部市伊勢部一丁目	瓦葺跡、散在跡	奈良	88・99・61・62・67
伊勢部121	川島・飯谷遺跡	丘陵	伊勢部市川島905-1番	散在跡	奈良、平安	209
伊勢部122	伊勢部市No.122道路	丘陵	伊勢部市高森字高谷	散在跡	縄文、奈良、中世	
伊勢部123	子島・大田遺跡	丘陵	伊勢部市子島字大田、中田原	瓦葺跡、散在跡	縄文、弥生、古墳、奈良、平安	122・123・130・131・136・137・140・142・144・149・160・171・176・177・179・185・188・189・192・196
	子島・中田原遺跡	丘陵	伊勢部市子島字大田、中田原	瓦葺跡、散在跡	縄文、弥生、古墳、奈良、平安	
	子島・中田原遺跡	丘陵	伊勢部市子島字大田、中田原	瓦葺跡、散在跡	縄文、弥生、古墳、奈良、平安	
伊勢部124	飯戸・八雲遺跡	丘陵	伊勢部市飯戸字八雲	瓦葺跡、散在跡	縄文、古墳、奈良、平安	
	飯戸・宮ノ前遺跡	丘陵	伊勢部市飯戸	瓦葺跡、散在跡	縄文、古墳、奈良、平安、中世	28・67・72・104・107・109・110・111・113
伊勢部125	伊勢部市No.125道路	丘陵	伊勢部市飯戸字八雲	瓦葺跡、散在跡	縄文、古墳、奈良、平安、中世	
伊勢部126	伊勢部市No.126道路	丘陵	伊勢部市高森字三丁目	横穴墓	古墳	
伊勢部127	伊勢部市No.127道路	丘陵	伊勢部市白土平字平	散在跡		
伊勢部128	田中・栗原遺跡	平地	伊勢部市三丁目正字中里	瓦葺跡、散在跡	旧石器、縄文、弥生、奈良、平安、中世、近世	
	横止橋遺跡	平地	伊勢部市上里部平字三郎、平中	瓦葺跡、散在跡	旧石器、縄文、弥生、奈良、平安、中世、近世	
	田中・酒中遺跡	平地	伊勢部市田中、伊勢部市三丁目	瓦葺跡、散在跡	縄文、古墳、奈良、平安	
	田中・大田遺跡	平地	伊勢部市伊勢部三丁目	瓦葺跡、散在跡	縄文、古墳、奈良、平安	
	田中・大田遺跡	平地	伊勢部市田中平田	瓦葺跡、散在跡	古墳、奈良、平安	30・32・35・36・43・46・88・92・98・99・102・107・109・110・111・113
	田中・島戸遺跡	平地	伊勢部市田中平田	瓦葺跡、散在跡	奈良、平安	82・89・91・97・100・118・154・159・171・199
	田中・古田遺跡	平地	伊勢部市田中平田	瓦葺跡、散在跡	縄文、弥生、古墳、奈良、平安、中世、近世	
	田中・高田遺跡	平地	伊勢部市田中平田	瓦葺跡、散在跡	平安、中世、近世	
	上里部・上里部遺跡	平地	伊勢部市上里部平川上	瓦葺跡、散在跡	縄文、古墳	
	上里部・三本公遺跡	平地	伊勢部市上里部平川上	瓦葺跡、散在跡	旧石器、縄文、古墳、奈良、平安	
伊勢部129	上里部・三本公遺跡	平地	伊勢部市上里部平川上	瓦葺跡、散在跡	縄文、奈良、平安、中世、近世	
	伊勢部市No.129道路	平地	伊勢部市上里部平川上	瓦葺跡、散在跡	旧石器、縄文、弥生、奈良、平安、中世、近世	
	伊勢部市No.129道路	平地	伊勢部市上里部平川上	瓦葺跡、散在跡	旧石器、縄文、弥生、奈良、平安、中世、近世	
伊勢部130	高田・西之原遺跡	丘陵	伊勢部市高田	瓦葺跡、散在跡	奈良、中世	129・130・136
伊勢部131	伊勢部市No.131道路	丘陵	伊勢部市上里部平川上	古墳	古墳、古墳、奈良、平安、中世	128・130・131・136・139・159・165・196
伊勢部132	上里部・一ノ瀬遺跡	丘陵	伊勢部市上里部平川上	瓦葺跡、散在跡	縄文、奈良、平安、近世	
伊勢部133	伊勢部市No.133道路	丘陵	伊勢部市上里部平川上	古墳	古墳	
伊勢部134	伊勢部市No.134道路	丘陵	伊勢部市上里部平川上	古墳	古墳	
伊勢部135	伊勢部市No.135道路	丘陵	伊勢部市上里部平川上	散在跡	奈良	
伊勢部136	高田・西之原遺跡	丘陵	伊勢部市上里部平川上	瓦葺跡	縄文、奈良、平安、中世	68
伊勢部137	伊勢部市No.137道路	丘陵	伊勢部市上里部平川上	散在跡	奈良	
伊勢部138	上里部・各々久保遺跡	丘陵	伊勢部市上里部平川上	散在跡	奈良	128・130・139
伊勢部139	上里部・各々久保遺跡	丘陵	伊勢部市上里部平川上	瓦葺跡、散在跡	旧石器、縄文	
伊勢部140	伊勢部市No.140道路	丘陵	伊勢部市上里部平川上	散在跡	奈良	
伊勢部141	高田・西之原遺跡	丘陵	伊勢部市上里部平川上	古墳、散在跡	縄文、弥生、古墳	
伊勢部142	伊勢部市No.142道路	丘陵	伊勢部市上里部平川上	散在跡		
伊勢部143	伊勢部市No.143道路	丘陵	伊勢部市上里部平川上	古墳	古墳	
伊勢部146	石田・一ノ瀬遺跡	丘陵	伊勢部市高森字一丁目、高森一ノ瀬、石田一ノ瀬201・8・9、石田久保200、石田久保430番	散在跡、瓦葺跡	縄文、弥生、古墳、奈良、平安	207
	石田・久保遺跡	丘陵	伊勢部市石田久保	散在跡、瓦葺跡	縄文、弥生、古墳、奈良、平安、中世、近世	208・209
	高森・一ノ瀬遺跡	丘陵	伊勢部市高森字一ノ瀬	散在跡、瓦葺跡	縄文、弥生、古墳、奈良、平安、中世、近世	205
伊勢部150	伊勢部市No.150道路	丘陵	伊勢部市上里部平川上	古墳	古墳	
伊勢部151	伊勢部市No.151道路	丘陵	伊勢部市上里部平川上	古墳	古墳	
伊勢部152	伊勢部市No.152道路	丘陵	伊勢部市上里部平川上	古墳	古墳	
伊勢部153	高田・西之原遺跡	丘陵	伊勢部市上里部平川上	瓦葺跡	縄文、中世、近世	191
伊勢部154	伊勢部市No.154道路	丘陵	伊勢部市上里部平川上	古墳	古墳	

作品番号	遺跡名	立地	所在地	種別	時期	文量
伊勢第155	下北原遺跡	山麓	伊勢原市山下町上雄、落合	築瓦葺、板倉造	縄文、奈良、平安	10-110-123・1189-145-157
伊勢第156	御伊奈ノ森遺跡	台地	伊勢原市上杉町新伊奈ノ森	築瓦葺、板倉造	縄文、奈良、平安、中世	12-155-153・158-165-185-189-189・192〜196
伊勢第158	伊勢原市N_158遺跡	一	伊勢原市山上原	築布垂	縄文	
伊勢第159	伊勢原市N_160遺跡 上原地区ノ上原遺跡 下原地区ノ赤松地区遺跡	三級 二級	伊勢原市赤松 伊勢原市上杉町宇田上 伊勢原市上杉町宇田上	筑石葺、配土 築瓦葺、敷布垂	古墳、縄文、古墳→平安、近世 古墳、古墳、奈良、平安、中世、古墳	27-30-32-43・45-47・ 52-61-63-64-65-67・ 81-117-118-122-123- 126-129-130-131-136- 138-142-144-145
伊勢第160	五雲岡-七丁間遺跡 八坂宮庭園地区東部 西宮町-外堀遺跡 西宮町-内堀遺跡	三級 三級 三級	伊勢原市青草町子ノ七間 伊勢原市青草町子ノ七間 伊勢原市青草町子ノ外堀 伊勢原市青草町子ノ内堀	筑石葺、板倉造 筑石葺、板倉造 筑石葺 筑石葺	石石葺→近江 石石葺、縄文、奈良、平安、近江 石石葺、縄文、奈良、平安、中世、近世	159-161・164-165・ 165-171・176-177・ 179-185-188・189-191- →195
伊勢第161	伊勢原市N_160遺跡	三級	伊勢原市青草町	築瓦葺	縄文、奈良、平安、近世	
伊勢第162	伊勢原市N_161遺跡	館前遺跡	伊勢原市上杉町新伊奈ノ森	板瓦葺	古墳、中世、近世	86
伊勢第163	上原地区ノ子ノ二遺跡	和歌山県上	伊勢原市上杉町	オビシ(遺)	中世、近世	114-151・154・159- 165-171・176-194
伊勢第164	浅瀬第二段造成部 西宮・五ヶ丘遺跡	市街	伊勢原市下杉町、西宮 伊勢原市古高木寺尾根	築瓦葺、城壁 築布垂	江戸石葺→古墳 石石葺、縄文	62-63
伊勢第165	伊勢原市N_165遺跡	市街	伊勢原市南宮町	築布垂	古墳	52-133-140
伊勢第166	三ノ宮・上竹ノ内遺跡		伊勢原市三ノ宮字竹ノ内	寺社建	縄文、中世、近世	159-166・168-171・ 183-185
伊勢第167	上原地区ノ小山遺跡	三級	伊勢原市上杉町小山	城壁工、築布垂	縄文、奈良、平安、中世、近世	22-62-69-74
伊勢第169	伊勢原市N_167遺跡 伊勢原市N_169遺跡	三級 台地	伊勢原市上杉町車輪巻 伊勢原市上杉町	築瓦葺、築布垂 築布垂	縄文、古墳、中世	82-93-93-74
伊勢第170	池崎、寺久保遺跡 池崎、坂戸遺跡 池崎、湯山遺跡 池崎、坂戸遺跡 池崎、柳井遺跡 池崎、金山遺跡 伊勢原市N_170遺跡	台地	伊勢原市伊勢原一丁目 伊勢原市伊勢原四丁目 伊勢原市流津町神田 伊勢原市伊勢原五丁目 伊勢原市虎沢町野船越 伊勢原市伊勢原二丁目 伊勢原市川尻屋、伊勢原	築布垂 築瓦葺、築布垂 築瓦葺、築布垂 築布垂 筑石葺、築布垂 筑石葺 築瓦葺、築布垂	縄文、奈良、中世 縄文、奈良、中世、近世 縄文、古墳、奈良 石石葺、縄文 石石葺、縄文、弥生、古墳、奈良、中世 筑石葺、縄文、奈良、中世 石石葺、縄文、弥生、古墳、奈良、中世	28-30-32-35・41-46・ 67-82-99-101・107・ 111-117-118-122- 123-129-131・135- 136-139-140
伊勢第171	伊勢原市N_170遺跡		伊勢原市川尻屋、伊勢原	築瓦葺、築布垂	縄文、奈良、中世	
伊勢第172	西宮町・平島遺跡		伊勢原市西宮町平島	築瓦葺	縄文、弥生後→古墳期、古墳期→奈良、平安、中世、近世	179-180-185・189- 190-192→196
伊勢第173	伊勢原市N_172遺跡		伊勢原市川尻屋ノ上	築布垂	縄文	
伊勢第174	下原町・水谷遺跡		伊勢原市下平岡町、下平岡水谷村	築瓦葺	縄文、古墳、平安、中世	
伊勢第175	三人竹・塩場遺跡 三人竹・塩場遺跡 伊勢原市N_175遺跡	台地	伊勢原市三人竹 伊勢原市三人竹 伊勢原市三人竹	筑石葺、中世建物礎石 筑石葺、中世建物礎石 筑石葺、中世建物礎石	古墳、奈良、平安、中世、近世 古墳、奈良、平安、中世、近世 古墳、奈良、平安、中世、近世	21-23-28-30・31-38・ 41-43-45-48-52-60- 61-63-102-131
伊勢第177	伊勢原市N_177遺跡	台地	伊勢原市三人竹芝原	築布垂	縄文	
伊勢第178	三人竹・上竹ノ内遺跡 伊勢原市N_178遺跡	台地	伊勢原市三人竹ノ上戸 伊勢原市三人竹ノ上戸集	築布垂 築布垂	縄文、古墳、奈良、中世、近世 奈良	72-97-99-112-113
伊勢第179	伊勢原市N_179遺跡	台地	伊勢原市ノノ子ノ上戸集	筑石葺	縄文、古墳、奈良、中世	107
伊勢第183	太郎塚古墳遺跡	一	伊勢原市坂戸ノ大塚	土壇	古墳	
伊勢第190	伊勢原市N_190遺跡	台地	伊勢原市ノノ子ノ不謀保	築布垂	古墳	
伊勢第192	伊勢原市N_192遺跡	台地	伊勢原市上杉町西ノ引	土壇	古墳	
伊勢第194	伊勢原市N_194遺跡	台地	伊勢原市上杉町西ノ引	土壇	古墳	13
伊勢第195	上原地区ノ上原遺跡 伊勢原市N_195遺跡	台地	伊勢原市上杉町半上尾 伊勢原市上杉町宇田上原	筑石葺、築布垂 築布垂	石石葺、縄文、奈良、平安、中世 縄文、奈良、平安	18-52-59-61・78
伊勢第200	伊勢原市N_200遺跡	台地	伊勢原市上杉町宇田上原	築布垂	縄文、奈良、平安	63-83・102-144→146- 148-152-153・159- 160-163
伊勢第201	伊勢原市N_201遺跡	台地	伊勢原市上杉町宇田上原	築布垂	古墳	
伊勢第202	伊勢原市N_202遺跡	台地	伊勢原市上杉町宇田上原、注 上原地区ノ上原遺跡	築布垂	古代	70
伊勢第203	伊勢原市N_203遺跡	台地	伊勢原市上杉町宇田上原	土壇	古墳	
伊勢第204	伊勢原市N_204遺跡	台地	伊勢原市上杉町宇田上原	土壇	古墳	
伊勢第205	上原地区ノ上原遺跡	台地	伊勢原市上杉町宇田上原	築瓦葺、築布垂	縄文、平安、中世、近世	72-149-154・158-171・ 176-177・179-185- 188-189-192→196
伊勢第206	上原地区ノ上原遺跡	台地	伊勢原市上杉町宇田上原、ノ一ノ塚	築布垂	石	
伊勢第207	上原地区ノ上原遺跡	台地	伊勢原市上杉町宇田上原、ノ一ノ塚	築布垂	石石葺、縄文、古墳→奈良、平安、中世、近世	128-130-131・136- 137-142-154-158- 159-161→167-171→ 173-176-177・179- 184-185-186-188-190- →197
伊勢第208	伊勢原市N_208遺跡	台地	伊勢原市上杉町宇田上原	築布垂	縄文、弥生、古代	189-192-194
伊勢第210	伊勢原市N_210遺跡	三級	伊勢原市上杉町中丸	筑石葺	縄文	

- 34 殿村道跡発掘調査団 1989『神奈川県伊勢原市殿村道跡』相武考古学研究所
- 35 伊勢原市教育委員会 1990『文化財ノート』第1集
- 36 神奈川県教育委員会 1990『神奈川県埋蔵文化財調査報告』32
- 37 東海大学校地内道跡調査団 1990『中島道跡分布確認調査報告』『東海大学校地内道跡調査団報告』1
- 38 神奈川県教育委員会 1990『神奈川県埋蔵文化財調査報告』32
- 39 宮ノ根道跡発掘調査団 1990『伊勢原市市橋宮ノ根道跡埋蔵文化財発掘調査概要』
- 40 伊勢原市教育委員会 1991『伊勢原市文化財調査報告書』第16集
- 41 神奈川県教育委員会 1991『神奈川県埋蔵文化財調査報告』33
- 42 伊勢原市教育委員会 1992『文化財ノート』第2集-19 第2章 道路概観
- 43 神奈川県教育委員会 1992『神奈川県埋蔵文化財調査報告』34
- 44 上粕屋厚木線発掘調査団 1992『神奈川県伊勢原市長竹道跡』
- 45 神奈川県教育委員会 1993『神奈川県埋蔵文化財調査報告』35
- 46 伊勢原市教育委員会 1994『文化財ノート』第3集
- 47 一般県道上粕屋厚木線埋蔵文化財発掘調査団 1994『県道上粕屋厚木線交通安全施設等整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査伊勢原市No.14道跡 伊勢原市No.160道跡』
- 48 神奈川県教育委員会 1994『神奈川県埋蔵文化財調査報告』36
- 49 上粕屋厚木線埋蔵文化財発掘調査団 1994『県道上粕屋厚木線交通安全施設等整備事業に伴う埋蔵文化財調査』
- 50 八幡谷戸道跡調査団 1994『八幡谷戸道跡』
- 51 伊勢原市教育委員会 1995『三ノ宮・下尾崎道跡 三ノ宮・上栗原道跡発掘調査報告書-横穴墓群の調査-』
- 52 神奈川県教育委員会 1995 神奈川県埋蔵文化財調査報告』37
- 53 神成松道跡調査団 1995『神奈川県伊勢原市神成松道跡発掘調査報告書』
- 54 東海大学校地内道跡発掘調査団 1995『神奈川県伊勢原市都市計画道路県道大句石倉線内道跡』
- 55 坪ノ内横戸道跡発掘調査団 1995『坪ノ内横戸道跡埋蔵文化財発掘調査概要』
- 56 東海大学校地内道跡調査委員会、東海大学校地内道跡調査団 1995『伊勢原市下榎屋弥形・上ノ台道跡-東海大学健康科学部校舎建設に先立つ調査-』
- 57 難波 明ほか 1995『相模岡崎域総合調査報告書』伊勢原市教育委員会
- 58 伊勢原市上粕屋団地内道跡調査団 1996『神奈川県伊勢原市伊勢原上粕屋団地内道跡』
- 59 財団法人かながわ考古学財団 1996『年報2 平成6年度』
- 60 伊勢原市教育委員会 1996『文化財ノート』第4集
- 61 神奈川県教育委員会 1996『神奈川県埋蔵文化財調査報告』38
- 62 財団法人かながわ考古学財団 1996『年報3 平成7年度』
- 63 神奈川県教育委員会 1997『神奈川県埋蔵文化財調査報告』39
- 64 伊勢原市No.128道跡調査団 1998『神奈川県伊勢原市峠止橋道跡 県道63号(相模原大磯線)B道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査』
- 65 小野公所道跡発掘調査団 1998『小野公所道跡発掘調査報告書』
- 66 小野公所道跡発掘調査団 1998『小野公所道跡第2地点発掘調査報告書』
- 67 神奈川県教育委員会 1998『神奈川県埋蔵文化財調査報告』40
- 68 財団法人かながわ考古学財団 1998『東富岡・杉戸道跡(No.38) 東富岡・北三間道跡(No.4) 上粕屋・川上道跡(No.5・6) 上粕屋・三本松道跡(No.7) 上粕屋・川上西道跡(No.8)』かながわ考古学財団調査報告34
- 69 曾野No.1道跡発掘調査団 1999『曾野No.1道跡』東国歴史考古学研究所調査研究報告第23集
- 70 立花 美・手島真実 1998『登良山古墳再考』『東海史』33 東海大学史学会
- 71 粕上原土地区画整理事業区域内道跡埋蔵文化財発掘調査団 1999『神奈川県伊勢原市粕上原道跡発掘調査報告書』
- 72 神奈川県教育委員会 1999『神奈川県埋蔵文化財調査報告』41
- 73 上粕屋・三本松道跡調査団 1999『神奈川県伊勢原市上粕屋・三本松道跡 市営三本松住宅建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査』
- 74 財団法人かながわ考古学財団 1999『上粕屋・小山道跡(No.9・39) 三ノ宮・下御原道跡(No.12西) 上粕屋・引ノ東道跡(No.40) 上粕屋・引ノ南道跡(No.41)』かながわ考古学財団調査報告52
- 75 財団法人かながわ考古学財団 1999『三ノ宮・下谷戸道跡(No.14) I』かながわ考古学財団調査報告55
- 76 財団法人かながわ考古学財団 1999 上粕屋・上尾崎道跡(No.10) 上粕屋・引ノ北道跡(No.11) 上粕屋・引ノ西道跡(No.12東)』かながわ考古学財団調査報告56
- 77 財団法人かながわ考古学財団 1999『神戸・上宿道跡(No.15)』かながわ考古学財団調査報告57
- 78 東大竹・稲荷久保道跡発掘調査団 1999『東大竹・稲荷久保発掘調査報告書』
- 79 東大竹・下原道跡発掘調査団 1999『東大竹・下原道跡発掘調査報告書』
- 80 伊勢原市田中・向原発掘調査団 2000『伊勢原市田中・向原道跡』
- 81 伊勢原市No.160道跡発掘調査団 2000『伊勢原市No.160道跡発掘調査報告書 県道63号(相模原大磯線)道路改良工事に伴う事前調査』
- 82 神奈川県教育委員会 2000『神奈川県埋蔵文化財調査報告』42
- 83 財団法人かながわ考古学財団 2000『坪ノ内・貝ヶ窪道跡(No.18・19・43) 笠窪・谷戸道跡(No.20・42)』かながわ考古学財団調査報告67
- 84 財団法人かながわ考古学財団 2000『三ノ宮・下谷戸道跡(No.14) II』かながわ考古学財団調査報告76
- 85 財団法人かながわ考古学財団 2000『坪ノ内・宮ノ前道跡(No.16・17)』かながわ考古学財団調査報告77
- 86 沼田原之宿道跡発掘調査団 2000『原之宿道跡発掘調査報告書』
- 87 長谷曾野道跡発掘調査団 2000『長谷曾野道跡発掘調査報告書』
- 88 伊勢原市教育委員会 2001『いせはらの道跡 I』伊勢原市文化財調査報告第19集
- 89 伊勢原市内道跡調査団 2001『伊勢原市上粕屋・三本松道跡 第2次調査発掘調査報告書 市営三本松住宅建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査(追加調査)』
- 90 神奈川県教育委員会 2001『神奈川県埋蔵文化財調査報告』43
- 91 財団法人かながわ考古学財団 2001『田中・万代道跡』かながわ考古学財団調査報告103
- 92 財団法人かながわ考古学財団 2001『下榎屋・下町並道跡』かながわ考古学財団調査報告108
- 93 成瀬第二地区道跡調査会・都市基盤整備公団 2001『神奈川県伊勢原市成瀬第二地区道跡群下榎屋C地区第2・3地点発掘調査報告書』
- 94 神奈川県教育委員会 2002『神奈川県埋蔵文化財調査報告』44

- 95 成瀬第二地区道路調査会・都市基盤整備公団2002『神奈川県伊勢原市成瀬第二地区道路群下層ⅢC地区第1地点下層ⅢD地区Ⅲ山ⅢE地区発掘調査報告書』
- 96 有限会社鎌倉道調査会 2002『牛塚・下原線道路発掘調査報告書』
- 97 神奈川県教育委員会 2003『神奈川県埋蔵文化財調査報告』45
- 98 神奈川上谷戸道路第Ⅱ地点発掘調査会 2003『神奈川県伊勢原市東大竹・下谷戸道路第Ⅱ地点発掘調査報告書』
- 99 神奈川県教育委員会 2004『神奈川県埋蔵文化財調査報告』46
- 100 株式会社玉川文化財研究所 2004『東大竹・下原線第2地点発掘調査報告書』
- 101 財団法人かながわ考古学財団 2004『池端・榎山道路』かながわ考古学財団調査報告165
- 102 有限会社鎌倉道調査会 2004『伊勢原・北側道路第Ⅲ地点発掘調査報告書』
- 103 神奈川県教育委員会 2005『神奈川県埋蔵文化財調査報告』47
- 104 株式会社玉川文化財研究所 2005『神奈川県伊勢原市坂戸・宮ノ前道路 第Ⅱ地点』
- 105 株式会社玉川文化財研究所 2005『神奈川県伊勢原市東大竹・下谷戸(八幡台)道路の調査』
- 106 株式会社日本商業史研究所 2005『稲荷久保道路第Ⅲ地点』
- 107 神奈川県教育委員会 2006『神奈川県埋蔵文化財調査報告』49
- 108 株式会社日本商業史研究所 2006『稲荷久保道路第Ⅲ地点3・4次調査』
- 109 埋蔵文化財発掘調査支援共同組合 2006『坂戸・宮ノ前道路第Ⅲ地点』
- 110 神奈川県教育委員会 2007『神奈川県埋蔵文化財調査報告』51
- 111 株式会社日本商業史研究所 2007『神奈川県伊勢原市坂戸・八雲蔵道路第3地点』
- 112 株式会社日本商業史研究所 2007『東大竹・上谷戸道路第Ⅲ地点』
- 113 神奈川県教育委員会 2008『神奈川県埋蔵文化財調査報告』52
- 114 株式会社玉川文化財研究所 2008『坂台一丁目道路第Ⅳ地点』
- 115 株式会社玉川文化財研究所 2008『東大竹・下谷戸(八幡台)道路発掘調査報告書』
- 116 財団法人かながわ考古学財団 2008『下北原道路Ⅱ』かながわ考古学財団調査報告222
- 117 財団法人かながわ考古学財団 2008『年報15 平成19年度』
- 118 神奈川県教育委員会 2009 神奈川県埋蔵文化財調査報告』54
- 119 株式会社玉川文化財研究所 2009『原之宿道路第3地点発掘調査報告書』
- 120 株式会社玉川文化財研究所 2009『山道第Ⅳ地点発掘調査報告書』
- 121 東海大学校地内道路調査委員会 2009『伊勢原市下層Ⅲ上ノ台道路・東海大学医学部付属病院新病棟建設に先立つ埋蔵文化財発掘調査報告書』
- 122 財団法人かながわ考古学財団 2009『年報16 平成20年度』
- 123 神奈川県教育委員会 2010『神奈川県埋蔵文化財調査報告』55
- 124 株式会社玉川文化財研究所 2010『下層Ⅲ・上町道路第6地点発掘調査報告書』
- 125 株式会社玉川文化財研究所 2010『山道第5地点発掘調査報告書』
- 126 株式会社日本商業史研究所 2010『西富岡・向畑道路第2地点』
- 127 財団法人かながわ考古学財団 2010『下層Ⅲ・山道第(第6地点)』かながわ考古学財団調査報告260
- 128 神奈川県教育委員会 2011『神奈川県埋蔵文化財調査報告』56
- 129 株式会社日本商業史研究所 2011『東大竹・稲荷久保道路第4地点』
- 130 公益財団法人かながわ考古学財団 2011『年報17 平成21年度』
- 131 神奈川県教育委員会 2012『神奈川県埋蔵文化財調査報告』57
- 132 株式会社玉川文化財研究所 2012『東大竹・市場道路第9地点発掘調査報告書』
- 133 株式会社バスコ 2012『神成松道路第2地点』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書7
- 134 株式会社盤古堂 2012『坂戸・精選場道路第3地点』
- 135 公益財団法人かながわ考古学財団 2012『池端・坂戸道路』かながわ考古学財団調査報告281
- 136 公益財団法人かながわ考古学財団 2012『年報18 平成22年度』
- 137 神奈川県教育委員会 2013『神奈川県埋蔵文化財調査報告』58
- 138 公益財団法人かながわ考古学財団 2013『東富岡・西之窪道路 東富岡・南三間道路 東富岡・北三間道路第2地点』かながわ考古学財団調査報告290
- 139 公益財団法人かながわ考古学財団 2013『上粕屋・香々久保道路 上粕屋・一之郷上道路』かながわ考古学財団調査報告291
- 140 公益財団法人かながわ考古学財団 2013『子易・大坪道路 子易・町原裏道路』かながわ考古学財団調査報告292
- 141 公益財団法人かながわ考古学財団 2013『上粕屋・石倉中道路』かながわ考古学財団調査報告294
- 142 公益財団法人かながわ考古学財団 2013『年報19 平成23年度』
- 143 大成エンジェリング株式会社 2013 浄業寺跡』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書17
- 144 伊勢原市教育委員会・公益財団法人かながわ考古学財団 2014『伊勢原の道路調査報告会要旨』
- 145 神奈川県教育委員会 2014『神奈川県埋蔵文化財調査報告』59
- 146 株式会社玉川文化財研究所 2014『神成松道路第4地点』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書20
- 147 株式会社玉川文化財研究所 2014『下北原道路Ⅲ』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書27
- 148 株式会社バスコ 2014『神成松道路第5地点』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書23
- 149 公益財団法人かながわ考古学財団 2014『年報20 平成24年度』
- 150 公益財団法人かながわ考古学財団 2014『西富岡・向畑道路1』かながわ考古学財団調査報告298
- 151 公益財団法人かながわ考古学財団 2014『年報21 平成25年度』
- 152 大成エンジェリング株式会社 2014『上粕屋・島居崎道路』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書21
- 153 有限会社吾妻考古学研究所 2014『神成松道路第3地点』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書
- 154 神奈川県教育委員会 2015『神奈川県埋蔵文化財調査報告』60
- 155 株式会社玉川文化財研究所 2015『神成松道路第7地点』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書30
- 156 株式会社バスコ 2015『上粕屋・秋山上道路』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書29
- 157 株式会社バスコ 2015『上粕屋・島居崎道路第2次調査』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書33
- 158 公益財団法人かながわ考古学財団 2015『上粕屋・和田内道路第3次調査』かながわ考古学財団調査報告308
- 159 神奈川県教育委員会 2016 神奈川県埋蔵文化財調査報告』61
- 160 株式会社アーク・フィールドワークシステム 2016『神成松道路第9地点』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書51
- 161 株式会社玉川文化財研究所 2016『神奈川県伊勢原市三ノ宮・前畑道路第2地点発掘調査報告書』
- 162 株式会社玉川文化財研究所 2016 西富岡・長伊道路第2次調査 県道603号(上粕屋厚木)道路改良工事に伴う発掘

- 調査」神奈川県埋蔵文化財調査報告書42
- 163 株式会社玉川文化財研究所 2016『上粕屋・鳥居崎道跡第3次調査』神奈川県埋蔵文化財調査報告書48
- 164 株式会社バスコ 2016『上粕屋・和田内道跡第5次調査』神奈川県埋蔵文化財調査報告書47
- 165 公益財団法人かながわ考古学財団 2016『年報22 平成26年度』
- 166 公益財団法人かながわ考古学財団 2016『上粕屋・一之郷南道跡 上粕屋・和田内道跡』かながわ考古学財団調査報告書312
- 167 国際文化財株式会社 2016『上粕屋・和田内道跡第2次調査』神奈川県埋蔵文化財調査報告書40
- 168 大成エンジニアリング株式会社 2016『浄業寺路第2次調査 三ノ宮・上竹ノ内道跡』神奈川県埋蔵文化財調査報告書38
- 169 大成エンジニアリング株式会社 2016『神成松道跡第6地点』神奈川県埋蔵文化財調査報告書39
- 170 有限会社吾妻考古学研究所 2016『日向・東新田道跡』神奈川県埋蔵文化財調査報告書45
- 171 神奈川県教育委員会 2017『神奈川県埋蔵文化財調査報告』62
- 172 神奈川県埋蔵文化財センター 2017『平成29年度第3回考古学講座神奈川県発掘調査成果発表会2017』
- 173 株式会社玉川文化財研究所 2017『上粕屋・和田内道跡第7次調査』神奈川県埋蔵文化財調査報告書53
- 174 株式会社バスコ 2017『上粕屋・石倉中道跡第3次調査』神奈川県埋蔵文化財調査報告書57
- 175 株式会社バスコ 2017『上粕屋・石倉中道跡第4次調査』神奈川県埋蔵文化財調査報告書58
- 176 公益財団法人かながわ考古学財団 2017『年報23 平成27年度』
- 177 公益財団法人かながわ考古学財団 2018『年報24 平成28年度』
- 178 国際文化財株式会社 2017『西富岡・長竹道跡第4次調査』神奈川県埋蔵文化財調査報告書56
- 179 神奈川県教育委員会 2018『神奈川県埋蔵文化財調査報告』63
- 180 株式会社玉川文化財研究所 2018『西富岡・中島道跡』神奈川県埋蔵文化財調査報告61
- 181 株式会社玉川文化財研究所 2018『上粕屋・石倉下道跡』神奈川県埋蔵文化財調査報告63
- 182 国際文化財株式会社 2018『西富岡・中島2道跡第1次調査』神奈川県埋蔵文化財調査報告書67
- 183 大成エンジニアリング株式会社 2018『三ノ宮・上竹ノ内道跡第2次調査』神奈川県埋蔵文化財調査報告書64
- 184 大成エンジニアリング株式会社 2018 西富岡・中島2道跡第2次調査』神奈川県埋蔵文化財調査報告書68
- 185 神奈川県教育委員会 2019『神奈川県埋蔵文化財調査報告』64
- 186 株式会社玉川文化財研究所 2019『西富岡・長竹道跡第5次調査 上粕屋・石倉下道跡第2次調査』神奈川県埋蔵文化財調査報告書72
- 187 株式会社玉川文化財研究所 2019『西富岡・長竹道跡第3次調査』神奈川県埋蔵文化財調査報告書74
- 188 公益財団法人かながわ考古学財団 2019『年報25 平成29年度』
- 189 神奈川県教育委員会 2020『神奈川県埋蔵文化財調査報告』65
- 190 株式会社バスコ 2020『西富岡・中島道跡第3次調査 西富岡・中島道跡第4次調査 西富岡・長竹道跡第6次調査 西富岡・長竹2道跡第2次調査』神奈川県埋蔵文化財調査報告78
- 191 公益財団法人かながわ考古学財団 2020『東富岡・南三間道跡第2次調査 東富岡・北三間道跡第3地点 東富岡・東之窪道跡』かながわ考古学財団調査報告322
- 192 公益財団法人かながわ考古学財団 2020『年報26 平成30年度』
- 193 神奈川県教育委員会 2021『神奈川県埋蔵文化財調査報告』66
- 194 公益財団法人かながわ考古学財団 2021『年報27 令和元（平成31）年度』
- 195 神奈川県教育委員会 2022『神奈川県埋蔵文化財調査報告』67
- 196 公益財団法人かながわ考古学財団 2022『年報28 令和2年度』
- 197 公益財団法人かながわ考古学財団 2022『上粕屋・一ノ郷上道跡第2次調査 上粕屋・雷道跡 上粕屋・一ノ郷南道跡第2次調査』かながわ考古学財団調査報告328
- 198 公益財団法人かながわ考古学財団 2022『神成松道跡第8地点1』かながわ考古学財団調査報告331
- 199 大場磐雄・寺村光晴 1965『中郡北高森古墳』『東名高速道路埋蔵文化財調査概報』神奈川県教育委員会
- 200 寺村光晴 1970『神奈川県中郡北高森古墳』『日本考古学年報』18 日本考古学協会
- 201 久保智三 1985『伊勢原市小金塚古墳調査概報』『神奈川県埋蔵文化財調査報告』27 神奈川県教育委員会
- 202 久保智三 1985『伊勢原市小金塚古墳』『専修考古学』2号 専修大学
- 203 久保智三・後藤嘉八郎 1985『伊勢原市小金塚古墳』文化財調査報告書第9集 伊勢原市教育委員会
- 204 白金山道跡発掘調査団 1982『伊勢原市白金山道跡』白金山道跡発掘調査団
- 205 財団法人かながわ考古学財団 1988『御殿敷道跡第3地点（No.1）第4地点（No.2）第5地点（No.44）高森・一ノ崎道跡（No.37）高森・窪谷道跡（No.3）』かながわ考古学財団調査報告33
- 206 河合英夫ほか 1987『東高森・池端地区埋蔵文化財範囲確認調査報告』伊勢原市文化財調査報告書第12集 伊勢原市教育委員会
- 207 神奈川県教育委員会 1991『神奈川県埋蔵文化財調査報告』33 神奈川県教育委員会
- 208 菊川英次ほか 2003『神奈川県伊勢原市石田・大久保道跡』石田・大久保道跡発掘調査団・鎌倉道跡調査会
- 209 鎌倉 実 2003『神奈川県伊勢原市石田・大久保道跡第2地点～平成14年度都市計画道路石田小橋線沿線に係る埋蔵文化財調査～』有限会社鎌倉道跡調査会 石田・大久保道跡第2地点発掘調査団
- 210 高杉博章 2001『いせはらの道跡Ⅱ 高森・宮ノ越道跡』伊勢原市教育委員会
- 211 貝地美夫 2007『神奈川県伊勢原市高森・宮ノ越道跡第2次調査発掘調査報告書』株式会社アーク・フィールドワークシステム

第3章 調査経過

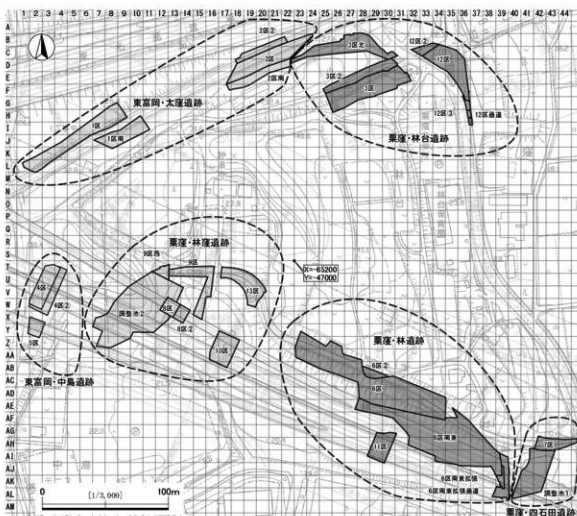
第1節 調査区の設定と調査の方法

栗窪地区の発掘調査は、現東名高速道路のランプ及び側道建設予定地、新東名高速道路本線のピア・側道・調整池建設予定地、市道付け替え部分等が対象となっており、平成22年10月1日～平成26年6月30日、平成26年8月1日～9月15日、平成28年5月1日～6月30日、平成29年12月1日～平成30年5月15日、令和元年10月1日～10月31日に実施した。調査期間は55ヶ月である。

発掘調査にあたっては、調査対象となった地区から順に1区・2区・・・と番号を付与し、最終的に13区まで番号を付した。また、障害物件等により部分的に着手時期が異なった箇所や本体工事の設計の変更等により追加された区域については、地区番号の後に丸番号（2区②・3区②・4区②・6区②・8区②・12区②・12区③）を付し、やや離れた箇所に位置する場合には地区名のあとに方角（1区南・2区南・3区北・6区南東・9区西）を付すことにした。さらに遺構の延伸により調査区が拡張となった場合には区名のあとに拡張（6区南東拡張）を付した。なお、調整池建設予定地については、地区番号を付与せず、調整池①区・調整池②区と呼称した。今回調査対象となった範囲は、いずれも伊勢原市№71遺跡（一部は伊勢原市№160遺跡）に含まれるが、調査箇所が初めからすべて決まっていたわけではなく徐々に増えていったこともあって、調査開始時に遺跡名称を決めることはせず伊勢原市№71遺跡として進めた。最後の調査区が13区となることが判った時点で伊勢原市との協議により、北東に位置する3区・12区は栗窪・林台遺跡、南に位置する6区・11区は栗窪・林遺跡、南東に位置する7区・調整池①区は栗窪・四石田遺跡、南西に位置する8～10区・13区・調整池②区は栗窪・林窪遺跡、北西に位置する1区・2区は東富岡・太窪遺跡、西側に位置する4区・5区は東富岡・中島遺跡と決定した。

調査に先立ち、世界測地系平面直角座標第IX系（測地成果2000）に基づいた10m四方のグリッドを設定した。基準点は東富岡地区の発掘調査時に打設（平成19年5月）された杭を使用した。グリッドの設定は調査範囲の北西端（X＝－65,010.00、Y＝－47,220.00）を起点として、北から南へ向かってアルファベットを用いて区分けし、Z以降についてはAA・AB・・・とした。西から東へ向かってはアラビア数字を用いて区分けし、A1グリッド、AA1グリッドのように呼称した。アルファベットはAL（X＝－65,390.00）まで、アラビア数字は45（Y＝－46,770.00）まで使用した。なお、調査区の設定は、事業者から提供された座標値（日本測地系IX系座標）を世界測地系に変換して行った。

発掘調査は、文化遺産課の試掘結果に基づき面的に行った。調査方法は地区によって若干異なるが、概ね表土をバックホウで除去後、遺構検出、遺構掘削、遺物包含層掘削（無遺物層については人力にてトレンチ掘削を行い遺物が出土しないことを確認した後重機を用いて掘削）の順に実施し、関東ローム上面に到達するまで遺構検出以下の作業を繰り返した。最後に調査面積の4パーセントを対象に旧石器時代のグリッド調査を実施し、遺物が出土しなければ調査を終了した。調査中、遺構・遺物が確認された場合には、測量・記録作成、写真撮影、遺物の取り上げ、各調査区における遺構全体の写真撮影を行っている。確認した遺構・遺物の測量には、(株)CUBICの遺構測量システムプログラム「遺構くん」を使用した。



第4図 栗窪地区における調査遺跡とグリッド設定図[1/3,000]
(伊勢原市地図 中日本高速道路株式会社道路計画図に加筆)

第2節 調査経過

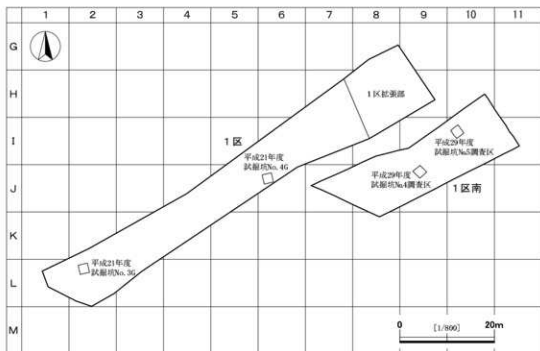
栗窪地区で調査対象となった遺跡は、栗窪・林台遺跡、栗窪・林道跡、栗窪・四石田遺跡、栗窪・林窪遺跡、東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡の6遺跡に及ぶが、本書では、東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡の3遺跡について報告する。

(1) 発掘調査の経過

東富岡・太窪遺跡

東富岡・太窪遺跡は、栗窪地区の北西側に位置する遺跡である。東名高速道路の南沿いに設置されるランプの範囲で、調査時に1区、2区と呼称していた箇所にあたる。

1区は富岡丘陵から字林台へ続く台地の北側縁辺に位置する。調査は1ヶ月の準備工を経て平成22年10月1日から開始した。図上で決めた当初面積は1,192㎡であったが、調査区設定の際調査区南側の斜面に調査区の一部がかかっていることが判明し、斜面崩落の可能性が考えられたため、調査は斜面の法尻までと



第5図 東富岡・太田道路 1区・1区南調査区設定図[1/800]

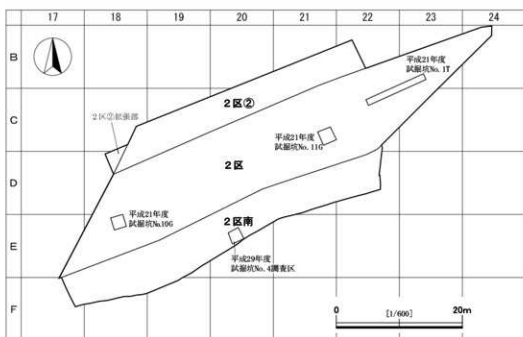
なり面積が減少した。また、調査区の20mほど東側で実施された試掘調査の結果、遺構が存在していないと予想されていた東端で遺構発見され、調査区外に続いていることが判明し、100mほど拡張することになるなど面積の変更が生じ最終的に941㎡となった。地形は概ね北側へ向かって傾斜しているが、調査区中央のI・J 3～6グリッド付近には小規模な谷が入り込んでおり、中世以前の土層が分厚く堆積しているのが確認されたため、南北に4本のトレンチを設定して掘り下げを行った。J 4・K 4グリッド付近では3mほど掘り下げても縄文時代と思われる土層までしか到達せず、遺物も出土しなかったことからそれ以上の掘削は行わなかった。関東ローム層が検出された部分については、旧石器時代の試掘を4箇所で行ったが、何も発見されなかった。調査は12月より東富岡・中島遺跡(4区)と同時に進めたことにより、平成23年3月31日まで実施した。

1区南は1区の1区の5mほど南東側に位置する。栗産地区の調査終了後の平成29年11月に造成工事が及ぶ可能性がある範囲について実施された試掘調査により、調査が必要と判断された箇所である。西側に東京電力(以下東電)の浜浜線28鉄塔が隣接していることから事前に東電に確認したところ、露出している基礎から17m離隔を取れば調査可能、17m以内については掘削方法・深度の確認が必要であり、判断までに長期間を要すると回答があった。このため、県文化遺産課・中日本高速道路株式会社と協議し、当面鉄塔基礎から17m外の調査を実施し、調査結果を踏まえて文遺課が17m内の調査範囲の要不要を再度確認することとなった。調査は平成30年1月より開始した。地形は北側に傾斜しており、表土直下は東西および南側で関東ローム層が確認されたが、中央部は北側に開く半円形の谷状の地形となっており、この部分に黒色土が残存していた。この黒色土とローム層の境界に沿って近世以降の溝状遺構が確認され、この溝を境として耕作痕とみられる小規模な溝状の遺構が検出された。中世は土坑1基と数基のピットが確認されたが、奈良・平安時代～縄文時代では、少量の遺物が出土したのみで遺構は発見されなかった。旧石器時代のグリッド調査は関東ローム層が検出された南側4箇所で行ったが、何も発見されなかった。鉄塔が

ら17m以内の範囲については、1月25日に文遺課の現地確認を受け調査不要となった。調査は3月15日に終了した。

2区は1区の90mほど東側に位置している。調査は平成23年6月1日より開始した。調査面積は当初811㎡であったが、南側が道路に接していたためセットバックして751㎡となった。地形は東側に緩やかに傾斜しているが、東側は段切りにより平坦面が造り出されていた。表土を除去すると、E17・18グリッド付近及び段切りによって造り出された平坦面はローム層まで削平されていた。当初東側に緩やかに傾斜していると考えていた地形は調査を進めていくうちに中央部分に小谷が存在し、奈良・平安時代以前の土層が厚く堆積していることが明らかとなったため、南北方向に4本のトレンチを設定して包含層掘削を実施することにした。その結果、遺構は認められず、遺物もほとんど出土しなかったことから、掘削方法を人力から機械へ変更し、弥生時代～古墳時代相当面まで掘り下げた。その後も関東ローム層が確認できる深さまで掘り下げを行うつもりであったが、調査区の南北の幅が狭く掘り下げが困難となり、最も深い部分では関東ローム層を確認することはできなかった。縄文時代の包含層掘削は土層が遺存している調査区中央付近を中心に実施した。土器片が数点出土したのみで遺構は検出されなかった。旧石器時代のグリッド調査は8箇所で行ったが、何も発見されなかった。調査は8月末で終了した。

2区②は、工事設計の見直しにより工事範囲が北側にずれたため、追加調査することになった箇所である。調査は平成26年度に実施する予定であったが、調査区の南側に接するように本体工事で発生した残土が高く積まれていて、安全面を考慮した調査を行うことが困難であったため残土除去後に調査を行うこととなった。平成27年度に残土が除去されたことを受け、平成28年5月1日に調査を開始した。今回の調査では前回の調査で発見されなかった奈良・平安時代の堅穴住居址が発見された。住居址は調査区の西端にあり、さらに調査区外に延びていた。調査区の20mほど西側は県文化遺産課の試掘調査で2m以上盛土されていることが明らかとなっていたが、遺構が西側へ続いていたことから調査範囲を拡張することとなった。拡



第6図 東宮岡・太窪道跡 2区・2区②・2区南調査区設定図(1/600)

張は、一旦堅穴住居址の全体が調査できるところまでとし、その後包含層が続いているようなら包含層が途切れるところまで行うことになったが、調査区南西端にある近世以降の段切りによって遺構が切られていることが明らかとなり、拡張はわずかな部分で済んだ。旧石器時代のグリッド調査は東側2箇所で行ったが、何も発見されなかった。調査期間は、調査範囲の拡張と堅穴住居址の調査を合わせて0.5ヶ月の延長となり6月15日まで実施した。

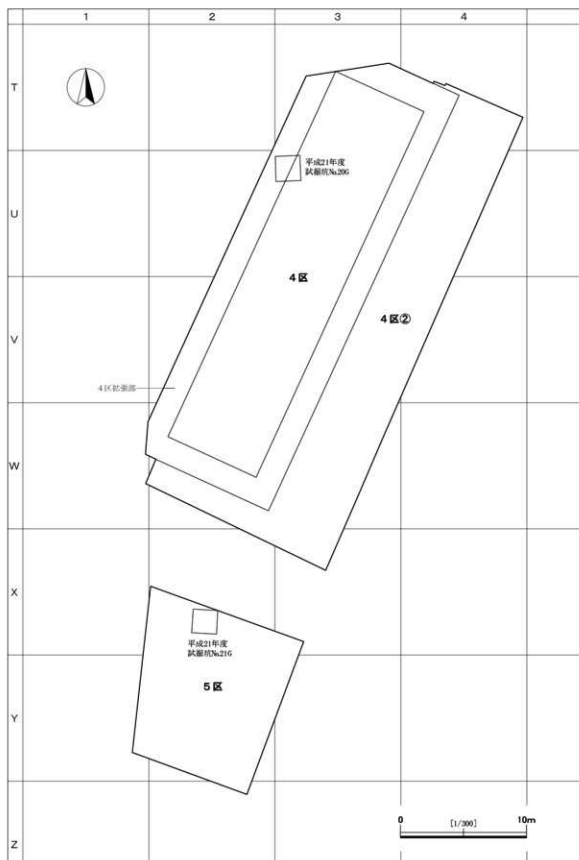
2区南は造成工事実施範囲のうち、平成29年11月に実施された試掘調査で調査が必要と判断された箇所である。調査は平成29年12月より開始した。本地区周辺は本体工事の残土置き場となっており、表土掘削と同時にこれらの土砂を撤去する必要があるため、表土掘削に0.5ヶ月を費やした。表土掘削中に2区南よりも優先度が高い1区南の調査着手が可能となったことから、調査は一旦中止し、1区南の調査を優先した。2区南の調査は平成30年3月16日に再開した。20～21グリッド列付近を中心に中世～奈良・平安時代と考えられるピットが多数確認された。縄文時代の調査では、遺構は確認されなかったが、調査区北東側の谷状地形を中心に土器片が出土している。旧石器時代の調査は、調査区北東の谷状地形を避け、中央から西側に3箇所のグリッドを設定して掘削を行った。その結果、谷状地形から最も離れたNo.9グリッドから石器4点が出土した。調査は平成30年5月15日に終了した。

東富岡・中島遺跡

東富岡・中島遺跡は、要産地区の西側に位置する遺跡で、調査時に4区・5区と呼称していた箇所にあたる。ともに本線の橋脚設置部分である。

4区は1区の80mほど南側に位置する。当初の調査面積は160㎡であったが、調査範囲に余振り部分が含まれていないことが明らかとなり、周囲を2mずつ拡張することになったため、調査面積は412㎡となった。調査は1区と並行して平成22年12月16日より開始した。地形は南向きに緩やかに下っており、近世の段切りによって3段のテラスが造り出されていたが、中世以前の地形は南東側に傾斜しており、近世以後とは様相が異なっていることが判明した。調査は遺構が検出された奈良・平安時代までは全面的に実施したが、古墳時代～縄文時代については東西に4箇所、南北に1箇所のトレンチを設定して包含層掘削を行い、遺構が発見された場合は全面調査を実施することとした。古墳時代～縄文時代の遺構は確認されなかったため、旧石器時代のグリッド調査を開東ローム層が検出された調査区西側の4箇所で行ったが、何も発見されなかった。調査は平成23年3月31日をもって終了した。

4区②は工事設計の見直しによって橋脚の設置箇所が東側にずれたため調査を実施することとなった箇所である。調査は、調査面積255㎡、調査期間1.5ヶ月の予定で平成25年6月1日から開始した。調査方法は4区と同様に奈良・平安時代までは全面調査、古墳時代～縄文時代については東西に6箇所のトレンチを設定して包含層掘削を行い、遺構が発見された場合は全面調査を実施することとした。その結果、U4グリッドに設定したトレンチから縄文土器を伴う土坑1基が検出されたため、遺構確認面まで全面的に掘り下げることとなった。他のグリッドから遺構は発見されなかったことから、掘削は重機で行うこととなり、平成22年度の調査でセッバックをして調査が行えなかった部分も含め掘削した。旧石器時代のグリッド調査は2箇所で行ったが、1箇所から剥片1点が出土したため掘削範囲を東西に拡張したが、新たな遺物は発見されなかった。最終的に調査面積は376㎡に増加し、調査期間は1ヶ月の延長となった。調査は調査担当者の入れ替わりの関係で2週間の中断期間を挟んで8月末日まで実施した。



第7図 東宮岡・中島遺跡 4区・4区②・5区調査区設定図[1/300]

5区は4区の南側に近接する調査区で、調査面積は120㎡である。調査は平成23年1月に実施した。調査前は土丹を主体とする土で埋められ平坦面となっていたが、表土を除去すると西側半分ほどは関東ローム層まで削平されていて、東側は南東に向かってやや急な角度で傾斜していることが明らかとなった。斜面地には中世以前の土層が堆積しており、掘削深度が2mを超えることが判明したため、セッバックして調査を進めたが、縄文時代後期頃までの土層しか確認できなかった。調査区からは中世や奈良・平安時代の遺構や遺物がわずかに発見されたのみであった。旧石器時代のグリッド調査は関東ローム層が確認された西側で実施したが、何も発見されなかった。調査は1月31日で終了した。

栗窪・林窪遺跡

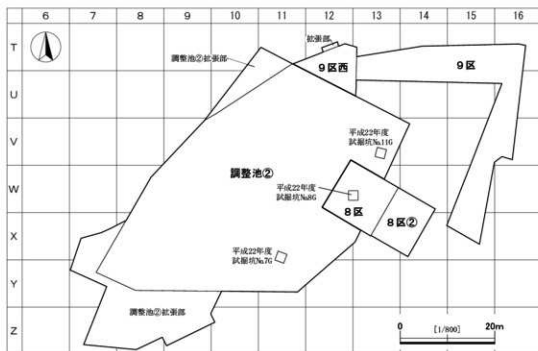
栗窪・林窪遺跡は、栗窪地区の南西側に位置する遺跡で、調査時に8区、9区、10区、13区、調整池②区と呼称していた箇所にあたる。8区・10区は本線橋脚設置箇所、9区は本線側道範囲の一部、13区は寺院参道へ取り付く側道設置範囲の一部、調整池②区は調整池設置範囲である。

8区は富岡丘陵から字林台へ続く台地の南側に広がる谷戸に位置している。調査は平成24年6月1日より開始した。調査面積は139㎡である。調査区は北側半分ほどが盛土されており、表土掘削深度が2mを超えてしまうことが明らかとなったため、調査区外の盛土部分を除去した後に表土掘削を行った。表土掘削後、近世〜中世の包含層掘削を実施したが、湧水したため水中ポンプを使用しながら作業を進めた。遺構は中世、奈良・平安時代の溝や土坑などが発見されたが、数的にはわずかであった。古墳時代以前の調査は調査区中央付近にトレンチを設定して行ったが、遺構は発見されなかった。本調査区では旧石器時代のグリッド調査は実施していない。調査は6月30日で終了した。

8区②は設計変更により橋脚の設置箇所が東にずれたことにより実施することになった調査区である。調整池②区と近接しており、調査は調整池②区と合わせて平成26年3月に実施した。調査面積は105㎡である。8区寄りの調査区西側の表土直下で杭列を伴う近世の溝状遺構が発見されたが、調査区の大部分は谷戸にあたり灰褐色〜青褐色を呈する第Ⅲ層以下には遺構が存在する可能性が少なかったため、第Ⅲ層以下はトレンチを設定して調査を進めた。トレンチからは中世、奈良・平安時代の遺物が少量出土したのみで遺構は発見されなかった。本調査区も旧石器時代のグリッド調査は実施していない。

9区は8区の北及び東側に隣接している。調査面積は、当初予定では498㎡であったが、参道側及び民地側をセッバックしたことにより462㎡となった。調査は平成24年7月1日に開始した。本調査区は北西から南東へ傾斜する谷戸地形を呈しており、中世の段階で北東側が北西側と同レベルまで埋められ、そこに遺構が構築されていることが判明した。遺構は上面で近世の溝・土坑、中世後半の井戸・土坑、下面で中世前半の溝状遺構・土坑等が検出された。下面は湧水が激しく、水中ポンプを使用しながらの調査となった。奈良・平安時代以前の調査はT15グリッド及びUV16グリッドにトレンチを設定して実施したが、遺構は何も発見されなかった。また、旧石器時代のグリッド調査は調査区北西の関東ローム層が検出されたT13・14グリッドで実施したが、何も発見されなかった。調査は、中世の遺構面が2面確認され、多数の遺構が発見されたことにより1ヶ月間の延長となり、9月末まで実施した。

9区西は側道工事着工前の埋文調査範囲の精査で未調査部分と判明した箇所を令和元年10月1日より調査を開始した。平成24年度に調査を実施した9区の西側に接する部分で、調査面積は当初予定では70㎡であったが、奈良・平安時代の遺構の一部が調査区外まで続いていることが判明し、部分的に拡張したため



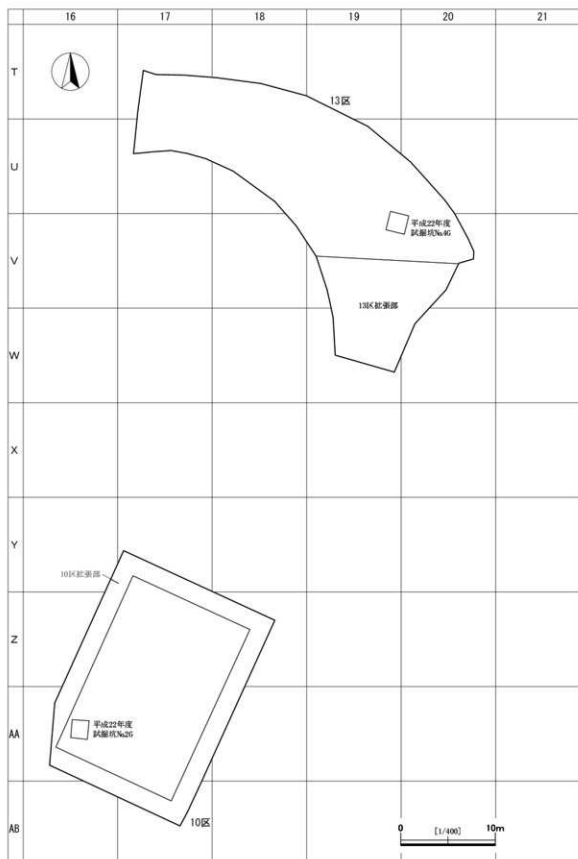
第8図 栗産・林産遺跡 8区・8区②・9区・9区西・調整池②区調査区設定図[1/800]

91㎡となった。調査区は北東に向かって傾斜しており、中世の包含層掘削の段階で湧水したため水中ポンプを使用しながら作業を進めた。旧石器時代のグリッド調査は調査区東寄りで行ったが何も発見されなかった。調査は10月31日に終了した。

10区は9区の20mほど南東に位置し、地形は北から南に向かって傾斜している。調査は平成25年1月から開始した。当初の調査面積は229㎡であったが、工事の設計変更と余掘り部分の追加により415㎡となった。また、当初想定していなかった奈良・平安時代の遺構が確認され、1.5ヶ月の調査期間中にすべての調査が行えない状況となったため、期間を延長することとなった。古墳時代以前の調査は、南北方向に3箇所、東西方向に1箇所のトレンチを設定して実施したが、遺構が発見されなかったことから全体の掘り下げは行わなかった。旧石器時代のグリッド調査は関東ローム層が検出された北側2箇所で行ったが、何も発見されなかった。調査は3月末で終了した。

13区は富岡丘陵から字林台へ続く台地の南側に位置している。西側には谷戸が入り込んでおり、地形は東から西に向かって傾斜している。調査は平成26年4月より開始した。本地区の調査面積は当初計画では380㎡で、調査期間は1.5ヶ月であったが、調査区の西側で近世と中世の遺構が多数発見されたことにより、0.5ヶ月間の期間延長となった。また、試掘調査により埋蔵文化財が確認されなかったため調査不要となっていた調査区南東側に遺構が延びていることが判明し、110㎡ほど拡張することになり調査期間はさらに0.5ヶ月延長された。奈良・平安時代～古墳時代の調査は、調査区西側のT・U17・18グリッドにトレンチを設定して実施したが、遺構・遺物とも発見されなかったため、中世面までの調査となった。旧石器時代のグリッド調査は関東ローム層が検出された調査区東側の2箇所で行ったが、何も発見されなかった。本調査区の最終的な調査面積は494㎡で、調査は6月15日まで行った。

調整池②区は9区の南側の低地際及び低地に位置している。南東側に谷戸が入り込んでおり、地形は南



第9図 栗窪・林窪道跡 10区・13区調査区設定図[1/400]

及び東に向かって傾斜している。調査は平成25年9月16日に開始した。当初の調査面積は1,877㎡であったが、調査を進めていくうちに遺構が調査区外へ展開していることが明らかとなり、北西隅を70㎡、南西隅を350㎡拡張することとなった。また、中世の遺構面が2面存在し、多数の遺構が検出されたこともあり調査期間は1.5ヶ月の延長となった。調査期間が延長となったことで中日本厚木工事事務所より本線工事に伴う杭打ち工事の作業エリアとして調査区北西側の先行引渡しが可能が打診された。協議の結果、約800㎡について2月末までに調査を終了させて引渡し、そのほかの部分については3月末まで調査を行うこととなった。奈良・平安時代以前の調査は、調査区の東側にトレンチを6箇所設定して実施したが、遺構は発見されなかった。旧石器時代のグリッド調査は関東ローム層が検出された西側4箇所で行ったが、何も発見されなかった。本調査区の最終的な調査面積は2,297㎡で、調査は3月末まで行った。

これをもって栗窪地区の調査は終了した。各遺跡の調査面積は栗窪・太窪遺跡が2,644㎡、東富岡・中島遺跡が908㎡、栗窪・林窪遺跡が4,004㎡で、全体では7,556㎡である。

第3表 栗窪・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡発掘作業工程表

2010(平成22)年度													
遺跡名(調査区名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	調査面積
東富岡・太窪(1区)													941㎡
東富岡・中島(4区)													412㎡
2011(平成23)年度													
遺跡名(調査区名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	調査面積
東富岡・太窪(2区)													751㎡
東富岡・中島(5区)													120㎡
2012(平成24)年度													
遺跡名(調査区名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	調査面積
栗窪・林窪(8区)													139㎡
栗窪・林窪(9区)													462㎡
栗窪・林窪(10区)													415㎡
2013(平成25)年度													
遺跡名(調査区名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	調査面積
東富岡・中島(4区②)													376㎡
栗窪・林窪(調整池②)													2,297㎡
栗窪・林窪(8区②)													106㎡
2014(平成26)年度													
遺跡名(調査区名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	調査面積
栗窪・林窪(13区)													494㎡
2016(平成28)年度													
遺跡名(調査区名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	調査面積
東富岡・太窪(2区②)													210㎡
2017(平成29)年度													
遺跡名(調査区名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	調査面積
東富岡・太窪(1区南)													435㎡
東富岡・太窪(2区南)													307㎡
2018(平成30)年度													
遺跡名(調査区名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	調査面積
東富岡・太窪(2区南)													
2019(令和元)年度													
遺跡名(調査区名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	調査面積
栗窪・林窪(9区西)													91㎡

合計調査面積7,556㎡

※2018年度 東富岡・太窪遺跡(2区南)は前年度からの継続調査

(2) 出土品等整理作業の経過

積算根拠に基づく栗窪地区6遺跡の出土品等整理作業は、通算53.5ヶ月である。

出土品等整理作業は、平成26年度に7.5ヶ月（7月1日から7月31日、同年9月16日から平成27年3月31日）実施した後、中断を挟んで令和2年4月に再開した。平成26年度は発掘調査が完了していなかったこともあり、それまでに調査が終了していた地区の記録図面類の整理、遺物の洗浄、注記作業といった基礎的な作業を実施した。整理作業の再開にあたって、各地区の整理方針の確認と、報告書体裁等の検討を行い、栗窪・林遺跡、栗窪・林台遺跡、栗窪・四石田遺跡の3遺跡を第1冊、東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡の3遺跡を第2冊として刊行することを決定した。また、体裁については、第1冊を第Ⅰ編 遺跡の概要、第Ⅱ編 栗窪・林遺跡の調査、第Ⅲ編 栗窪・林台遺跡の調査、第Ⅳ編 栗窪・四石田遺跡の調査、第Ⅴ編 自然科学（委託）分析、第Ⅵ編 まとめ、第2冊を第Ⅰ編 遺跡の概要、第Ⅱ編 東富岡・太窪遺跡の調査、第Ⅲ編 東富岡・中島遺跡の調査、第Ⅳ編 栗窪・林窪遺跡の調査、第Ⅴ編 自然科学（委託）分析、第Ⅵ編 まとめとすることとした。第1冊については令和5年3月28日に刊行した。

第2冊の出土品整理作業は、令和3年2月16日から上記の方針に沿って進めた。遺構の整理は、まず遺跡ごとの記録図面類の整理と遺構一覧表の作成を行い、時代別・遺構別の分類を行った。分類した遺構ごとに下図の作成、トレースを行い、仕上がった遺構から図版の作成を行った。図版の作成と並行して、現場で撮影した写真の整理を行い、その中から報告書掲載の写真を抽出して随時焼き付けを行ない、写真図版の作成を行った。

遺物の整理は、まず遺跡ごとに洗浄を行い、注記終了後に時代別、遺構別の分類を行った。この分類に沿って接合・復元作業を行い、報告書に掲載する遺物の抽出を行い、それぞれの遺物の実測を行った。遺物実測の終了後、観察表作成、トレース、遺物図版作成を行った。実測を行った遺物の中から写真撮影を実施するものの抽出を行い、写真撮影後に写真図版の作成を実施した。

出土した金属製品に関しては、クリーニング後セスキ脱塩水（炭酸水素ナトリウム、炭化ナトリウム）を使用した脱塩処理を実施した後、アセトンにバラロイドB72を10%溶かした液に浸け、真空乾燥装置による含浸強化作業を実施した。

遺構と遺物の整理と並行して、第Ⅰ編の遺跡の概要を執筆し、発掘作業の経緯と経過、遺跡と周辺の遺跡の概観をまとめた。各遺跡の遺構と遺物の原稿執筆は、図版の完成した地区から随時行い、まとめの原稿までを執筆した。遺物の一部は、樹種同定等の委託分析を実施した。各委託分析の結果報告は、第Ⅴ編を参照されたい。

東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡の出土品等整理作業は令和6年4月15日をもって終了した。

第4表 東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡出土品整理作業工程表

2021(令和3)年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
出土品等整理作業													
2022(令和4)年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
出土品等整理作業													
2023(令和5)年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
出土品等整理作業													
2024(令和6)年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
出土品等整理作業													
報告書刊行													

第Ⅱ編 東富岡・太窪遺跡

第1章 基本層序

1区・1区南

本地区は富岡丘陵から字林台へ続く台地の北側縁辺に位置する。地形は概ね北側へ向かって傾斜し下がっているが、近世以降の土地改変、流路や小谷の影響を受けて土層の堆積状況は東側、中央部、西側で異なっている。東側はG～H 7～9グリッド付近が平坦に削平されており、南東端は関東ローム層近くまで削平されていたが、北側には第Ⅲ層及び第Ⅶ層以下の土層が堆積していた。調査区中央のJ 4・5グリッド付近には小規模な谷が入り込んでおり、J 5グリッドに設定したトレンチでは中世以前の土層が分厚く堆積しているのが確認された。第Ⅲ層・第Ⅳ層は3層、第Ⅴ層～第Ⅶ層は2層に分層でき、4mほど掘り下げても縄文時代と思われる土層までしか到達しなかった。

西側はL 2・3グリッド付近が削平を受けており、表土直下は関東ローム層のL 2相当層であった。旧石器時代のグリッド調査で関東ローム層を掘削したところ、多数の地滑り痕が認められた。1区南は1区の5mほど南東側に位置する。1区に比べて標高は2mほど高い。地形は1区と同様に北に向かって傾斜し下がっており、調査区中央付近には小谷が入り込んでいる。

① G 9・J 5・L 1・I 9グリッド

第Ⅰ層 表土。

第Ⅱ層 茶褐色土 1～3mmの橙色スコリア微量、1～3mmの黒色スコリア微量、宝永スコリア含む。

粘性弱い。しまり弱い。近世堆積土。

第Ⅲ①層 茶褐色土 1～3mmの橙色スコリアやや多量、1～3mmの黒色スコリア微量含む。粘性あり。

しまりあり。上面で近世遺構確認。

第Ⅲ②層 茶褐色土 1～3mmの橙色スコリア多量、1～3mmの黒色スコリア微量含む。粘性あり。

しまりあり。中世遺物包含層。

第Ⅳ①層 茶褐色土 1～3mmの橙色スコリアやや多量、1～3mmの黒色スコリア微量含む。粘性あり。

しまりあり。中世包含層。

第Ⅳ②層 茶褐色土 1～3mmの橙色スコリア中量、1～3mmの黒色スコリア微量含む。粘性あり。

しまりあり。中世遺物包含層。

第Ⅴ①層 暗茶褐色土 1～3mmの橙色スコリアやや多量、1～3mmの黒色スコリア微量含む。暗青褐色

土ブロック微量含む。粘性あり。しまりあり。中世遺物包含層。

第Ⅴ②層 暗茶褐色土 1～3mmの橙色スコリアやや多量、1～3mmの黒色スコリア微量含む。暗青褐色

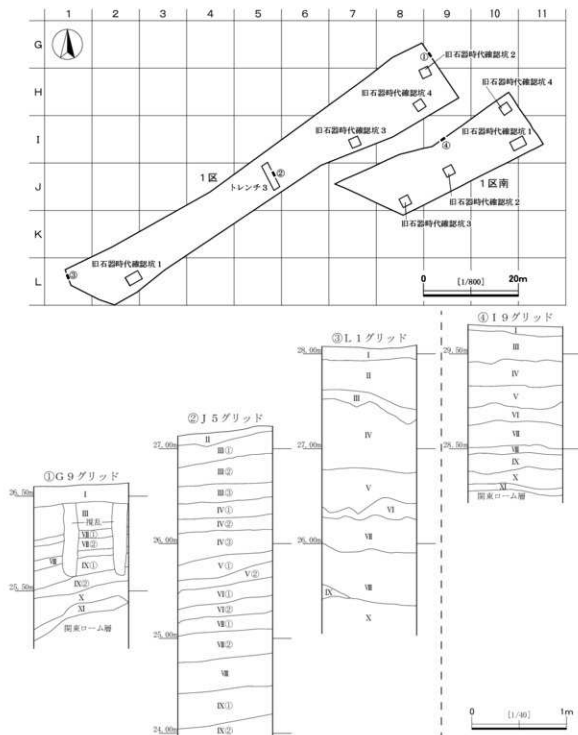
土ブロック少量含む。粘性あり。しまりあり。第Ⅴ①層より暗い色調。中世遺物包含層。

第Ⅵ①層 暗灰褐色土 1～5mmの黒色スコリア微量含む。粘性あり。しまりあり。中世遺物包含層。

第Ⅵ②層 暗灰褐色土 1～5mmの黒色スコリア少量含む。粘性あり。しまりあり。中世遺物包含層。

第Ⅶ①層 暗褐色土 1～3mmの橙色スコリア多量、1～5mmの黒色スコリア少量含む。粘性やや強い。

しまりあり。上面で中世遺構確認。



第10図 1区・1区南基本土層図[1/800・1/40]

第Ⅶ②層 暗褐色土 1～3mmの橙色スコリアやや多量、1～5mmの黑色スコリア少量含む。粘性やや強い。しまりあり。奈良・平安時代遺物包含層。

第Ⅶ①層 暗褐色土 1～3mmの橙色スコリア少量、1～5mmの黑色スコリア少量含む。粘性やや強い。しまりやや弱い。奈良・平安時代遺物包含層。

第Ⅶ②層 暗褐色土 1～3mmの橙色スコリア微量、1～5mmの黑色スコリア中量含む。粘性やや強い。

しまりやや弱い。上面で奈良・平安時代遺構確認。

第IX層 黒褐色土 1～3mmの橙色スコリア微量、1～8mmの黒色スコリア多量含む。粘性弱い。しまり弱い。弥生時代後期～古墳時代前期遺物包含層。

第X層 暗褐色土 1～3mmの橙色スコリアやや多量、1～5mmの黒色スコリア少量含む。粘性強い。しまりあり。縄文時代遺物包含層。

第XI層 暗茶褐色土 1～3mmの橙色スコリアやや多量、1mm以下の白色粒子微量含む。粘性やや強い。しまりやや弱い。上面で縄文時代遺構確認。

第XII層 茶褐色土 1～5mmの橙色スコリア少量含む。粘性強い。しまり強い。

第XIII層 明茶褐色土 1～5mmの橙色スコリア少量含む。粘性強い。しまりあり。ローム漸移層。

2区

本地区は富岡丘陵から字林台へ続く台地の北西に位置し、地形は北東に向かって傾斜している。北側は歌川支流の小支谷となっており、2区はこの小支谷の低地縁辺部に立地している。中央部分の20グリッド列付近には小規模な谷が入り込んでおり、近世以前の土層が堆積しているのが確認されたが、東側の22グリッド列付近及び南西側の18グリッド列付近は近世以降に削平を受けており、表土直下は関東ローム層であった。本地区では関東ローム層より旧石器時代の遺物が4点出土した。出土場所は調査区南西のE・F17・18グリッドである。関東ローム層は想定していたよりも北側に傾斜して堆積しており、出土層位付近で層滑り等により層位が乱れていることが確認された。また、拡張部南西隅で約30cm、西面中央で約50cmの層位にA層と滑り面が確認でき、この滑り面より上部の堆積が北側へ滑り落ちており、B1～L3相当層の堆積土が通常よりも堆積が薄く、部分的には複雑に混在していることが判明した。

① C20・D20グリッド

第I層 表土。

第II層 暗灰褐色土 1～2mmの橙色スコリア少量、1～3mmの黒色スコリア微量含む。粘性弱い。しまり弱い。上面で近世の遺構確認。

第III層 暗褐色土 1～2mmの橙色スコリア微量、1～3mmの黒色スコリア少量含む。粘性やや弱い。しまりやや弱い。中世遺物包含層。

第IV層 暗褐色土 1～2mmの橙色スコリア微量、1～3mmの黒色スコリア中量含む。粘性やや弱い。しまりやや弱い。上面で中世遺構確認。

第V層 黒褐色土 1～3mmの橙色スコリア少量、1～3mmの黒色スコリア中量含む。粘性やや弱い。しまりやや弱い。上面で奈良・平安時代遺構確認。

第VI層 暗褐色土 1～2mmの橙色スコリア少量、1～3mmの黒色スコリアやや多量含む。粘性やや強い。しまりやや強い。奈良・平安時代遺物包含層。

第VII層 黒褐色土 1～8mmの黒色スコリア多量含む。粘性弱い。しまり弱い。奈良・平安時代遺物包含層。

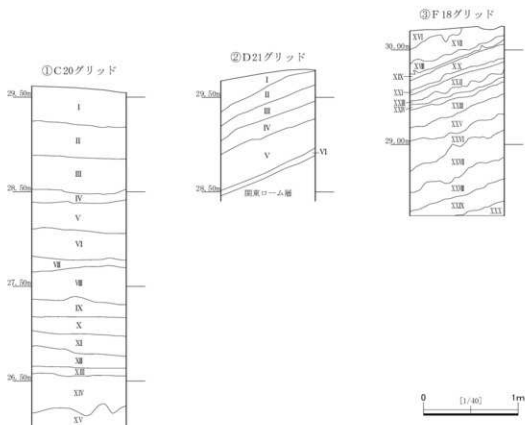
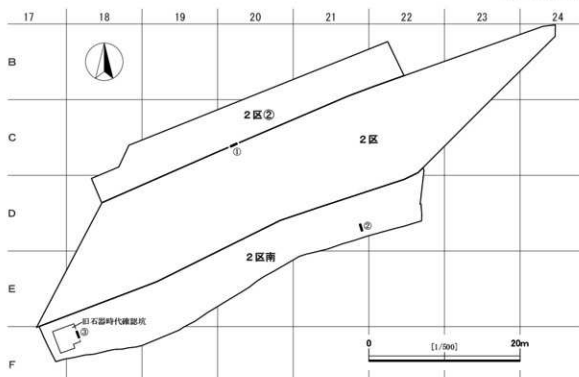
第VIII層 暗褐色土 1～3mmの橙色スコリアやや多量、1～3mmの黒色スコリア微量含む。粘性やや強い。しまりあり。古墳時代前期遺物包含層。

第IX層 暗褐色土 1～2mmの橙色スコリア中量、1～3mmの黒色スコリア微量含む。粘性やや強い。しまりあり。上面で弥生時代後期～古墳時代前期遺構確認。

- 第X層 茶褐色土 1～2mmの橙色スコリア微量含む。粘性あり。しまりあり。縄文時代遺物包含層。
- 第XI層 茶褐色土 1～5mmの橙色スコリア中量含む。粘性強い。しまり強い。縄文時代遺物包含層。
- 第XII層 茶褐色土 1～5mmの橙色スコリア少量含む。粘性強い。しまり強い。縄文時代遺物包含層。
- 第XIII層 明茶褐色土 1～5mmの橙色スコリア少量含む。粘性強い。しまりあり。ローム漸移層。
- 第XIV層 暗黄褐色土 1～5mmの橙色スコリア少量含む。粘性強い。しまりやや強い。L1S～B0相層。
- 第XV層 黄褐色土 1～3mmの橙色スコリア中量、1～8mmの褐色スコリア微量含む。粘性やや強い。しまり強い。L1H相当層。

② 2区南F18グリッド(旧石器)

- 第XVI層 橙褐色土 2～12mmの橙色のスコリアやや多量、2～15mmの黒色スコリアやや多量含む。粘性やや弱い。しまりやや弱い。B1相当層より上部のロームに相当。
- 第XVII層 淡黄褐色土 1～5mmの橙色スコリアやや多量、1～10mmの黒色スコリア少量、白色粒子微量、2～3mmの青灰色岩片微量含む。粘性やや強い。しまりやや弱い。L2相当層。
- 第XVIII層 黄褐色土 1～2mmの赤褐色スコリア多量、2～10mmの黒色スコリアやや多量含む。粘性やや弱い。しまりやや弱い。B2相当層。遺物出土。
- 第XIX層 滑り面 AT・S1Sスコリアを含み粘土化しており、やや軟質。
- 第XX層 黄白色土 1～10mmの橙色スコリア多量、2～8mmの黒色スコリアやや多量含む。部分的にATの密集あり。粘性やや強い。しまり強い。L3相当層。
- 第XXI層 滑り面 粘土化。
- 第XXII層 明淡褐色土 1～2mmの褐色スコリア多量含む。L3&B3相当層。
- 第XXIII層 淡褐色土 1～2mmの褐色スコリア多量、2～4mmの橙色スコリア少量、2～20mmの黒色スコリアやや多量、白色粒子多量含む。上部にATを多く含む。粘性弱い。しまり強い。B3相当層。
- 第XXIV層 滑り面 かなり硬質化。
- 第XXV層 淡褐色土 1～2mmの褐色スコリア多量、2～3mmの黄土色スコリア少量、2～20mmの黒色スコリア多量、白色粒子やや多量含む。粘性弱い。しまりかなり強い。B3相当層。
- 第XXVI層 明淡褐色土 1～2mmの褐色スコリアやや多量、2～5mmの橙色スコリア少量、2～12mmの黒色スコリアやや多量含む。粘性弱い。しまり強い。XXVI層から本層にかけて滑り面状の硬化部分が網目状に認められる。L4相当層。
- 第XXVII層 褐色土 2～5mmの橙色スコリア少量、2～12mmの黒色スコリア多量、1～2mmの褐色スコリア多量、白色粒子少量、青灰色岩片微量含む。粘性なし。しまり強い。B4相当層。
- 第XXVIII層 褐色土 2～8mmの橙色スコリア少量、2～15mmの黒色スコリア多量、1～2mmの褐色スコリア多量、白色粒子少量、青灰色岩片微量含む。粘性弱い。しまり強い。B4相当層。
- 第XXIX層 褐色土 2～5mmの褐色スコリアやや多量、2～10mmの黒色スコリア多量、1～2mmの褐色スコリア多量、白色粒子少量含む。粘性弱い。しまり強い。B4相当層。
- 第XXX層 褐色土 2～3mmの橙色スコリアやや少量、2～8mmの黒色スコリアやや多量、1～2mmの褐色スコリアやや多量含む。粘性弱い。しまり強い。B4相当層。



第11図 2区・2区②・2区南基本土層図[1/500・1/40]

第2章 発見された遺構と遺物

第1節 1区・1区南

1. 近 世

1区・1区南で発見された近世の遺構は溝状遺構26条、硬化面1ヶ所、畝状遺構1ヶ所、土坑3基、ピット10基、流路1条である。基本土層第II層で検出される。

1区・1区南は地形的に南から北へ低くなっており、遺構のほとんどは東側に集中している。さらに1区東側調査面は近代以降の擾乱を大きく受け、西側は中世から続く流路が存在しており、遺構面の残存度は低い。検出された遺構から耕作地として活用していることが伺える。

近世の出土遺物は、磁器碗72点(448.0g)、磁器皿10点(37.0g)、磁器小杯4点(12.6g)、磁器瓶類4点(12.8g)、磁器碗蓋1点(9.4g)、磁器蓋物1点(0.9g)、陶器碗18点(88.8g)、陶器仏飯器1点(23.0g)、陶器皿19点(111.0g)、陶器燈明皿3点(14.3g)、陶器壺1点(8.6g)、陶器播鉢4点(93.3g)、陶器鉢3点(63.4g)、陶器片口鉢5点(59.6g)、陶器甕1点(4.4g)、陶器土瓶3点(7.4g)、陶器徳利1点(11.1g)、陶器瓶類2点(3.5g)、金属製品(銅製引き手)1点(23.5g)、石製品(石臼・砥石)2点(100.1g)、鉄滓7点(130.0g)、動物遺存体(獣骨)2点(11.0g)である。なお、鉄滓については出土状況等から確実に中世の所産と判別出来るものはなかったため、近世の項で一括して表記した。総点数165点、総重量1,273.7gである。

遺物は遺構外からの出土が大半を占めている。

(1) 溝状遺構

K1号溝状遺構(第12・13図、図版4-2)

H6・7グリッド境南側で発見された。主軸方位はN-29°-Wを示し、検出面の標高は25.86mでK1号流路に切られている。南東から北西に延伸していると思われるが、南東側は確認できず、北西側は調査区外へ続いていることから詳細は不明である。検出規模は全長1.12m、幅0.60～0.82m、確認面からの深さは0.36mを測る。断面形は逆台形を呈している。

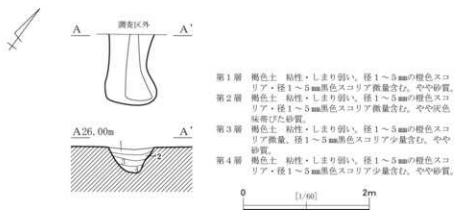
覆土はやや砂質の褐色土で4層に分層される。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、K1号流路に切られていることから近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K2号溝状遺構(第12・14図)

H～J10グリッド東側で発見された。北東上端をK4号溝状遺構に切られている。東側約0.45mにK3号溝状遺構が確認されている。確認された範囲での主軸方位はほぼN-13°-Eを示すが、南端部でN-63°-Eへ変化している。検出面の標高は30.61～30.86mである。北東側、南西側は調査区外へ延伸する。検出規模は全長14.80m、幅1.00～1.30mで方向が変わる南側の一部で0.50mと細くなる。確認面からの深さは0.10～0.17mを測る。断面形は浅い皿状を呈している。



第13図 1区K1号溝状遺構 [1/60]

覆土は暗茶灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K3号溝状遺構 (第12・15図)

I 10・11 グリッド境北側で発見された。西側約0.45mにK2号溝状遺構、北側約0.60mにK4号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-14°-Eを示し、検出面の標高は30.70mである。検出規模は全長4.04m、幅0.64～0.90mを測る。確認面からの深さは0.23mで、断面形は箱形を呈している。

覆土は暗茶灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。また、西壁が屈曲しているため溝状遺構としたが、所謂芋穴の可能性も考えられる。

K4号溝状遺構 (第12・15図)

H・I 10～11 グリッド境南側で発見された。北西側にK2号溝状遺構を切っている。南側約0.60mにK3号溝状遺構が確認されている。主軸方位は真北を示し、検出面の標高は30.35mである。北側は調査区外へ延伸する。検出規模は全長2.40m、幅0.80～1.10mを測る。確認面からの深さは0.20mで、断面形は箱形を呈している。

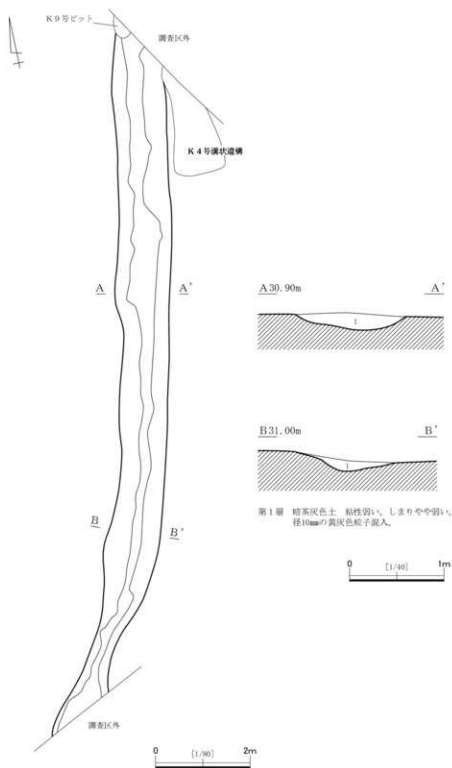
覆土は暗茶灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

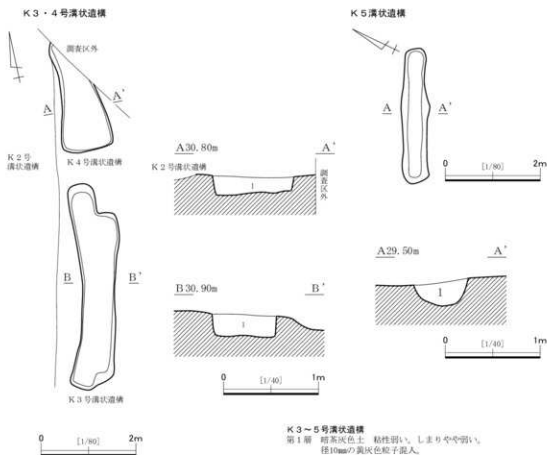
遺構の時期はK2号溝状遺構を切っていることから近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。また、西壁が屈曲しているため溝状遺構としたが、芋穴の可能性も考えられる。

K5号溝状遺構 (第12・15図)

J 7 グリッド中央で発見された。南側にはK7～13号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-65°-Eを示し、検出面の標高は29.34mである。検出規模は全長2.88m、幅0.46～1.04m、確認面からの深



第14図 1区南K2号溝状遺構[1/80・1/40]



第15図 1区南K3～5号溝状遺構[1/80・1/40]

さは0.25mを測る。断面形は形に碗形に近い。

覆土は暗茶灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

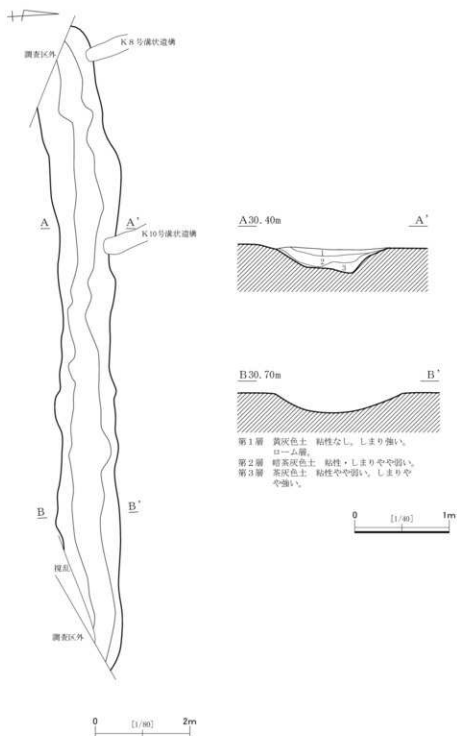
K6号溝状遺構(第12・16図、図版5-1)

J7～9グリッド南側で発見された。北側にはK7～15号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-90°-Eを示し、検出面の標高は29.24mである。西端、東端とも調査区外へ延伸しており、やや南側へ方向を変更する様相がみられる。検出規模は全長13.76m、幅1.20～1.50mを測る。確認面からの深さは0.12～0.22mで、断面形は北側が深くなる浅い皿状を呈している。

覆土は灰色土を基調に3層に分層される。

遺物は覆土から17世紀後半以降の肥前産陶器鉢1点(27.0g)が出土したが、小片のため図化していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。



第16図 1区南K 6号溝状遺構[1/80・1/40]

K 7号溝状遺構 (第12・17図)

J 7グリッド中央東寄りで発見された。北側をK 5号溝状遺構に切られ、南端は調査区外へ延伸する。東側約1.50 mにはK 8号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-19° -Wを示し、検出面の標高は29.50 mである。検出規模は全長3.70 m、幅0.28～0.40 m、確認面からの深さは0.10 mを測る。断面形は歪な逆台形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K 8号溝状遺構 (第12・17図)

J 7グリッド中央南西寄りで発見された。西側約1.50 mにはK 7号溝状遺構、東側約1.40 mにはK 9号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-19° -Wを示し、検出面の標高は29.93 mである。検出規模は全長2.50 m、幅0.28～0.38 m、確認面からの深さは0.20 mを測る。断面形は箱形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K 9号溝状遺構 (第12・17図)

J 8グリッド中央西端で発見された。西側約1.40 mにはK 8号溝状遺構、東側約1.70 mにはK 10号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-19° -Wを示し、検出面の標高は29.95 mである。検出規模は全長2.42 m、幅0.30～0.36 m、確認面からの深さは0.26 mを測る。断面形は箱形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K 10号溝状遺構 (第12・17図)

J 8グリッド中央西側で発見された。西側約1.70 mにはK 9号溝状遺構、東側約1.70 mにはK 11号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-19° -Wを示し、検出面の標高は29.24 mである。検出規模は全長3.18 m、幅0.28～0.38 mで、確認面からの深さは0.50 mを測る。断面形は箱形を呈している。

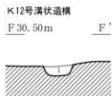
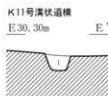
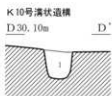
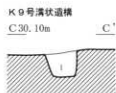
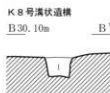
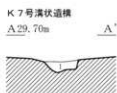
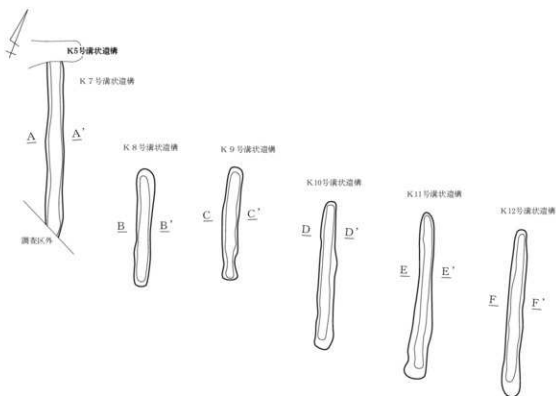
覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K 11号溝状遺構 (第12・17図)

J 8グリッド中央で発見された。西側約1.70 mにはK 10号溝状遺構、東側約1.60 mにはK 12号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-19° -Wを示し、検出面の標高は30.14 mである。検出規模は全長3.52 m、幅0.30～0.40 mで、確認面からの深さは0.15 mを測る。断面形は逆台形を呈している。



K 7～12号畝状遺構
第1層 暗黄灰色土 粘性弱い。しまりやや弱い。



第17図 1区南K 7～12号溝状遺構 [1/80・1/40]

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K 12号溝状遺構 (第12・17図)

J 8 グリッド中央東側で発見された。西側約1.60 mにはK 11号溝状遺構、東側約1.62 mにはK 13号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-19°-Wを示し、検出面の標高は30.18 mである。検出規模は全長3.52 m、幅0.30～0.40 mで、確認面からの深さは0.10 mを測る。断面形は皿状を呈している。

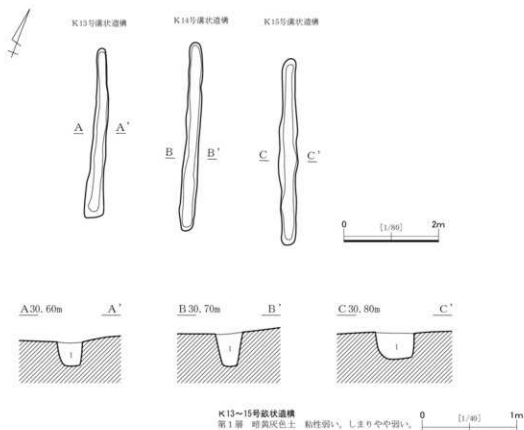
覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K 13号溝状遺構 (第12・18図)

J 8 グリッド中央東端で発見された。西側約1.62 mにはK 12号溝状遺構、東側約1.62 mにはK 14号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-19°-Wを示し、検出面の標高は30.39 mである。検出規模は全長3.60 m、幅0.20～0.40 mで、確認面からの深さは0.23 mを測る。断面形は箱形を呈している。



第18図 1区南K 13～15号溝状遺構 [1/80・1/40]

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K14号溝状遺構（第12・18図）

J9グリッド中央西端で発見された。西側約1.62mにはK13号溝状遺構、東側約1.60mにはK15号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-19°-Wを示し、検出面の標高は30.64mである。検出規模は全長4.00m、幅0.22～0.30mで、確認面からの深さは0.28mを測る。断面形は箱形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K15号溝状遺構（第12・18図）

J9グリッド中央北西寄りで発見された。西側約1.60mにはK14号溝状遺構、東側約2.00mにはK16号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-19°-Wを示し、検出面の標高は30.53mである。検出規模は全長4.00m、幅0.24～0.40mで、確認面からの深さは0.35mを測る。断面形は深さのある逆台形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K16号溝状遺構（第12・19図）

J9グリッド中央で発見された。西側約2.00mにはK15号溝状遺構、東側約1.84mにはK17号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-19°-Wを示し、検出面の標高は30.74mである。検出規模は全長2.56m、幅0.24～0.30mで、確認面からの深さは0.08mを測る。断面形は浅い箱形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

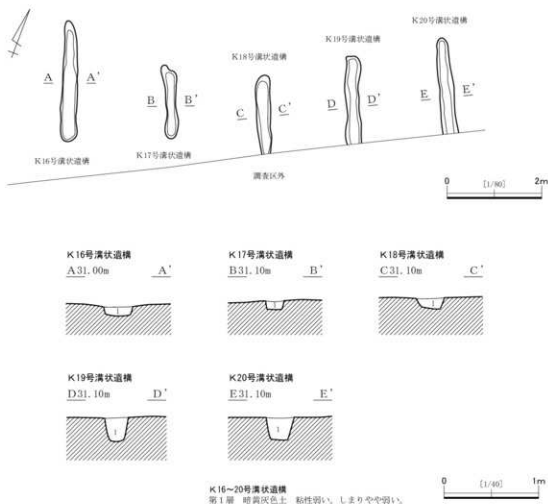
K17号溝状遺構（第12・19図）

J9グリッド中央北東寄りで発見された。西側約1.84mにはK16号溝状遺構、東側約1.62mにはK18号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-19°-Wを示し、検出面の標高は30.88mである。検出規模は全長1.60m、幅0.2～0.3mで、確認面からの深さは0.08mを測る。断面形は浅い箱形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。



第19図 1区南K16～20号溝状遺構[1/80・1/40]

K18号溝状遺構 (第12・19図)

J 9 グリッド中央東端で発見された。南端は調査区外へ延伸する。西側約1.62mにはK17号溝状遺構、東側約1.60mにはK19号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-19°-Wを示し、検出面の標高は30.89mである。検出規模は全長1.60m、幅0.22～0.30mで、確認面からの深さは0.12mを測る。断面形は浅い逆台形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K19号溝状遺構 (第12・19図)

J 10 グリッド北西端で発見された。南端は調査区外へ延伸する。西側約1.60mにはK18号溝状遺構、東側約1.62mにはK20号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-19°-Wを示し、検出面の標高は30.94mである。検出規模は全長1.80m、幅0.30mで、確認面からの深さは0.25mを測る。断面形は深さのある逆台形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K20号溝状遺構（第12・19図）

J 10 グリッド北西寄りで発見された。南側は調査区外へ延伸する。西側約1.62 mにはK19号溝状遺構、東側約1.90 mにはK21号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-19°-Wを示し、検出面の標高は30.94 mである。検出規模は全長2.02 m、幅0.24～0.30 mで、確認面からの深さは0.24 mを測る。断面形は逆台形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K21号溝状遺構（第12・20図）

J・I10 グリッド中央で発見された。西側約1.90 mにはK20号溝状遺構、東側約1.60 mにはK22号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-19°-Wを示し、検出面の標高は30.93 mである。検出規模は全長2.10 m、幅0.22～0.30 mで、確認面からの深さは0.05 mを測る。断面形は皿状を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K22号溝状遺構（第12・20図）

I 10 グリッド中央南側で発見された。西側約1.60 mにはK21号溝状遺構、東側約1.60 mにはK23号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-19°-Wを示し、検出面の標高は30.85 mである。検出規模は全長3.88 m、幅0.18～0.34 m、確認面からの深さは0.09 mを測る。断面形は浅い逆台形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

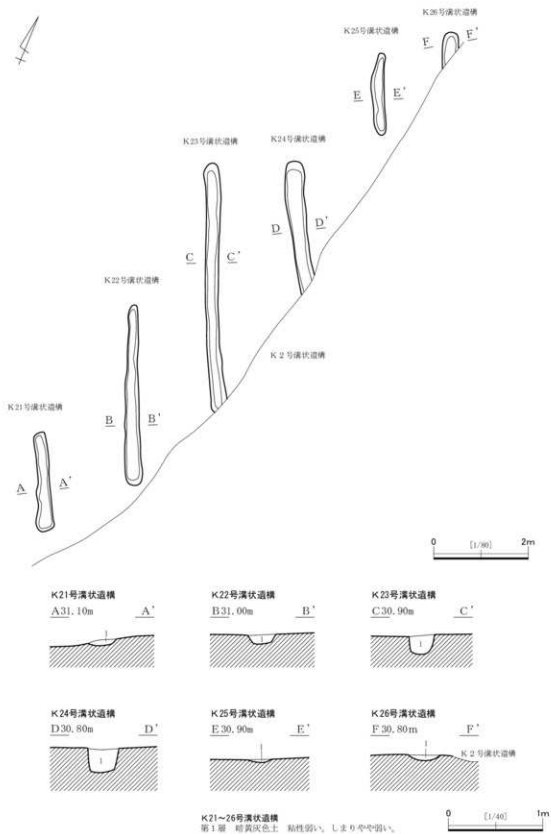
K23号溝状遺構（第12・20図）

I 10 グリッド中央で発見された。南東端を僅かにK2号溝状遺構に切られている。西側約1.60 mにはK22号溝状遺構、東側約1.70 mにはK24号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-19°-Wを示し、検出面の標高は30.74 mである。検出規模は全長5.22 m、幅0.28 mで、確認面からの深さは0.20 mを測る。断面形は逆台形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。



第20図 1区南K21～26号溝状遺構 [1/80・1/40]

K24号溝状遺構 (第12・20図)

I 10 グリッド北東寄りで見えられた。南側はK2号溝状遺構に切られている。西側約1.70mにはK23号溝状遺構、東側約1.60mにはK25号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-19°-Wを示し、検出面の標高は30.68mである。検出規模は全長2.80m、幅0.30～0.40mで、確認面からの深さは0.23mを測る。断面形は逆台形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K25号溝状遺構 (第12・20図)

H 10 グリッド南東端で見えられた。西側約1.60mにはK24号溝状遺構、東側約1.20mにはK26号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-19°-Wを示し、検出面の標高は30.65mである。検出規模は全長1.76m、幅0.12～0.22mで、確認面からの深さは0.05mを測る。断面形は皿状を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K26号溝状遺構 (第12・20図)

H 10 グリッド中央南東寄りで見えられた。南側はK2号溝状遺構に切られている。西側約1.20mにはK25号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-19°-Wを示し、検出面の標高は30.30mである。検出規模は全長0.58m、幅0.30mで、確認面からの深さは0.05mを測る。断面形は皿状を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

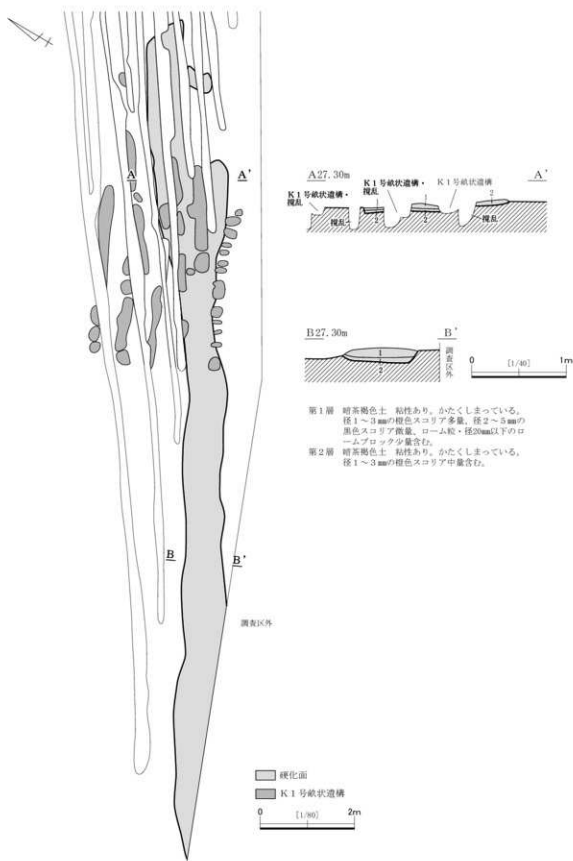
遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

(2) 硬化面**K1号硬化面** (第12・21図、図版5-2)

I 7・8 グリッドで見えられた。検出面の標高は27.11m～27.21mで、北東から南西にほぼ直線状に延びている。北東側は後世の掘削を受け、南西側は調査区外へ続いているため、全体を確認することはできなかった。北西側はK1号畝状遺構にも切られている。検出規模は全長18.0m、幅0.80～1.60mを測る。硬化面の厚さは約0.15mで、粘性のある暗茶褐色土である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と考えられる。K1号畝状遺構より古い道状遺構などの可能性が考えられるが、詳細は不明である。



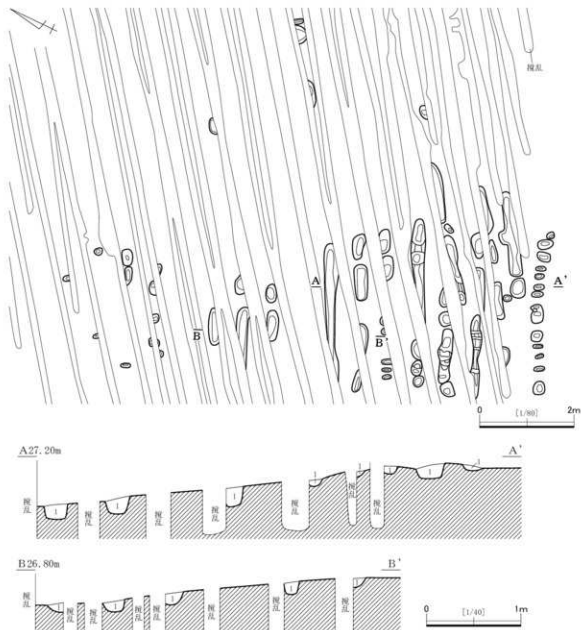
(3) 畝状遺構

K1号畝状遺構(第12・22図、図版6-1)

18グリッドで発見された。検出面の標高は26.45m～27.15mである。10m×8mの範囲に北東から南西に延びる幅約0.25m、深さ0.10～0.30mの溝状及びビット状の掘り込みが、0.35～0.50mの間隔で10列ほど並列していることが確認された。北東側は後世の攪乱を受け、全体を確認することはできなかった。確認面からの深さは0.10～0.40mで、断面形は逆台形を呈し、覆土は茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と考えられ、K1号硬化面よりも新しい所産である。



第1層 茶褐色土 粘性・しまりややあり。径1～3mmの橙色スコリア中量。径2～3mmの黒色スコリア・地山ブロック(黒褐色土)微量含む。やや砂質。

第22図 1区K1号畝状遺構[1/80・1/40]

(4) 土坑

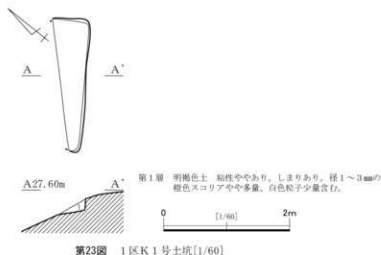
K1号土坑 (第12・23図、図版6-2)

L2グリッド中央やや西寄りで発見された。北側は削平を受けており全容は明らかではない。検出面の標高は27.57m、残存する規模は南壁長2.10m、東壁長0.60mを測る。確認面からの深さは0.20mを測る。底面はほぼ平坦で、断面形は箱型を呈する。

覆土は明褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と考えられるが詳細な時期等は不明である。



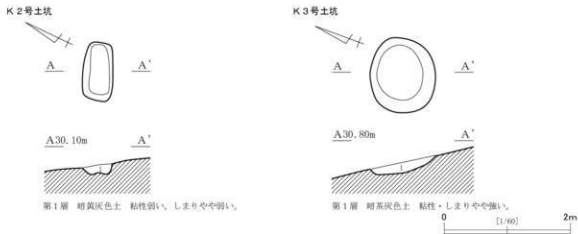
K2号土坑 (第12・24図)

J7グリッド南東寄りで発見された。検出面の標高は29.88mである。平面形は東西に長い長方形を呈し、長軸方位はN-70°-Eを示す。検出規模は長軸0.93m、短軸0.49mで、確認面からの深さは0.22mを測る。底面は凹凸があり、断面形は碗型に近い。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と考えられるが詳細な時期等は不明である。



K3号土坑(第12・24図、図版7-1)

J9グリッド北東寄りで見えられた。検出面の標高は30.65mである。平面形は東西に長い楕円形を呈する。検出規模は長軸1.19m、短軸1.05mで、確認面からの深さは0.16mを測る。底面はほぼ平坦で、断面形は浅い皿状を呈する。

覆土は暗茶灰色土の単層である。

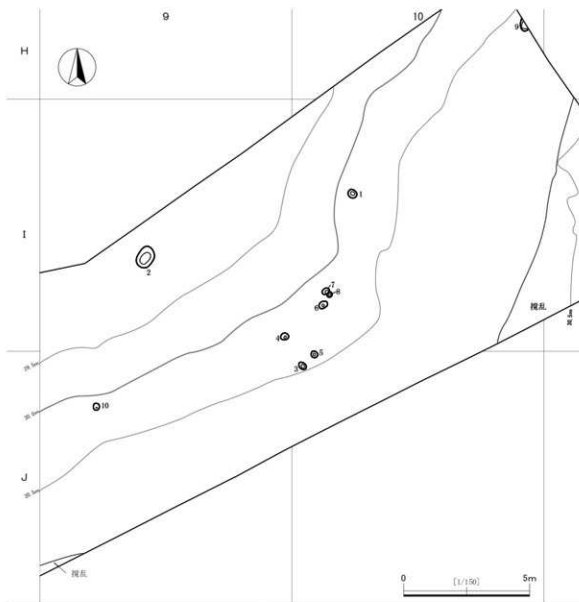
遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と考えられるが詳細な時期等は不明である。

(5) ビット(第12・25・26図、第5表)

近世のビットはH～J 9・10グリッドで10基発見された。

主にI 10グリッド西側に集中している。同グリッド付近には溝状遺構が存在するが重複はしていない。



第25図 1区南 近世ビット分布図[1/150]

K1号ビット



A 30.50m A'



第1層 暗黄灰色土 粘性やや弱い。しまりやや強い。径2～5mmの黄色または灰色粒子混入。

K2号ビット

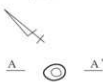


A 29.30m A'

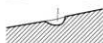


第1層 黒褐色土 粘性やや弱い。しまりやや強い。黄色または灰色ブロック混入。

K3号ビット



A 30.80m A'



第1層 黒灰色土 粘性やや弱い。しまり強い。

K4号ビット

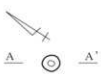


A 30.40m A'

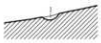


第1層 黒灰色土 粘性やや弱い。しまり強い。

K5号ビット



A 30.50m A'



第1層 黒灰色土 粘性やや弱い。しまり強い。

K6号ビット

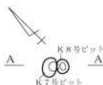


A 30.50m A'



第1層 黒灰色土 粘性やや弱い。しまり強い。

K7・8号ビット



A 30.40m A'



K7・8号ビット
第1層 黒灰色土 粘性やや弱い。しまり強い。

K9号ビット

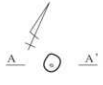


A 30.70m A'



第1層 暗茶灰色土 粘性やや弱い。しまりやや強い。黄灰色粒子混入。

K10号ビット



A 30.00m A'



第1層 茶褐色土 粘性・しまり弱い。



第26図 1区南K1～10号ビット[1/60]

第5表 1区南 近世ビット計測図〔第525・526図〕

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
K1号ビット	I10	0.36	0.32	0.19	円形	K6号ビット	I10	0.36	0.27	0.17	楕円形
K2号ビット	I9	0.88	0.63	0.24	楕円形	K7号ビット	I10	0.31	0.23	0.14	楕円形
K3号ビット	J10	0.35	0.25	0.14	楕円形	K8号ビット	I10	0.23	0.19	0.07	円形
K4号ビット	I9	0.33	0.28	0.18	円形	K9号ビット	H10	(0.51)	(0.36)	0.23	楕円形
K5号ビット	I10・J10	0.29	0.26	0.11	円形	K10号ビット	J9	0.28	0.24	0.60	方形

平面形は円形或いは楕円形で、確認面からの深さはほとんどが0.10～0.20mである。各々の検出規模については第5表にまとめている。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

(6) 流路(第12・27・28図、図版7-2・145-1)

調査区北側全体にあたる、I 5～7、J 4～6、K 2～4、L 1～2グリッドで発見された。本調査区は台地の北西側斜面地から低地際にあたり、その斜面地に堆積した砂質の強い堆積土をもつ範囲を流路とした。

検出規模は全長60.00m、幅1.00～5.20m、深さ1.20～1.34mを測る。断面から西へ向かって低くなることが確認され、本流路は北東から南西へ流れていることが判明した。

流路の時期を特定することは出来なかったが、西側には宝永スコリアが分厚く堆積している箇所があり、宝永火山灰降灰後に埋まった様子が窺えた。

遺物は、磁器碗20点(67.5g)、磁器小杯1点(1.7g)、陶器碗5点(12.2g)、陶器皿4点(16.9g)、陶器鉢1点(19.8g)、陶器片口鉢3点(26.8g)、陶器土瓶1点(0.6g)、陶器徳利1点(11.1g)、石製品(砥石)1点(20.6g)、総点数37点、総重量177.2gが出土し、そのうち2点を図化した。

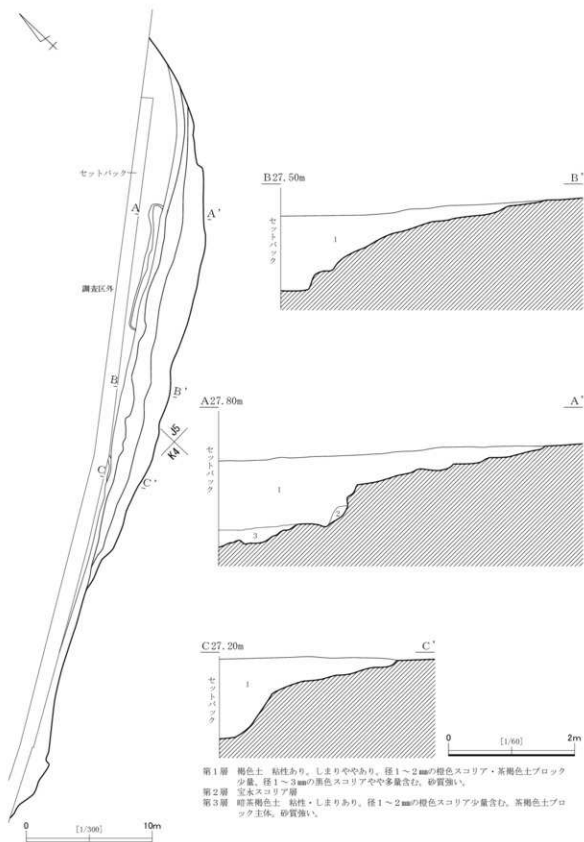
第27図1・2は肥前磁器染付碗の口縁部～体部である。ともに丸形の中碗で、1は外面に格子と玉文、2は外面に雪論文外面に書かれている。1、2とも18世紀の製品である。



第27図 1区K1号流路出土遺物〔1/3〕

第6表 1区K1号流路出土遺物観察表〔第27図〕

No.	器種	種別	□ 一現存品 □ 一復元物		重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)					
1	染付丸形碗	磁器	[11.0]	—	(3.4)	口縁部～体部上平1/5	肥前	18世紀	素地灰白色、密装成聚散 釉薬 呉須・透明釉 文様 格子・玉文
2	染付丸形碗	磁器	[10.0]	—	(4.5)	口縁部～体部1/6	肥前	18世紀	素地灰白色、密装成聚散 釉薬 呉須・透明釉 文様 雪文



第28図 1区K1号流路[1/300・1/60]

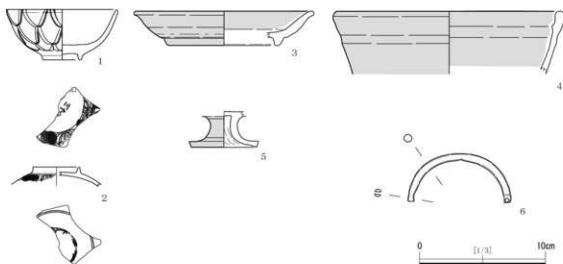
(7) 遺構外出土遺物(第29図、第7表、図版145-1)

近世の遺構外出土遺物は、磁器碗53点(389.9g)、磁器皿10点(37.0g)、磁器小杯3点(10.9g)、磁器瓶類4点(12.8g)、磁器蓋物1点(0.9g)、陶器碗13点(76.6g)、陶器仏飯器1点(23.0g)、陶器皿15点(94.1g)、陶器燈明皿3点(14.3g)、陶器壺1点(8.6g)、陶器挿鉢4点(93.3g)、陶器鉢1点(16.6g)、陶器片口鉢2点(32.8g)、陶器甕1点(4.4g)、陶器土瓶2点(6.8g)、陶器瓶類2点(3.5g)、金属製品(銅製引き手)1点(23.5g)、石製品(石臼)1点(79.5g)、鉄滓7点(130.0g)、動物遺存体(獣骨)2点(11.0g)である。総点数127点、総重量1,069.5gである。そのうち6点を図化した。

第29図1・2は肥前磁器碗・碗蓋である。1は小型の丸碗で外面に二重網目が描かれている。18世紀後半の製品である。2は外面には草花文、内面には二重圏線と松竹梅が描かれている。高台内には朱書で「川津」と記されており、また断面には焼き継痕が残る。19世紀前半の製品である。

第29図3～5は瀬戸・美濃産の灰釉陶器である。3は内外面施釉されているが、二次焼成を受けている様相が見受けられる。17世紀後半の製品である。4は片口鉢の口辺部片である。19世紀の製品である。5は仏飯器である。坏部底部から脚部が残存している。坏部内外面と外面脚部は施釉されている。18世紀前半の製品である。

第29図6は銅製品引き手であるが詳細は不明である。



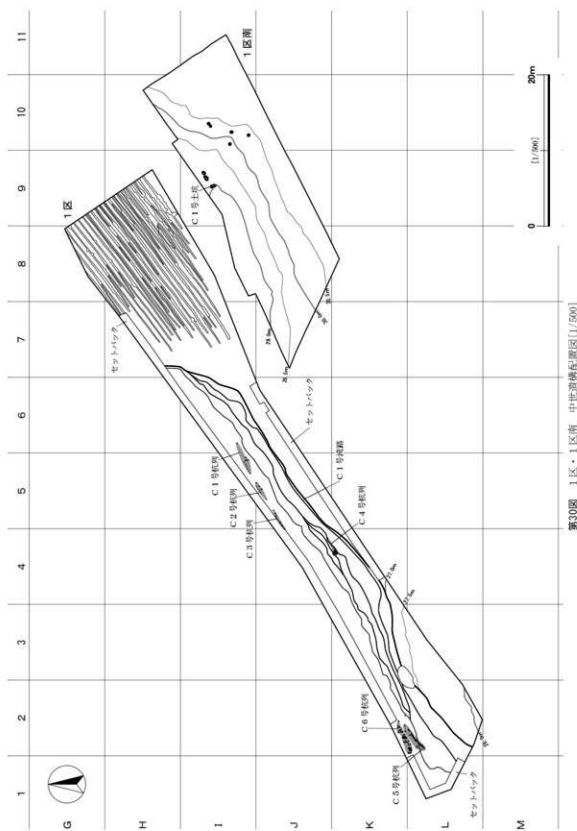
第29図 1区近世遺構外出土遺物[1/3]

第7表 1区近世遺構外出土遺物観察表〔第29図〕

No	器種	種別	() = 現存品 □ = 復元品		重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容	
			口径 (cm)	底径 (cm)						器高 (cm)
1	染付 丸形碗	磁器	8.5	2.9	4.0	62.4	1/2	肥前	18世紀 後半	素地 灰白色、密 焼成 堅緻 釉薬 白須・透明釉 文様 外面二重斜目文 出土位置 I・II層一括
2	染付 碗蓋	磁器	—	[3.6]	(1.5)	9.4	底部1/2 程度	肥前	19世紀 前半	素地 灰白色、密 焼成 堅緻 釉薬 白須・透明釉 文様 外面菫花文・見込二重圈線内松竹梅紫文 備考 焼離散、(川津)の朱書 出土位置 南北誌東区
3	灰釉 蹄反皿	陶器	[14.0]	[8.5]	2.7	20.9	口縁部～ 底部1/7	瀬戸・ 美濃	17世紀 後半	胎土 浅黄色、密、黒色粒子を含む 焼成 良好 釉薬 淡黄色灰釉 備考 高台硝化班 出土位置 J5gr
4	灰釉 片口鉢	陶器	[17.5]	—	(4.0)	20.4	口縁部～ 底部1/10	瀬戸・ 美濃	19世紀	胎土 浅黄色、密、黒色粒子を含む 焼成 良好 釉薬 淡緑色灰釉 出土位置 I・II層一括
5	灰釉 仏飯碗	陶器	—	[5.2]	(2.8)	23.0	脚部～底 部1/3	瀬戸・ 美濃	18世紀 前半	胎土 淡黄色、密、黒色粒子を含む 焼成 良好 釉薬 内面・脚部外面淡緑色灰釉 備考 脚部内無釉 出土位置 I・II層一括
No	種別	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	観察内容			
6	引き手	銅	7.8	0.6	0.6	23.5	残存度 端部欠損 備考 全体が弧状を呈し、断面形は円形、端部に径0.4cmの取り付け穴、片方は欠損 出土位置 M2gr			

2. 中世

1区・1区南で発見された中世の遺構は土坑1基、ピット7基、流路1、杭列6ヶ所である。基本土層



第VII①層上面で検出される。

1区・1区南は近世同様な地形的に南から北へ低くなっており、さらに1区東側調査面は近代以降の攪乱を大きく受け、遺構面の残存度は低い。また1区西側は流路が確認されており、この流路に伴うと考えられる杭列が発見されたほかは、遺構は確認されていない。1区南ではピットがわずかに確認されているが、中世において土地利用が少なかったことが伺える。

中世の出土遺物は、青磁碗2点(13.4g)、青磁鉢1点(14.7g)、白磁碗1点(9.1g)、白磁皿2点(11.0g)、陶器埴2点(20.8g)、陶器皿12点(122.1g)、陶器甕40点(1,340.7g)、陶器片口鉢7点(217.9g)、陶器播鉢7点(105.1g)、陶器鉢2点(24.7g)、陶器瓶類2点(10.8g)、陶器四耳壺1点(6.3g)、陶器器種不明2点(105.9g)、かわらけ92点(338.2g)、金属製品1点(11.6g)、銭貨2点(3.7g)、木製品1点、植物遺存体(種子)7点、総点数184点、総重量2,356.0gである。

(1) 土坑

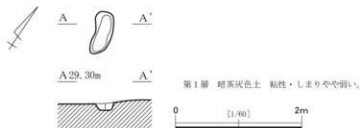
C1号土坑(第30・31図)

19グリッド中央で発見された。検出面の標高は29.00mである。平面形は不整楕円形を呈する。検出規模は長軸0.70m、短軸0.28m、確認面からの深さは0.10mを測る。底面はほぼ平坦で、断面形は逆台形を呈する。

覆土は暗茶灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から中世と考えられるが詳細な時期等は不明である。



第31図 1区南C1号土坑[1/60]

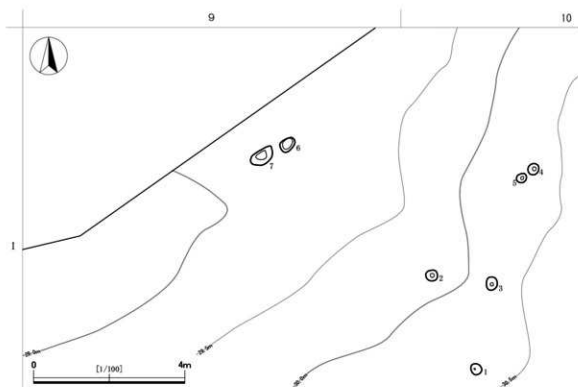
(2) ピット(第30・32・33図、第8表)

I9～10グリッドで7基発見された。他の箇所ではピットは検出されていない。

主にI10グリッド西側に集中しているが規則性などは見られない。P6、P7はセットバック内に延伸しているため全容は不明である。平面形は円形、楕円形が多く方形も確認される。各々の検出規模については第8表にまとめている。

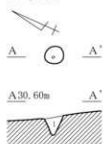
遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から中世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

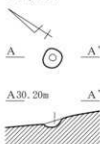


第32図 1区南 中世ビット分布図[1/100]

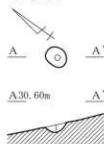
C1号ビット



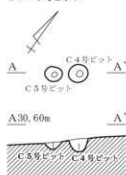
C2号ビット



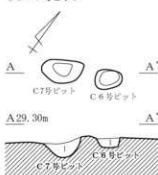
C3号ビット



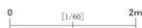
C4・5号ビット



C6・7号ビット



C1～7号ビット
第1層 暗茶灰色土 粘性・しまり強い。



第33図 1区南C1～7号ビット[1/60]

第8表 1区南 中世ビット計測表〔第32・33図〕

遺構名	グリッド	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	平面形	遺構名	グリッド	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	平面形
C1号ビット	G10	0.31	0.28	0.30	円形	C5号ビット	G10	0.28	0.24	0.15	円形
C2号ビット	G10	0.31	0.28	0.13	方形	C6号ビット	G9	(0.44)	(0.27)	0.21	楕円形
C3号ビット	G10	0.36	0.29	0.19	楕円形	C7号ビット	G9	(0.63)	(0.18)	0.28	楕円形
C4号ビット	G10	0.31	0.29	0.25	円形						

(3) 流路(第34図、図版8-1)

1区の約2/3にあたる、H7、I5～6、J4～6、K3～5、L1～3グリッドで発見された。本調査区は台地の北西側斜面地から低地際にあたり、その斜面地に形成されており、近世の流路より広範囲である。検出規模は長さ65.00m、幅4.00～7.00m、深さ0.40～0.83mを測る。断面から西へ向かって低くなることが確認され、本流路は北東から南西へ流れていることが判明した。

遺物は、陶器甕1点(24.7g)、片口鉢1点(22.1g)、かわらけ9点(26.2g)、総点数11点、総重量73.0gが出土したが、小片のため図化していない。

(4) 杭列

杭列は6か所確認された。すべてC1号流路に並行しており、この流路に伴うものと想定される。

C1号杭列(第35・36図、図版8-2)

I5～6グリッド南側で発見された12本の杭をC1号杭列とした。杭7～11の列は間隔は0.28～0.35mで流路に並行し、杭3～6の列は間隔0.10～0.20mで流路に直交して確認された。杭1と2の列は杭7～11の列の約0.50m南側に確認され、間隔は約2.25mである。

杭は残存長18～34cm、径2.5～4.0cm、先端加工は1面及び2面である。

C2号杭列(第37図)

J5グリッド北側中央で発見された11本の杭をC2号杭列とした。杭4～5、7～11の間隔0.25～0.40m、杭4～5、1～3の間隔はやや広めの0.55～0.60mで流路に並行するように確認された。杭1～3、4～6、7～9は0.15～0.20m離れて3列になっている。

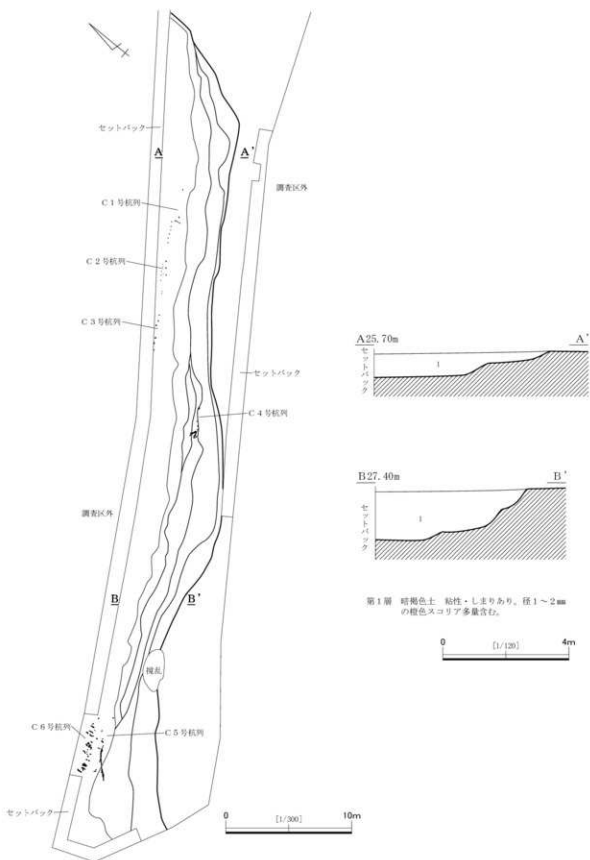
杭は残存長2.0～52.0cm、径2.0～4.0cm、先端加工は1面及び2面である。10、11は竹材を使用している。

C3号杭列(第38図、図版9-1)

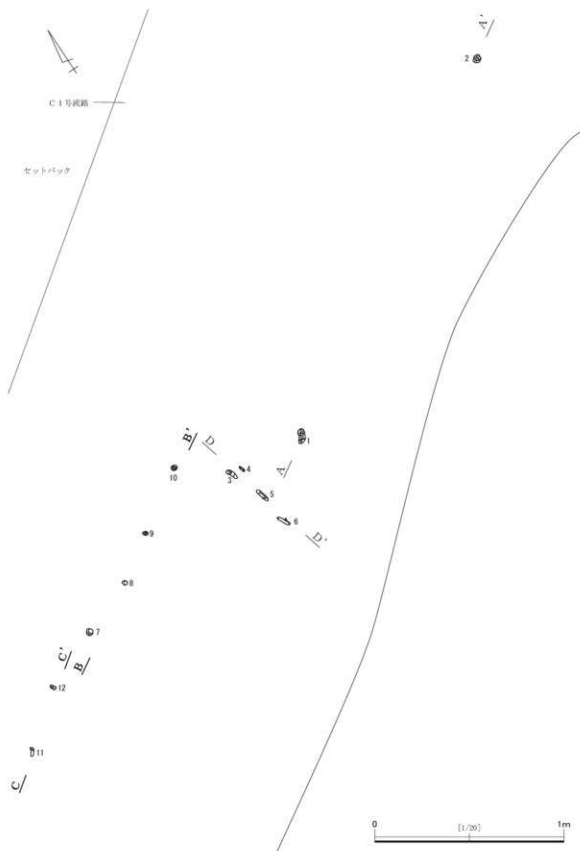
J5グリッド北西側で発見された6本の杭をC3号杭列とした。杭1～3の間隔は0.40～0.45m、杭4～6の間隔は0.45～0.60mで流路に並行するように確認された。

杭は残存長35.0～69.0cm、径4.0～6.0cm、先端加工は1面である。

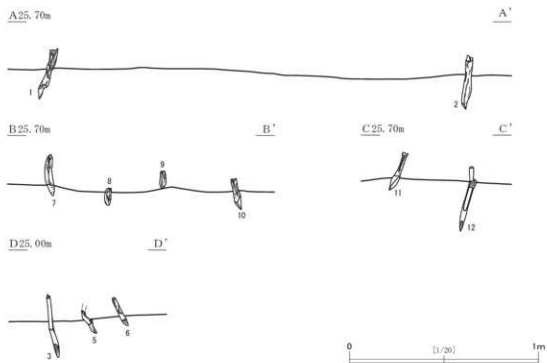
C1～3号杭列は杭列間に開きがあるが、使用している杭の規模の類似性や並びから一連のものと考えられる。



第34図 1区C1号流路[1/300・1/120]



第35図 1区C1号杭列(1) [1/20]



第36図 1区C1号杭列(2) [1/20]

C4号杭列 (第39図、図版9-2)

K4グリッド北側中央で発見された6本の杭をC4号杭列とした。杭1～3の列間隔0.30～0.40m、杭4と7の列間隔約0.50mの、杭3と8の列間隔約1.00mで流路に並行するように確認された。杭4と7の周辺には西へ倒れたか、流されたような破損した杭片が確認された。

杭は残存長35.0～64.0cm、径4.0～6.0cm、先端加工は1面である。小枝を払いきらない部材も使用している。

C5号杭列 (第40・42図、図版10-1)

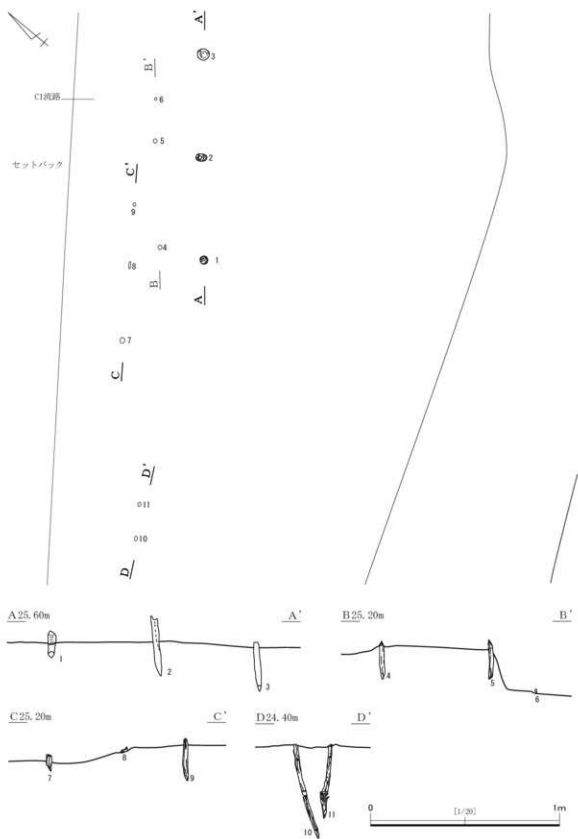
J・K2グリッド西側で発見された4本の杭をC5号杭列とした。杭1～3の列は間隔約0.60m、杭4と1の列間隔約1.50mで流路に並行するように確認された。周辺には西へ倒れたか、流されたような破損した木片が確認された。

杭は残存長38.0～49.0cm、径3.0～4.0cm、先端加工は1面及び2面である。

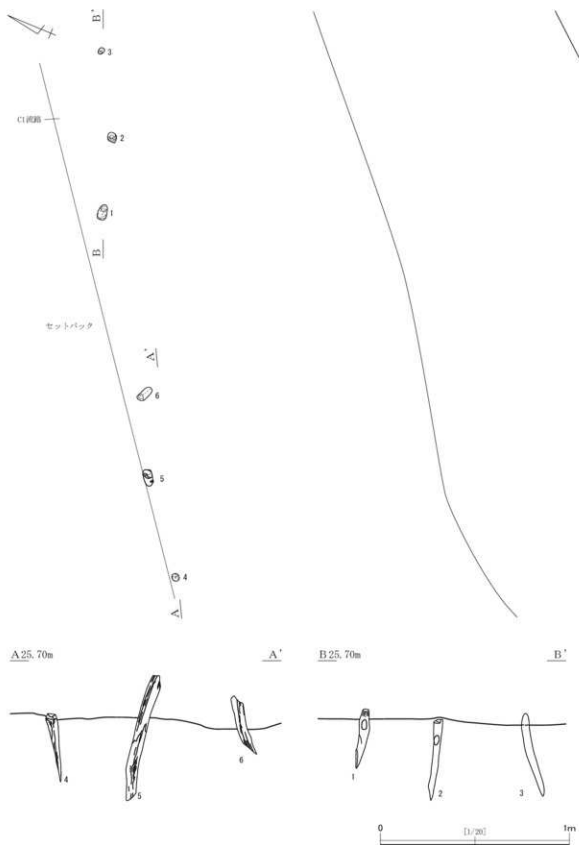
C6号杭列 (第41・43図、図版10-1)

J・K2グリッド西側で発見された13本の杭をC6号杭列とした。北側に倒れた状態の杭が多いが、しっかりと原位置を保った状態の杭も残っている。杭14～17の間隔は0.45～0.55m、杭17と24の間隔は約0.50m、杭18・9・20・10の間隔は0.15～0.35mで流路に並行するように確認された。

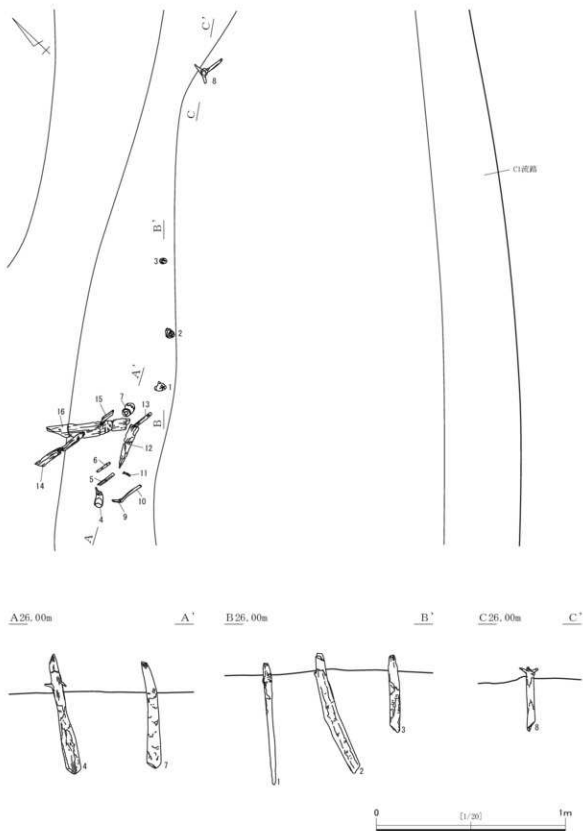
杭は残存長20.0～62.0cm、径3.0～6.0cm、先端加工は1面～4面である。特に杭15、16、17は径5.0～6.0cm、先端加工は4面で、他の杭より径が大きく先端加工も多く施されていることから杭の利用の違いがあると考えられる。



第37图 1区C2号杭列[1/20]



第38図 1区C3号杭列[1/20]



第39図 1区C4号杭列[1/20]



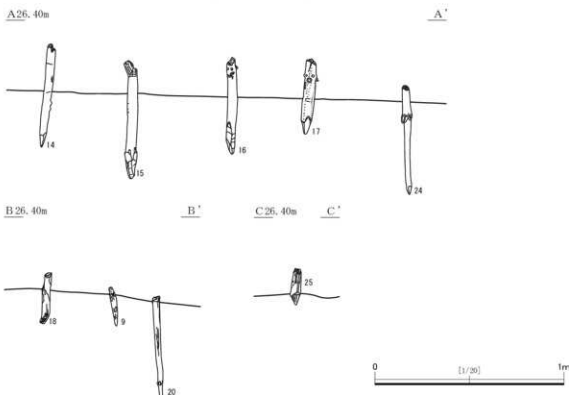
第40図 1区C5号杭列(1) [1/20]



第41図 1区C6号杭列(1) [1/20]



第42図 1区C 5号杭列(2) [1/20]



第43図 1区C 6号杭列(2) [1/20]

(5) 遺構外出土遺物(第44図、第9表、図版145-2・146-1)

中世の遺構外出土遺物は、青磁碗2点(13.4g)、青磁鉢1点(14.7g)、白磁碗1点(9.1g)、白磁皿2点(11.0g)、陶器碗2点(20.8g)、陶器皿12点(122.1g)、陶器甕39点(1,316.0g)、陶器片口鉢6点(195.8g)、陶器插鉢7点(105.1g)、陶器鉢2点(24.7g)、陶器瓶類2点(10.8g)、陶器四耳壺1点(6.3g)、陶器器種不明2点(105.9g)、かわらけ83点(312.0g)、金属製品(鉄製棒状)1点(11.6g)、銭貨2点(3.7g)、木製品(板状)1点、植物遺存体(種子)7点、総点数173点、総重量2,283.0gである。そのうち10点を図化した。

第44図1・2は舶載磁器で、1は青磁折縁鉢の口縁部破片で内面には花劃文が施される。2は白磁口禿皿の口縁部へ体部片で口禿部分には煤が付着している。13世紀～14世紀末の所産である。

第44図3・4は瀬戸・美濃産の陶器皿である。3は灰軸皿の底部で見込みには印花技法による「○」の中に「福」が施され、外面底部の高台内には重ね焼きの痕跡がみられる。16世紀後半の所産である。4は灰軸菊花皿の底部で見込みは重ね焼きの痕跡がみられる。16世紀後半の所産である。

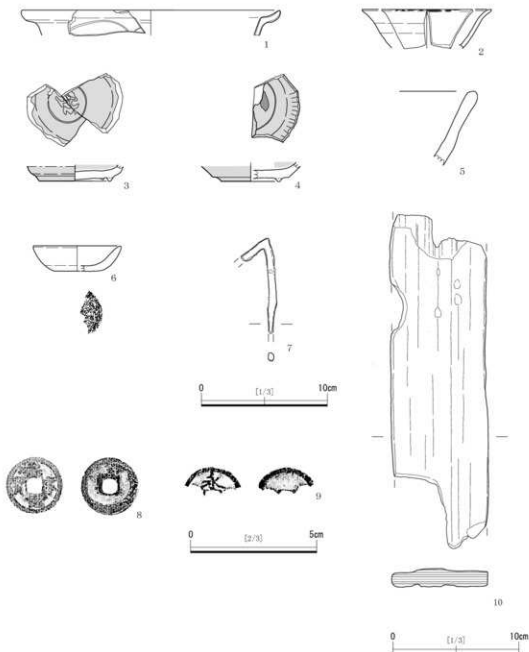
第44図5は陶器常滑産片口鉢の口縁部片である。13世紀中頃の所産である。

第44図6は小型のかわらけである。

第44図7は金属製品である。用途不明の棒状鉄製品である。上端が曲がっている。

第44図8・9は銅製の銭貨である。8は北宋銭の「熙寧元寶」で1068年初鋳造のものである。9は明銭の「永樂通寶」で1408年初鋳造のものである。

第44図9は板状木製品である。用途は不明であるが樹種はモミ属で、材料としては周辺での入手が容易で加工しやすいものである。(第V編第3章参照)。



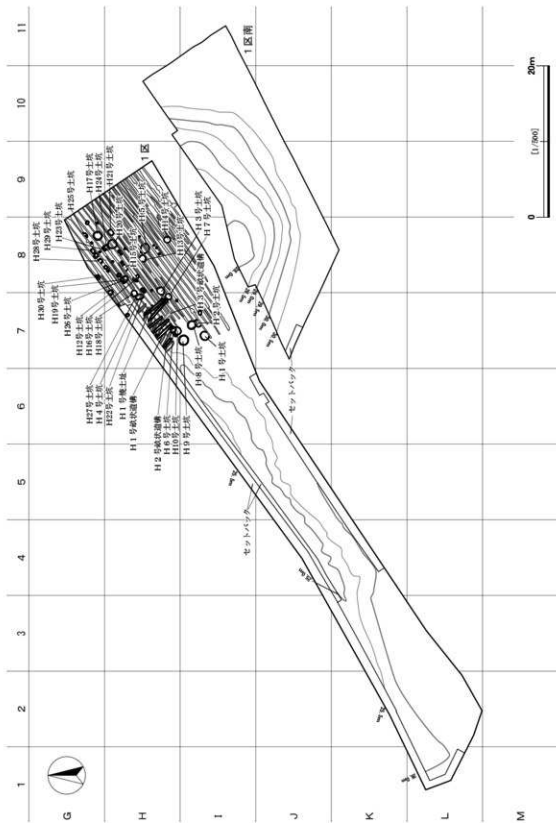
第44図 1区中世遺構外出土遺物[1/3・2/3]

第9表 1区中世遺構外出土遺物観察表〔第44図〕

№	器種	種別	() = 現存値 □ = 復元値		重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容	
			口径 (cm)	底径 (cm)						器高 (cm)
1	青磁 折縁鉢	磁器	[20.4]	—	(2.0)	14.7	口縁部 1/10	中国	中世	素地 灰白色、密 焼成 堅緻 釉薬 灰オリーブ青磁 備考 文様 劃花文 備考 内面 劃 花文 出土位置 16gr
2	白磁 口寛皿	磁器	[10.2]	—	(3.1)	6.8	口縁部～ 底部1/8	中国	13世紀 ～14世紀末	素地 灰白色、密 焼成 堅緻 釉薬 灰白色白磁 備考 口寛、口唇部内外面煤付青 出土位置 17gr
3	灰釉皿	陶器	—	5.5	(1.3)	40.7	底部1/4	瀬戸・ 美濃	16世紀 後半	胎土 淡黄色、密、黒色粒子・ 角閃石を含む 焼成 良好 釉薬 緑色灰釉 備考 高 台内輪形成 出土位置 一括
4	灰釉 菊花皿	陶器	—	[4.5]	(1.5)	23.2	底部1/3	瀬戸・ 美濃	16世紀 後半	胎土 淡黄色、密、黒色粒子・ 角閃石を含む 焼成 良好 釉薬 淡緑色灰釉 備考 高台内無輪 出土位置 一括
5	片口鉢	陶器	—	—	(5.9)	69.8	口縁部 破片	常滑	13世紀 中頃	胎土 褐灰色、密、小礫・ 白色スコリアを含む 焼成 良好 備考 片口鉢1類第2 段階 出土位置 K3gr
6	かわらけ	土器	[6.8]	[3.7]	2.0	12.4	1/4	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙、密、赤色スコリア・ 白色スコリア・角閃石を 含む 焼成 良好 備考 底 部回転糸切り痕不明瞭 出 土位置 一括
№	種別	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	残存度	観察内容		
7	棒状製品	鉄	(7.6)	0.4	0.7	11.6	残存度 両端部欠損	備考 くの字に折れ曲がる 出土位置 L1gr		
№	銭名	材質	銭径 (mm)	穿径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	残存度	観察内容		
8	熙寧元寶	銅	23.0	6.0	1.0	3.20	完形	鑄造地 北宋 初鑄年 1068年 備考 真書 出土位 置 L1gr		
9	永樂通寶	銅	(24.0)	(6.0)	0.80	0.50	1/4	鑄造地 明 初鑄年 1408年 出土位置 K4gr		
№	器種	種別	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	残存度	備考			
10	板材	モミ属	(26.4)	7.7	1.4	—	出土位置 H4gr			

3. 奈良・平安時代

1区・1区南で発見された奈良・平安時代の遺構は畝状遺構3ヶ所、土坑29基、焼土址1基、ピット32基である。基本土層第Ⅶ②層上面で検出される。



第45図 1区・1区南 奈良・平安時代遺構配置図[1/500]

1区・1区南は近世同様な地形的に南から北へ低くなっており、さらに1区東側調査面は近代以降の攪乱を大きく受け、遺構面の残存度は低い。また、1区南は谷地形となっており、遺構は確認されていない。

奈良・平安時代において調査区北東のみ耕作地として活用していることが伺える。

奈良・平安時代の出土遺物は、土師器坏20点(106.2g)、土師器甕37点(191.2g)、須恵器坏5点(27.8g)、須恵器蓋1点(9.4g)、須恵器甕27点(448.5g)、灰軸陶器埴7点(49.4g)、灰軸陶器瓶6点(47.7g)、鉄製品(鐵)1点(9.1g)、総点数104点、総重量889.3gが出土した。

遺物の出土量は少ない。

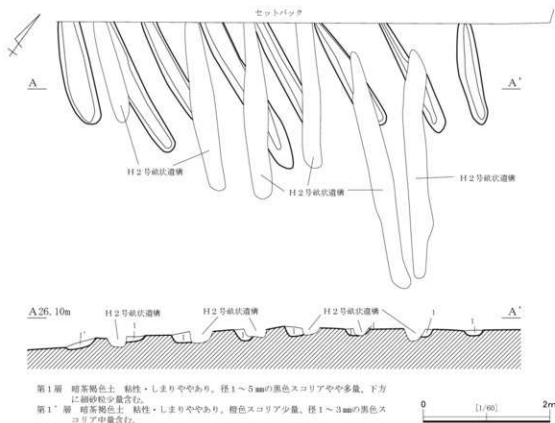
(1) 畝状遺構

H1号畝状遺構(第45・46図、図版1-2)

H7グリッド南東寄りに位置している。東西約6.60m、南北約2.00mの範囲に展開している概ね北西方向の畝状遺構である。南端部分のみの確認で、北側は調査区外へ広がると考えられる。H2号畝状遺構に切られている。主軸方位は $N-63^{\circ}-W$ を示し、検出面の標高は25.92mである。確認された規模は、長さ1.05～2.10m、幅0.25～0.45m、確認面からの深さは0.10～0.20mを測る。平面形態はほぼ直線状を呈する。底面はほぼ平坦で、断面形態は逆台形を呈する。壁はやや外傾しながら立ち上がる。

覆土は暗茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。



第46図 1区H1号畝状遺構[1/60]

遺構の時期はH2号畝状遺構に切られていることから奈良・平安時代の遺構と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

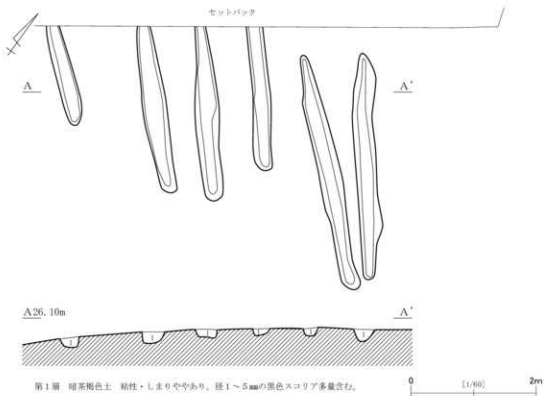
H2号畝状遺構 (第45・47図、図版10-2)

H7グリッド南東寄りに位置している。東西約5.20m、南北約3.80mの範囲に展開している概ね北西方向の畝状遺構である。南端部分のみの確認で、北側は調査区外へ広がると考えられる。主軸方位はN-45°-Wを示し、検出面の標高は25.94mである。確認された規模は、長さ1.10～3.75m、幅0.30～0.40m、確認面からの深さは0.10～0.20mを測る。平面形態はほぼ直線状を呈する。底面はほぼ平坦で、断面形態は逆台形を呈する。壁はやや外傾しながら立ち上がる。

覆土は暗茶褐色土の単層である。

遺物は、土師器片1点(2.1g)が出土したが、小片のため図化していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代の遺構と推定されるが、詳細な時期等は不明である。



第47図 1区H2号畝状遺構[1/60]

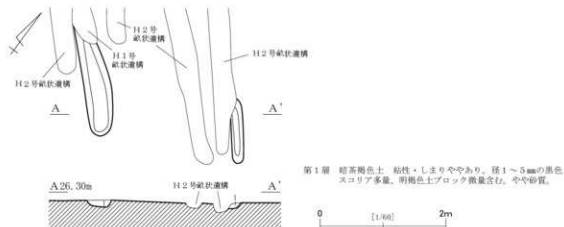
H3号畝状遺構 (第45・48図、図版10-2)

H7グリッド南東寄りに位置している。東西約2.60m、南北約2.50mの範囲に展開している概ね北西方向の畝状遺構である。南端部分のみの確認で、北側は調査区外へ広がると考えられる。H1、2号畝状遺構に切られている。主軸方位はN-48°-Wを示し、検出面の標高は26.13mである。確認された規模は、長さ1.00～1.75m、幅0.20～0.43m、確認面からの深さは約0.12mを測る。平面形態はほぼ直線状を呈する。底面はほぼ平坦で、断面形態は逆台形を呈する。壁はやや外傾しながら立ち上がる。

覆土は暗茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期はH1、2号畝状遺構に切られていることから奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。



第48図 1区H3号畝状遺構[1/60]

(2) 土坑

H1号土坑 (第45・49図、図版11-1)

I7グリッド中央北西寄りで発見された。南東側の一部は後世の擾乱により切られている。検出面の標高は26.63mである。平面形は円形を呈し、検出規模は径1.20m、確認面からの深さは0.24mを測る。断面は逆台形を呈する。底面は平坦だが、壁はやや急な角度で立ち上がっている。

覆土は暗褐色土と明褐色土の2層に分層され、上層が暗く下層が明るい。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H2号土坑 (第45・49図、図版11-2)

I7グリッド中央北西寄りで発見された。南東側は後世の擾乱により切られている。検出面の標高は26.60mである。平面形は南北に長い楕円形を呈すると想定される。検出規模は長軸1.07m、短軸0.60m以上で、確認面からの深さは0.07mを測る。断面は浅い皿状を呈すると思われる。底面はわずかに凹凸があり、壁は緩やかな角度で立ち上がっている。

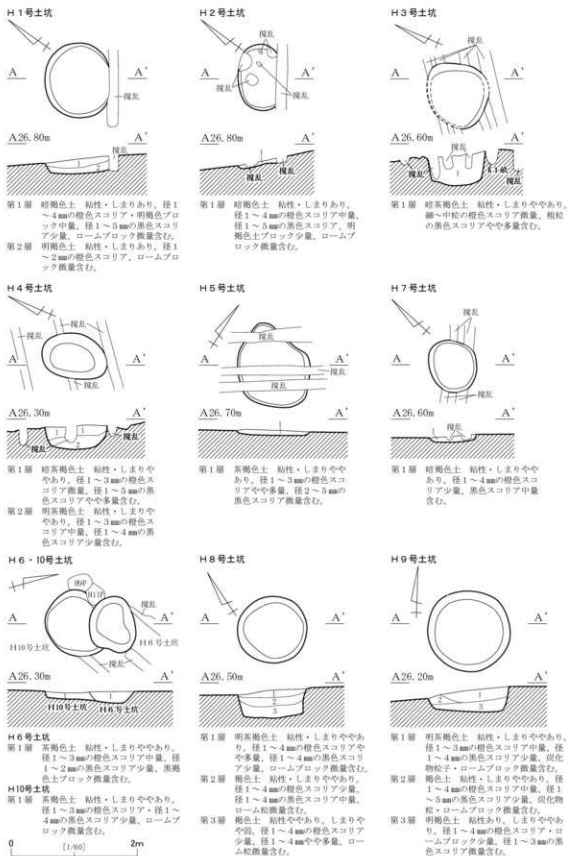
覆土は暗褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H3号土坑 (第45・49図)

H7・8グリッド境南寄りで発見された。西側はトレンチで切られているが、トレンチの底に部分的にプランが残る。検出面の標高は26.50mである。平面形は円形と推定される。検出規模は残存径1.10mで、深さはトレンチの壁で確認すると0.46mを測る。断面は方形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁はやや急な



第49図 1区H1～10号土坑[1/60]

角度で立ち上がっている。

覆土は暗茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H4号土坑(第45・49図)

H7・8グリッド東端中央で発見された。中央上端は擾乱に切られている。検出面の標高は26.22mである。平面形は楕円形を呈すると推察される。検出規模は長軸1.05m、短軸0.70m以上で、確認面からの深さは0.38mを測る。断面は碗型を呈する。底面はほぼ平坦で、壁はやや急な角度で立ち上がっている。

覆土は暗茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H5号土坑(第45・49図、図版11-3)

H8グリッド中央で発見された。上端は3ヶ所が東西方向に走る後世の擾乱により切られている。検出面の標高は26.54mである。平面形は不整楕円形を呈し、検出規模は長軸1.30m、短軸1.15mで、確認面からの深さは0.09mを測る。断面は浅い皿状を呈する。底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。

覆土は茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H6号土坑(第45・49図、図版11-4)

H7グリッド北側中央で発見された。北側の上端の一部を後世の擾乱により切られている。検出面の標高は26.19mである。平面形は不整楕円形を呈し、検出規模は長軸0.87m、短軸0.72mで、確認面からの深さは0.19mを測る。断面は浅い皿状を呈する。底面はほぼ平坦で、壁はやや急な角度で立ち上がる。

覆土は茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H7号土坑(第45・49図、図版11-5)

H7グリッド東端南側で発見された。南西側の上端は後世の擾乱により、北東側の上端はトレンチにより切られている。検出面の標高は26.37mである。平面形は楕円形を呈し、検出規模は長軸0.90m、短軸0.75mで、確認面からの深さは0.10mを測る。断面は浅い皿状を呈する。底面はほぼ平坦で、壁は西側ではやや緩やかな角度、東側ではやや急な角度で立ち上がる。

覆土は暗褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 8号土坑 (第45・49図、図版11-6)

I 7グリッド中央北側で発見された。検出面の標高は26.39mである。平面形は円形を呈し、検出規模は径1.05mで、確認面からの深さは0.45mを測る。断面は方形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁は急な角度で立ち上がる。

覆土は褐色土主体の3層に分層され、第1層は明るい。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 9号土坑 (第45・49図、図版11-7)

I 7グリッド北端中央で発見された。検出面の標高は26.15mである。平面形は円形を呈し、検出規模は径1.31mで、確認面からの深さは0.35mを測る。断面は方形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁は西側ではやや緩やかな角度、東側ではやや急な角度で立ち上がる。

覆土は明茶褐色土と褐色土の3層に分層され、炭化物粒子を含む。

遺物は、土師器甕2点(2.8g)が出土したが、小片のため図化していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 10号土坑 (第45・49図、図版11-8)

H 7グリッド南端中央で発見された。東側の先端の一部を後世の擾乱に、北側をH 6号土坑、H 11号ピットに切られている。検出面の標高は26.15mである。平面形は円形或いは楕円形を呈し、検出規模は長軸1.10m、短軸0.95m以上で、確認面からの深さは0.10mを測る。断面は浅い方形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁は南側では急な角度で立ち上がる。

覆土は茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 12号土坑 (第45・50図、図版12-1)

H 7・8グリッド北側で発見された。先端の一部を後世の擾乱に切られている。検出面の標高は25.98mである。平面形は楕円形を呈し、検出規模は長軸0.71m、短軸0.62mで、確認面からの深さは0.32mを測る。断面は逆台形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁はやや急な角度で立ち上がる。

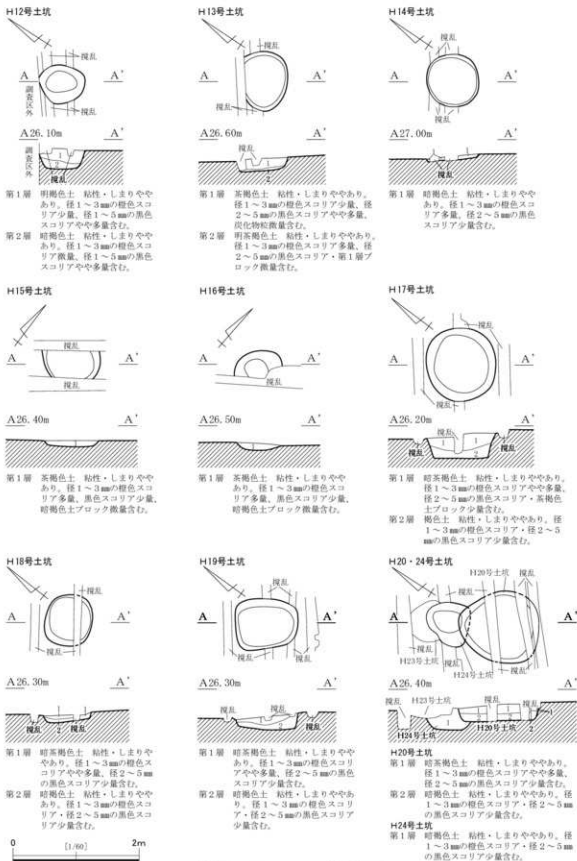
覆土は明褐色土と暗褐色土の2層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 13号土坑 (第45・50図、図版12-2)

H 8グリッド中央で発見された。北西側は後世の擾乱により切られている。検出面の標高は26.32mである。平面形は楕円形を呈すると思われる。検出規模は長軸0.95m、短軸北0.69m以上で、確認面からの深さは0.20mを測る。断面は逆台形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁は南側ではやや急な角度で立ち上がる。



第50図 1区H12～20・24号土坑[1/60]

覆土は茶褐色土と明茶褐色土の2層で、炭化物粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 14号土坑 (第45・50図、図版12-3)

H 8 グリッド南東寄りで発見された。上端の一部を後世の攪乱に切られている。検出面の標高は26.77 mである。平面形は円形を呈し、検出規模は径0.84 mで、確認面からの深さは0.07 mを測る。断面は浅い皿状を呈する。底面はほぼ平坦である。

覆土は暗褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 15号土坑 (第45・50図、図版12-4)

H 8 グリッド中央で発見された。北西側と南東側は後世の攪乱により切られている。検出面の標高は26.18 mである。平面形は円形或いは楕円形を呈すると思われ、検出規模は長軸0.90 m、短軸0.42 m以上で、確認面からの深さは0.11 mを測る。断面は浅い皿状を呈する。底面はほぼ平坦である。

覆土は茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 16号土坑 (第45・50図、図版12-5)

H 8 グリッド中央西寄りで発見された。南東側は後世の攪乱により切られている。検出面の標高は26.25 mである。平面形は円形或いは楕円形を呈すると思われ、検出規模は長軸0.80 m、短軸0.46 m以上で、確認面からの深さは0.11 mを測る。断面は浅い皿状を呈する。底面はほぼ平坦である。

覆土は茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 17号土坑 (第45・50図、図版12-6)

G 8 グリッド南東寄りで発見された。中央の上端は後世の攪乱により切られている。検出面の標高は26.10 mである。平面形は円形を呈し、検出規模は径1.18 mで、確認面からの深さは0.42 mを測る。断面は逆台形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁は急な角度で立ち上がる。

覆土は暗茶褐色土と褐色土の2層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H18号土坑 (第45・50図、図版12-7)

H7・8グリッド境中央で発見された。上端の一部は後世の擾乱により切られている。検出面の標高は26.17mである。平面形は隅丸方形を呈し、検出規模は長軸0.82m、短軸0.75mで、確認面からの深さは0.09mを測る。断面は浅い方形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁はやや急な角度で角度立ち上がる。

覆土は暗茶褐色土と暗褐色土の2層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H19号土坑 (第45・50図)

H8グリッド北西寄りで発見された。上端の一部は後世の擾乱により切られている。検出面の標高は26.17mである。平面形は隅丸長方形を呈し、検出規模は長軸1.00m、短軸0.80mで、確認面からの深さは0.25mを測る。断面は浅い逆台形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁は西側ではやや緩やかな角度、東側ではやや急な角度立ち上がる。

覆土は暗茶褐色土と暗褐色土の2層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H20号土坑 (第45・50図)

H8グリッド北端東側で発見された。上端の一部は後世の擾乱により切られている。検出面の標高は26.18mである。平面形は不整形円形を呈し、検出規模は径1.27mで、確認面からの深さは0.25mを測る。断面は逆台形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁はやや急な角度で立ち上がる。

覆土は暗茶褐色土と暗褐色土の2層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H21号土坑 (第45・51図)

H8グリッド北端東側で発見された。上端の一部は後世の擾乱により切られている。検出面の標高は26.22mである。平面形は不整形円形を呈し、検出規模は長軸0.80m、短軸0.65mで、確認面からの深さは0.05mを測る。底面はほぼ平坦である。

覆土は暗茶褐色の単層である。

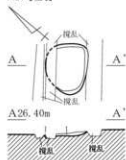
遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H22号土坑 (第45・51図)

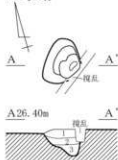
H8グリッド西端中央で発見された。上端の一部は後世の擾乱により切られている。検出面の標高は26.26mである。平面形は不整形円形を呈し、検出規模は長軸0.75m、短軸0.55m以上で、確認面からの深さは0.42mを測る。底面はほぼ平坦で、壁は西側では段をもち、東側では急な角度立ち上がっている。

H21号土坑



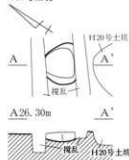
第1層 暗茶褐色土 粘性・しまりややあり。径1～3mmの橙色スコリアやや多量、径2～5mmの黒色スコリア少量含む。

H22号土坑



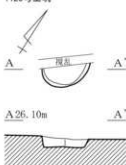
第1層 暗茶褐色土 粘性・しまりややあり。径1～3mmの橙色スコリア中量、径2～5mmの黒色スコリア少量含む。
第2層 暗茶褐色土 粘性・しまりややあり。径1～3mmの橙色スコリアやや多量、径2～5mmの黒色スコリア少量含む。
第3層 暗褐色土 粘性・しまりややあり。径1～3mmの橙色スコリア・径2～5mmの黒色スコリア少量含む。

H23号土坑



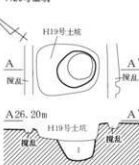
第1層 暗茶褐色土 粘性・しまりややあり。径1～3mmの橙色スコリアやや多量、径2～5mmの黒色スコリア少量含む。

H25号土坑



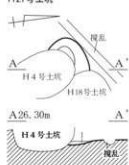
第1層 暗茶褐色土 粘性・しまりややあり。径1～3mmの橙色スコリア・径1～5mmの黒色スコリア少量、黒褐色土ブロック微量含む。

H26号土坑



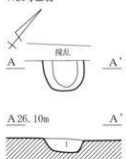
第1層 暗褐色土 粘性ややあり。しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア微量、径1～5mmの黒色スコリアやや多量、黒褐色土ブロック少量含む。

H27号土坑



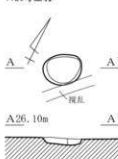
第1層 茶褐色土 粘性・しまりややあり。径1～3mmの橙色スコリア少量。径1～5mmの黒色スコリアやや多量含む。

H28号土坑



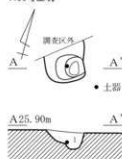
第1層 茶褐色土 粘性・しまりややあり。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア多量含む。

H29号土坑



第1層 茶褐色土 粘性・しまりややあり。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア多量含む。

H30号土坑



第1層 暗茶褐色土 粘性・しまりややあり。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア多量含む。

第51図 1区H21～23・25～30号土坑[1/60]

0 [1.96] 2m

覆土は暗茶褐色土と暗褐色土の3層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H23号土坑（第45・51図、図版12－8）

G・H8グリッド境中央で発見された。北西側は後世の攪乱により切られている。検出面の標高は26.10mである。平面形は不整楕円形を呈すると思われる、検出規模は長軸0.65m、短軸0.50m以上で、確認面からの深さは0.15mを測る。断面は浅い皿状を呈する。底面はほぼ平坦である。

覆土は暗茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H24号土坑（第45・50図、図版12－8）

G8グリッド北端中央で発見された。南東側をH20号土坑、北西側をH23号土坑に切られている。検出面の標高は26.12mである。平面形は不整円形を呈すると思われる。検出規模は径0.70mで、確認面からの深さは0.35mを測る。断面は逆台形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁はやや急な角度で立ち上がる。

覆土は暗褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H25号土坑（第45・51図、図版13－1）

G8グリッド南東側で発見された。北西側は後世の攪乱により切られている。検出面の標高は25.88mである。平面形は円形或いは楕円形を呈すると思われる、検出規模は長軸0.75m、短軸0.32m以上である。確認面からの深さは0.15mを測る。断面は浅い方形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁は急な角度で立ち上がる。

覆土は暗茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H26号土坑（第45・51図、図版13－2）

H8グリッド北西側で発見された。H19号土坑の底面から検出した。検出面の標高は25.94mである。平面形は楕円形を呈し、検出規模は長軸0.65m、短軸0.55mで、確認面からの深さは0.30mを測る。断面は逆台形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁は西側ではやや緩やかな角度、東側ではやや急な角度で立ち上がる。

覆土は暗褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H27号土坑(第45・51図、図版13-3)

H7グリッド東端中央で発見された。南側をH4号土坑に、東側をH18号土坑に切られており、全体の1/4ほどの確認である。検出面の標高は25.99mである。平面形は円形或いは楕円形を呈すると思われるが不明である。検出規模は長軸0.60m以上、短軸0.55m以上で、確認面からの深さは0.08mを測る。断面は浅い皿状を呈すると思われる。底面はほぼ平坦で緩やかに立ち上がる。

覆土は茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H28号土坑(第45・51図)

G8グリッド南端中央で発見された。北西側は後世の擾乱により切られている。検出面の標高は25.90mである。平面形は円形或いは楕円形を呈すると思われる。検出規模は長軸0.65m、短軸0.50m以上で、確認面からの深さは0.22mを測る。断面は逆台形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁は西側ではやや緩やかな角度、東側ではやや急な角度で立ち上がる。

覆土は茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H29号土坑(第45・51図)

G8グリッド南側中央で発見された。北西側は後世の擾乱により切られている。検出面の標高は25.91mである。平面形は楕円形を呈すると思われ、検出規模は長軸0.62m、短軸0.35mで、確認面からの深さは0.09mを測る。断面は浅い逆台形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁はやや急な角度で立ち上がる。

覆土は茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H30号土坑(第45・51図、図版13-4)

G8グリッド南西側で発見された。北西側は調査区外へ延びると思われる。検出面の標高は25.82mである。平面形は不整楕円形を呈すると思われ、検出規模は長軸0.65m、短軸0.55m以上で、確認面からの深さは0.28mを測る。底面はほぼ平坦で、断面は東側が一段深くなり西側が緩く立ち上がる。

覆土は暗茶褐色土の単層である。

遺物は、土師器壺1点(19.0g)が出土したが、小片のため図化していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

(3) 焼土址

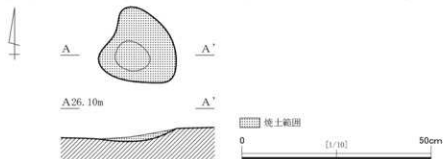
H1号焼土址(第45・52図)

H7グリッド南東側に位置している。検出面の標高は26.05mである。平面形態は不整円形を呈する。検

出現模は、南北0.20 m、東西0.20 m、確認面からの深さは0.02 mを測る。平面形は不整楕円形を呈し、底面はほぼ平坦で、断面は浅い皿状を呈している。覆土は焼土で充填されている。周辺には耕作址である、畝状遺構や土坑などが検出されているが、関係性におよび性格については不明である。

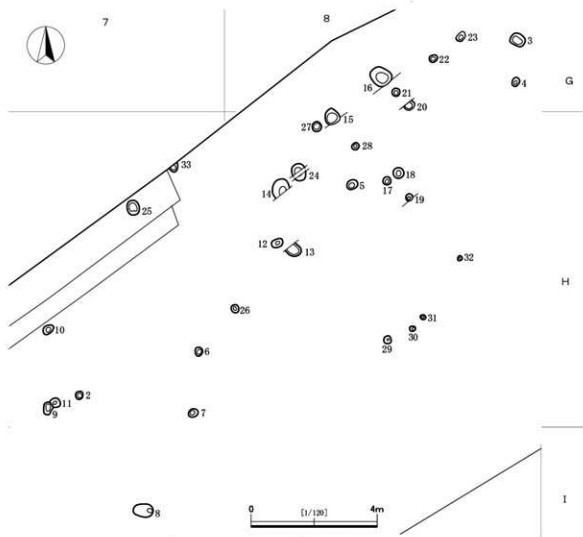
本遺構からの出土遺物はなかった。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。



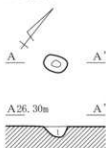
第52図 1区H1号焼土址[1/10]

(4) ビット (第45・53・54図、第110表)



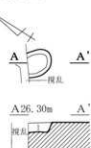
第53図 1区 奈良・平安時代ビット分布図[1/120]

H12号ビット



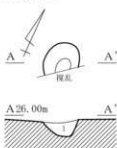
第1層 茶褐色土 粘性・しまりややあり。径1～3mmの橙色スコリア少量。径1～5mmの黒色スコリアやや多量含む。やや砂質。

H13号ビット



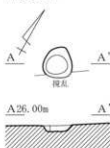
第1層 褐色土 粘性・しまりややあり。径1～2mmの橙色スコリア少量。径1～3mmの黒色スコリア中量含む。やや砂質。

H14号ビット



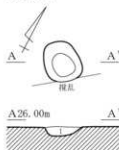
第1層 褐色土 粘性・しまりややあり。径1～2mmの橙色スコリア少量。径1～3mmの黒色スコリア中量含む。やや砂質。

H15号ビット



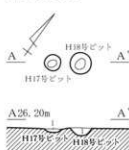
第1層 褐色土 粘性・しまりややあり。径1～2mmの橙色スコリア少量。径1～3mmの黒色スコリア中量含む。やや砂質。

H16号ビット



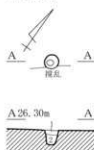
第1層 茶褐色土 粘性・しまりややあり。径1～3mmの橙色スコリア少量。径1～5mmの黒色スコリアやや多量含む。

H17・18号ビット



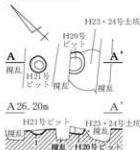
第1層 茶褐色土 粘性・しまりややあり。径1～3mmの橙色スコリア少量。径1～5mmの黒色スコリアやや多量含む。

H19号ビット



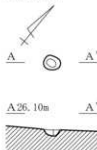
第1層 茶褐色土 粘性・しまりややあり。径1～3mmの橙色スコリア少量。径1～5mmの黒色スコリアやや多量含む。
第2層 茶褐色土 粘性・しまりややあり。径1～3mmの橙色スコリア・黒褐色土ブロック少量。径1～5mmの黒色スコリアやや多量含む。

H20・21号ビット



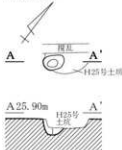
第1層 褐色土 粘性・しまりややあり。径1～2mmの橙色スコリア少量。径1～3mmの黒色スコリア中量含む。やや砂質。

H22号ビット



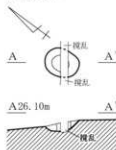
第1層 茶褐色土 粘性・しまりややあり。径1～3mmの橙色スコリア少量。径1～5mmの黒色スコリアやや多量含む。

H23号ビット



第1層 茶褐色土 粘性・しまりややあり。径1～3mmの橙色スコリア少量。径1～5mmの黒色スコリアやや多量含む。

H24号ビット



第1層 褐色土 粘性・しまりややあり。径1～2mmの橙色スコリア少量。径1～3mmの黒色スコリア中量含む。やや砂質。



第54図 1区H12～24号ビット [1/60]

G～I 7・8グリッドから32基が発見された。調査区東側に分布している。規模や深さは一定ではなく、また規則性のある並びも確認されなかった。平面形は円形或いは楕円形が多く、方形もみられる。各々の検出規模については第10表にまとめている。

遺物が出土したのはH 2号ビットのみである。土師器甕1点(2.8g)が出土したが、小片のため図化していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

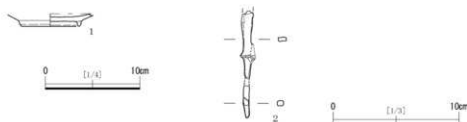
第10表 1区 奈良・平安時代ビット計測表〔第53・54図〕

遺構名	グリッド	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	平面形	遺構名	グリッド	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	平面形
H2号ビット	H7	0.27	0.25	0.14	方形	H18号ビット	H8	0.35	0.34	0.14	円形
H3号ビット	G8	0.33	0.27	0.09	方形	H19号ビット	H8	0.24	0.22	0.25	円形
H4号ビット	G8	0.21	0.16	0.09	楕円形	H20号ビット	G8	0.35	(0.24)	0.10	円形
H5号ビット	H8	0.37	0.29	0.29	楕円形	H21号ビット	G8	0.26	0.25	0.08	円形
H6号ビット	H7	0.29	0.25	0.10	楕円形	H22号ビット	G8	0.27	0.23	0.12	楕円形
H7号ビット	H7	0.32	0.26	0.12	楕円形	H23号ビット	G8	0.34	0.23	0.26	長方形
H8号ビット	I7	0.64	0.42	0.30	長方形	H24号ビット	H8	0.56	0.45	0.19	楕円形
H9号ビット	H7	0.41	0.30	0.14	不整形	H25号ビット	H7	0.48	0.39	0.17	楕円形
H10号ビット	H7	0.38	0.27	0.14	楕円形	H26号ビット	H8	0.27	0.24	0.08	楕円形
H11号ビット	H7	0.32	0.29	0.10	方形	H27号ビット	H8	0.31	0.31	0.12	円形
H12号ビット	H8	0.38	0.26	0.18	長方形	H28号ビット	H8	0.24	0.22	0.23	円形
H13号ビット	H8	0.44	(0.39)	0.18	楕円形	H29号ビット	H8	0.26	0.24	0.28	円形
H14号ビット	H8	0.62	(0.44)	0.31	楕円形	H30号ビット	H8	0.29	0.16	0.21	方形
H15号ビット	G8・H8	0.47	(0.46)	0.12	楕円形	H31号ビット	H8	0.18	0.16	0.08	円形
H16号ビット	G8	(0.65)	0.59	0.20	楕円形	H32号ビット	H8	0.17	0.14	0.16	楕円形
H17号ビット	H8	0.26	0.25	0.07	円形	H33号ビット	H7	0.32	(0.22)	0.12	楕円形

(8) 遺構外出土遺物(第55図、第11表、図版146-2)

奈良・平安時代の遺構外出土遺物は土師器甕19点(104.1g)、土師器甕33点(166.6g)、須恵器杯5点(27.8g)、須恵器蓋1点(9.4g)、須恵器甕27点(448.5g)、灰釉陶器埴7点(49.4g)、灰釉陶器瓶6点(47.7g)、金属製品(鏃)1点(9.1g)、総点数99点、総重量862.6gである。このうち2点を図化した。

第55図1は灰釉陶器埴の底部片である。内面はハケ塗りが施され高台が貼りつけられている。9世紀後半の製品と思われる。2は鉄鏃である。頭部～茎部で鏃身は欠損している。茎部は折れており接合はしないが同一個体である。長頭鏃である。



第55図 1区奈良・平安時代遺構外出土遺物〔1/4・1/3〕

第11表 1区奈良・平安時代遺構外出土遺物観察表〔第55図〕

No.	器種	観察所見 ()＝現存値 []＝復元値				
1	灰釉陶器 壺	法量(cm)：底径[6.1] 高台貼り付け (7.5V5/3)	底径[6.1] 内面ハケ塗り 出土位置：K4gr	器高(1.3) 胎土：緻密 備考：K90	重量28.3g 残存度：底部1/3 白色粒子 焼成：良好 9世紀後半	成形・割痕：回転ヘラケズリ 色調：灰オリーブ
2	鉄器	法量(cm)：長さ(5.3) I10gr	刃部幅0.7 備考：長頭鎌	厚さ0.3 重量8.1g	残存度：頸部～基部一部欠損 出土位置：	

4. 弥生時代後期～古墳時代前期

1区・1区南における弥生時代後期～古墳時代前期の遺構は確認されていない。

遺物は壺・甕が出土している。I～K4～6グリッドの弥生時代後期～古墳時代前期の包含層にあたる第Ⅷ層～第Ⅸ層から発見された。

本調査区は少数の遺物の出土のみであり、弥生時代後期～古墳時代前期において土地利用されていないことが伺える。

(1) 遺構外出土遺物

弥生時代後期～古墳時代前期の遺構外出土遺物は甕3点(93.7g)、壺1点(44.4g)、合計4点(138.1g)である。小片のため図化していない。

甕はハケ目調整された薄い胴部片である。台付甕と思われる。壺は厚みのある底部片である。

5. 縄文時代

東富岡・太窪遺跡1区・1区南で検出された縄文時代の遺構は、基本土層第Ⅸ層において土坑5基を検出するものの、その他の遺構は見られず、遺物の出土も少量であった。

(1) 土坑

J1号土坑(第57図)

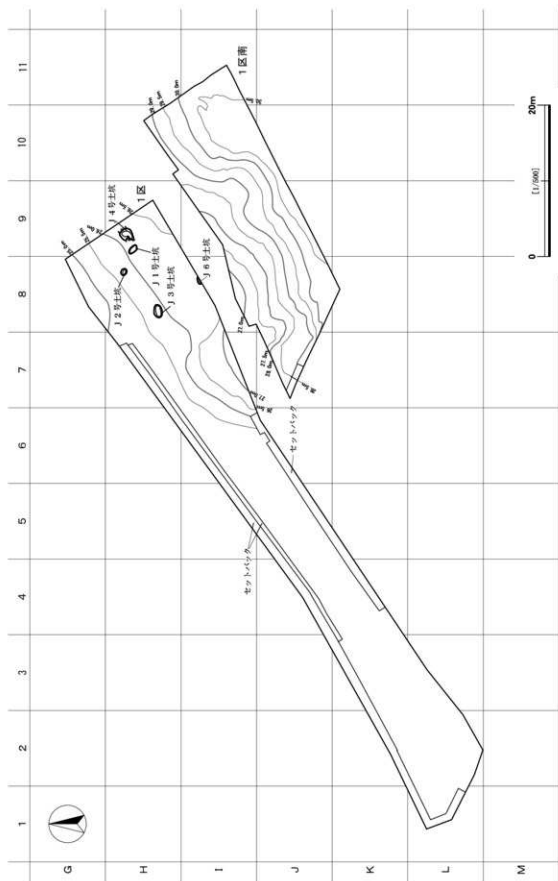
調査区北西端H9グリッドに位置する。確認面は基本土層第Ⅸ層で、標高は26.10mを測る。主軸方位はN-42°-Wを示す。

平面形は歪な隅丸長方形を呈し、規模は開口部で長径1.32m、短径0.69m、深さ0.22mを測る。断面形はタライ形で、覆土は暗茶褐色を基調とした単一層であった。遺物は出土していない。

J2号土坑(第57図)

調査区北西端のH8グリッドでJ1号土坑の西約1.7mに位置する。確認面は基本土層第Ⅸ層で、標高25.80mを測る。主軸方位はN-74°-Wを示す。

平面形は楕円形を呈し、規模は開口部で長径0.92m、短径0.73m、深さ0.25mを測る。断面形は楕円形を呈し、覆土は暗茶褐色を呈す。遺物は出土していない。



第56図 1区・1区南 縄文時代遺構配置図[1/500]

J 3号土坑 (第57図)

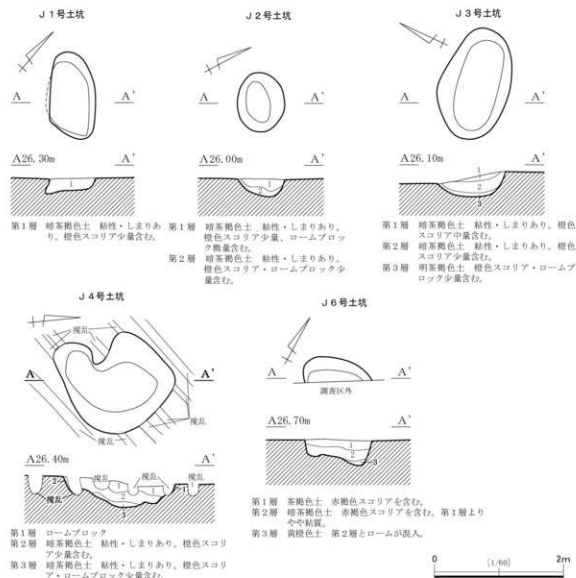
調査区北西端のH 8 グリッドでJ 1号土坑の南西約7.5mと離れている。確認面は基本土層第IX②層で、標高26.00mを測る。主軸方位はN-79°-Eを示す。

平面形は楕円形で、規模は開口部で長径1.58m、短径1.09m、深さ0.38mを測り、断面形は楕鉢形を呈し、覆土は暗茶褐色を基調とする。遺物の出土は出土していない。

J 4号土坑 (第57図)

調査区北西端のH 8 グリッドでJ 1号土坑の東へ約1mに位置する。確認面は基本土層第IX①層で、標高26.25mを測る。主軸方位はN-20°-Eを示す。

平面形は不整形で、規模は開口部で長径1.75m、短径1.59m、深さ0.52mを測り、底面は凹凸があり整っていない。覆土に暗茶褐色土とロームブロックを含んでいる。遺物の出土は出土していない。



第57図 1区J 1～4・6号土坑[1/60]

J 6号土坑 (第57図)

調査区北西端のI 8グリッドで遺構の一部は調査区外に広がる。確認面は基本土層第IX②層で、標高26.50mを測る。

規模は長径1.04mで深さは0.38mを測る。断面形はタライ形で東側壁底面が一段下がる。覆土は茶褐色を基調とし、遺物は出土していない。

(2) 遺構外出土遺物 (第58・59図、第12表、図版146-3)

1区では、早期から後期にかけて土器24点(358.6g)の出土が見られた。時期別内訳は、早期末葉の土器が2点(24.0g)、前期後葉の諸機式土器が5点(39.2g)、中期後葉の加曾利E式土器が1点(7.9g)、後期前葉の堀之内式土器が8点(218.5g)、無文土器が8点(74.3g)となっている。この出土遺物のうち3点を第58図に掲載した。なお、該期土器の分類は、第III編の東富岡・中島遺跡で示した基準(223頁)に基づいている。

第I群土器 早期の土器 (第58図)

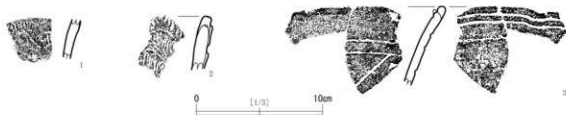
第3類土器 早期末葉の土器 (第58図1・2)

茅山上層式以降の早期末葉の土器類の資料である。第58図1はやや外反気味に立ち上がり、器厚は5～7mm程で薄い。低降位にヘラ状工具による密な刻みが施された1条の波状施文と1条の横位の低降帯を配し、その低降位にもナデが加えられている。内面はナデ調整で胎土は細かい石英、長石粒を含む。繊維は含まない。色調は鈍い黄橙色を呈する。第58図2は波状口縁を呈し口唇部に斜めの刻みが加えられ、口縁に沿って幅1.5cm程の低降帯2条による波状が巡る。低降帯にはヘラ状工具による密な刻みが施されている。内面は横方向のナデ調整で胎土は長石、角閃石粒を含む。胎土に繊維は含まれていない。色調は鈍い赤褐色を呈す。入海Ⅱ式土器に帰属する資料と考えられる。

第IV群土器 後期の土器 (第58図)

第1類土器 後期前葉の堀之内式土器 (第58図3)

3は後期前葉の堀之内Ⅱ式土器である。器形はバケツ形を呈し口縁は緩やかに外反し、口唇の一部に指頭圧で内屈を加える。口縁下は無文で胴部文様帯として2条の沈線を単位とする三角区画文が施文され、区画内には単筋LRの充填縄文が施される。内面は口縁に沿って2条の沈線が巡り、沈線間には外面同様に充填縄文が施されている。器面は摩滅しており、胎土は細かい石英、長石、砂粒を多く含む。色調は薄い褐色を呈す。



第58図 1区縄文時代遺構外出土土器 [1/3]

遺構外出土石器 (第59図、第12表、図版146-3)

1区・1区南の遺構外から出土した石器は、4種計5点(508.0g)で、内訳は磨石1点(316.7g)、残核1点(170.1g)、剥片2点(19.5g)、碎片1点(1.7g)である(第12表)。

遺構外石器5点の分布は、1区南で出土した残核を除いて1区に偏在する。

このうち2点を図示した。以下、器種毎に記載する。

磨石 (第59図1)

第59図1は閃緑岩製の磨石である。扁平な円礫を素材とし、平面形が長楕円形を呈する。全面に磨り面がみとめられる。出土位置を特定できていない。

残核 (第59図2)

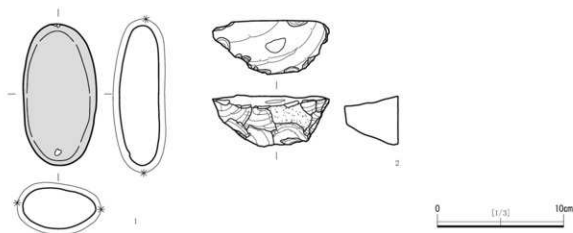
第59図2は細粒凝灰岩製の残核である。原礫面は裏面全面と表面作業面側の一部に残り、上面分割礫面側からと裏面礫面側からの剥片剥離が行われている。分割礫面の先端には打面調整の細かい剥離が確認される。1-9グリッドから出土している。

剥片

2点(一括・K-2グリッド)出土している。ともに石材はチャートで、剥片石器の素材かもしくは道具用の一部等であった可能性が考えられる。

碎片

本報告では長さ幅が少数点第一位以下を二捨三入して2.0cm以下となる。剥片を本器種とした。J-5グリッドから1点出土している。石材は黒曜石で、表面に礫面が残る。



第59図 1区・1区南縄文時代遺構外出土石器 [1/3]

第12表 1区・1区南縄文時代遺構外出土石器属性表 [第59図]

押図番号	器種名	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	出土遺構・Gr	備考
第59図1	磨石	閃緑岩	11.1	5.8	3.2	316.7		1区
第59図2	残核	細粒凝灰岩	4.1	9.2	4.2	170.1	196r	1区南
	剥片	チャート	4.0	3.7	1.0	13.6	K26r	1区
	碎片	黒曜石	1.1	2.0	1.2	1.7	J56r	1区
	剥片	チャート	2.3	2.8	0.9	5.9		1区